

令和5年度 第4回 恵庭市図書館協議会



日 時 令和6年3月28日(木) 午後3時30分
会 場 恵庭市立図書館 会議室

■ 会 議 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 教育部長挨拶

4. 議 題

(1) 報告事項 ①令和5年度 図書館の事業報告について 資料1

②先進地図書館視察について

(2) 協議事項 ①令和6年度 図書館の事業計画について 資料2

②第2期恵庭市読書活動推進計画について 資料3

③図書館本館改修基本構想(案)について 資料4

5. そ の 他・情報交換

6. 閉 会

(1) 報告事項

① 令和5年度 図書館の事業報告について

資料1

② 先進地図書館視察について ※資料当日配付

【読書推進課】

領域：資料収集・提供

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	資料の収集 * 図書の収集	通年	全館	蔵書冊数 本館 192,656 (196,337) 恵庭 42,587 (43,770) 島松 32,667 (32,681) 全館 267,910 (272,788)	多様化する市民の資料要求に迅速、的確に対応できるよう新刊図書、雑誌、視聴覚資料、パンフレット、郷土資料、行政資料等を収集保存。		指定管理者実施事業
	* 雑誌の収集	通年	全館	タイトル数 本館 139 (140) 恵庭 25 (26) 島松 16 (16)			
	* 視聴覚資料の収集	通年	本館	所蔵数 ビデオテープ 1,717(1,727) レーザーディスク 484 (485) DVD 526 (512) CD 532 (532)			
	* その他の資料の収集	通年	全館	通年			
	雑誌スポンサー制度	通年	全館	18件/33誌・企業、個人 (前年度 18件/31誌)			
継続	資料の提供 * 図書、雑誌の貸出 * 予約・リクエストの受付	通年	全館	貸出 418,758冊 (444,214冊) 予約 33,893冊 (36,819冊)	市民の様々なニーズを把握し、資料の提供を行う。		指定管理者実施事業
	* レファレンスサービス * 資料検索及び資料案内	通年	全館	所蔵調査(件) 8,038 (8,952) レファレンス(件) 341 (456) 読書相談(件) 89 (83) 読書案内(件) 301 (206)			
継続	情報提供サービスの推進 * インターネット及び 各種データベースの利活用	通年		通年	インターネットや各種データベースの活用促進を図り、利用者の嗜好に応じた新着図書情報や過去の貸出記録が管理できる機能を提供する。		指定管理者実施事業
	* 新着図書情報データ 配信サービスの実施	通年		通年			
	* 読書履歴管理機能の活用	通年		通年			
継続	電子図書館	通年		2,346冊 (599冊)	インターネットを通じた電子書籍の貸出。		
継続	団体貸出	通年	全館	2,956冊 (3,613冊)	学童クラブ・学校・団体などへの貸出。		
継続	図書宅配サービス	通年	本館	5名22冊・高齢者等 (前年度 3名11冊)	高齢者など図書館来館が困難な市民に対し、図書の貸出や返却を有償で実施する。		
継続	ブックステーション	通年	黄金ふれあいセンター 生涯学習施設かしのもり	貸出 1,544冊 (1,488冊) 貸出 863冊 (1,123冊)	黄金ブックステーション及びかしのもりブックステーションの運営。		

領域：児童サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	おはなし広場	通年	本館 恵庭分館 島松分館	51回 312名・乳児から児童 (前年度 327名) 17回 96名・乳児から児童 (前年度89名) 20回 88名・乳児から児童 (前年度 140名)	児童奉仕活動の基本的な事業として、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を実演。市内の読み聞かせサークルの協力を得て実施している。午前の部は乳幼児、午後の部は幼児～小学校低学年が対象。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	本館夏のスペシャルおはなし会	7月30日	本館	15名 (前年度 22名)	「読み聞かせの会「知恵袋」」出演の夏休み行事。		指定管理者実施事業
継続	島松分館夏のスペシャルおはなし会	8月5日	島松分館	16名 (前年度 12名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	島松分館冬のスペシャルおはなし会	12月17日	島松分館	16名 (前年度 10名)	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理者実施事業
継続	クリスマス幻燈会	12月9日	本館	34名 (前年度未開催)	読み聞かせボランティア「ばたぼん」によるイベント。		指定管理者実施事業
継続	BALLOONおはなし会	通年	本館	8回 94名・小中学生から一般 (前年度 105名)	洋書絵本の原語による読み聞かせ。児童が異文化に触れ、国際感覚を養うことを目的とする。読み手は図書館員と市教委ALT。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	家読（うちどく）推進事業 ・うちどくノート、ブックリストの作成・配布	通年	全館	通年	家庭で同じ本を読み、感想を話し合うことでコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」の普及。「うちどくノート」「この本読んだ?ブックリスト2023」の作成・配布。		読書推進事業・学校図書館活動推進事業及び指定管理業務
継続	子ども読書の日記念事業 * 展示「この本読んだ? 2023」	4月8日 ～5月7日	全館	幼児から中学生	平成13年12月制定「子ども読書活動の推進に関する法律」で定められた「子ども読書の日」を広く周知。		指定管理者実施事業
	* 親子のためのパベツトシアター	5月7日	本館	60名 (前年度47名)			
	* こども映画会	4月30日	本館	20名 (前年度50名)			
継続	ハロウィン仮装おはなし広場 &ぬいぐるみおとまり会 ・ハッピーハロウィン 仮装おはなし会	10月21日	本館	18名 (前年度16名)	ハロウィンにちなんだおはなし会。		指定管理者実施事業
継続	工作ワークショップ * ハッピーマンデーおたのしみ会	7月17日 9月18日	本館	23名 (前年度 30名)	祝日開館周知を目的とした行事。		指定管理者実施事業
新規	* 大人のためのハンドメイド講座	11月25日	本館	5名	ドライフラワーでポプリを作成。		

継続	えほんのせかいがひろがる！ ニコニコ☆さつえい会	9月13日	本館	13名 (前年度 2回 34名)	1歳未満の乳児対象とした絵本の世界がテーマの撮影会。		指定管理者実施事業
継続	その他実施行事 * 恐怖の図書館 ～夜の謎解き図書館～	8月13日	本館	39名 (前年度 24名)	閉館後の図書館での謎解きゲーム等のイベント。		指定管理者実施事業
新規	* 図書館なぞ解きイベント ～ひゃっか王からの挑戦状～	4月1,2日	本館	計26名	出版者が配付しているキットを使用したイベント。		
継続	* 人形劇団クラルテ公演	9月9日	本館	56名 (前年度 54名)	関西の劇団を招いての人形劇公演。		
	* としょかんお年玉抽選会	1月7日	全館	205名 (前年度 199名)	雑誌の付録等を景品とした抽選会を開催。		
	* お正月を遊ぼう！	1月8日 1月9日 1月13・14日	本館 恵庭分館 島松分館	37名 (前年度 97名)	すごろくや昔遊び等を楽しむイベント。		

領域：文化集会事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
新規	作家講演会 * 川崎秋子さん講演会 「創作について」	7月15日	本館	40名	道内在住作家による講演会。		指定管理者実施事業
	* 講演会 「野生動物と付き合いには」	8月27日	本館	9名	元知床博物館館長・村上隆広氏による講演会。		
	* 講演会 直木賞作家 今村翔吾氏	10月14日	本館	39名	直木賞作家による講演会。		
継続	上映会の開催 * 大人向け映画会	毎週 水曜日	本館	42回 703名・児童から一般 (前年度 398名)	上映許諾済又は著作権が発生していない映画を上映。		指定管理者実施事業 図書館所蔵資料を活用
	* 子ども向け映画会	第2・4 土曜日	本館	17回 92名・児童から一般 (前年度 116名)			
新規	* 午前10時の映画会	6月24日 11月18日	本館	一般 25名	「幕末太陽傳」「コーダ あいのうた」を上映。		指定管理者実施事業
継続	* 終戦の日平和祈念上映会	8月12日	本館	一般 9名 (前年度 12名)	戦争を題材とした作品を上映。		
継続	図書館活用講座 * 図書館を知ろう	9月30日 ～10月26	島松分館	自由参加	図書館の利用方法とスタッフお勧めの本を展示。		指定管理者実施事業

継続	大人のためのお話会	4月12日 6月7日 9月13日 11月8日	本館	計29名(前年度 29名)	読み聞かせサークル「青空のたね」による大人対象の事業。		指定管理者実施事業
	* 大人のための朗読会	10月29日	本館	48名(前年度 29名)	朗読の会「北こぶし」による大人対象の事業。		
継続	その他実施行事(展示) ・石膏デッサン2 B会作品展 4月4日～16日 ・えのぐ箱小品展 4月19～30日 ・山本紘正絵画作品展 5月2～14日	通年	本館ギャラリー	一般	市内で文化活動が続けている個人、団体の発表の場。		指定管理者実施事業
	・陽の会水彩画展 5月16～28日 ・フォトクラブ写真展示会 5月30日～6月11日 ・野鳥写真「カワセミ物語Ⅱ」 7月1～14日 ・宇宙アート 7月16～29日 ・原爆パネル展 8月1～13日 ・花とも写真展 8月24日～9月5日 ・島松絵画同好会油絵作品展 9月9～22日 ・陽の会水彩画展 9月23～30日 ・絵本原画展「はるふぶき」 10月13日～26日 ・ヤッフオート写真展 11月1～8日 ・広島の高校生による絵画 11月10～15日 ・写真アート 11月16～29日 ・恵庭美術協会小作品展 12月5日～10日						

	・恵庭書道連盟書初め展 1月16～21日						
新規	・夏休み水彩画教室	8月5日	本館	一般 20名	市内在住の画家・山本紘正氏を講師として迎えた事業。		
継続	・全館リレー特集展示 「本が泣いています」	6月1日 ～29日 11月1日 ～30日	島松分館 恵庭分館	自由観覧	汚れ、傷み、落書き等で貸出ができなくなった本の展示。		

領域：障がい者等サービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	障がい者サービス * 図書の音訳	通年	本館	0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団による図書の音訳。		指定管理者実施事業
	* 郵送貸出	通年	本館	0名・障がい者 (前年度 0名)	視力に障がいを持つ方への録音図書や点訳図書の郵送貸出。		
	* 対面朗読サービス	第2・4 水曜日	本館	0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団の協力により、視覚障がい者への対面朗読を実施。		
	* サビエ図書館	通年	本館	1名 10冊・障がい者 (前年度 1名 19冊)	視力に障がいをお持ちの方へ、サビエ(日本点字図書館のシステム)が持つデジータ等のダウンロードと提供を行なう。		

領域：図書館広報事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	図書館活動のPR * 図書館だより	毎月		毎月	図書館活動のPR紙の発行。		指定管理者実施事業
	* ホームページ・Facebook	通年		通年	図書館の行催事やお知らせ、図書館活動を掲載。		
	* 図書館要覧の作成	5月		5月	図書館の各種利用状況をまとめた年報を作成。		

領域：学校へのサービス

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	小中学校への支援 * 総合学習への支援	通年		0件 0名 (前年度 0名)	総合学習、調べ学習のための図書館団体利用の受入。		指定管理者実施事業
	* 職業体験の受入 ・実習生受入	通年		2名 (前年度 0名)	大学の図書館司書課程を履修している学生の実習受入。		

	・体験学習	通年		3件 25名 (前年度 0名)	図書館司書業務の体験学習の受入。		
	・団体利用受入	通年		854名 (前年度 282名)	幼稚園、小学校等の見学など団体利用の受入。		
	* 団体貸出 ・学校への総貸出	通年		7,858冊・小中学生 (前年度 7,850冊)	学級文庫・児童生徒教職員への貸出・学校図書館での特集コーナー等、公共図書館から各小中学校へ貸出を行った冊数の総数。		指定管理者実施事業 学校配本システムを活用
	・学級文庫	通年		7,253冊・小中学生 (前年度 7,005冊)	前項のうち、各小中学校の学級内において利用する「学級文庫」への貸出分。		
継続	高校ブックライン事業	通年	恵庭北高校 恵庭南高校	貸出 3冊 (37冊) 貸出 81冊 (38冊)	市立図書館の予約図書を高等学校図書館で手軽に受け取ることのできる事業。		

領域：協働連携事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	全市的読み聞かせ活動の推進 * 各種団体の育成支援 * 読み聞かせ講習会等実施 * 幼稚園や保育園での 読書活動推進 ・ 幼稚園・保育園 巡回読み聞かせ	通年	市内幼稚園等	3,219名	図書館で読み聞かせを行っているボランティアが市内幼稚園等を訪問する。		指定管理者実施事業
継続	恵庭まちじゅう図書館 事業の推進	通年		42館 (前年度42館)	人とまちを育む読書条例制定を機に開始した事業。市内の様々なカフェやオフィスなどに店主や社員などのお気に入りの本を展示し、訪れた人と本の会話を楽しむ読書コミュニティ事業。		
継続	ブックスタート事業 * ブックスタート	毎月1回	えにあす	9・10カ月児と親 10回 334部 (前年度 363部)	乳児期における利用サービスの取り組みとして、9・10ヶ月児健診に参加した絵本・絵本ガイドなどが入った「ブックスタートパック」をプレゼントする。		指定管理者実施事業
	* ブックスタートプラス	毎月1回	えにあす	1歳6カ月児と親 10回 368部 (前年度 392部)	家庭での読書環境の継続と充実を図るため、1歳6ヶ月児健診に参加した親子に絵本1冊と絵本ガイドをプレゼントする。		
継続	図書館開館24時	9月2日	本館	236名 (前年度 268名)	市民との協働で実行委員会を組織。図書館を深夜まで開館し、音楽会などの催しを実施。		
継続	図書館まつり	10月14日	本館	自由参加	ステージ等、様々な行事を実施。昨年度より指定管理者主催。		
継続	本のリサイクル市	5月28日 10月1日	本館	自由参加	市民から提供のあった不要本の再活用を目的に開催。		

継続	図書館に住んでみるツアー	9月23・24日	本館	6名（前年度 16名）	市民との協働で実行委員会を組織し、泊まりこみで夜の図書館を体感する事業。	
継続	司書の派遣	通年		5名（前年度 1名）	事例報告や講習会講師等。	

領域：学校図書館事業

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	学校図書館活動の推進 * 学校における読書活動	通年		全13校	「ブックリスト」の配付。		指定管理者実施事業
	* 図書の共有化推進	通年		463冊 (前年度612冊)	児童生徒の求めにより、公共図書館の図書を学校図書館を通して貸出を行う。		
	* 司書教諭・学校司書の 研修会開催	6月20日 12月14日	本館	46名	司書教諭と学校司書の連携、学校図書館活動の理解を深める。		
	* 朝読・家読の推進	通年		全13校	「うちどくノート」の配付。		
	* 調べる学習コンクール ・開催・作品募集	7月18日 ~9月19日		298名・292作品 (前年度 355名・348作品)	図書館を利用した調べ学習の推進。		
	・調べる学習講習会	7月29日	本館	1名・小学生等(前年度6名)	「小中学生調べる学習コンクール」に向け、小学生を対象に調べ学習のポイントや調べ方のコツを説明。		
	* 学校図書館活動推進協議会	通年		通年	学校間のネットワーク化と学校図書館活動の充実・支援を図る。		
	* 物語定期便	通年		計13セット（各30冊）を学校間巡回	物語や科学を楽しむための本を各小中学校に定期的巡回を行う。		

(1) 協議事項

- ①令和6年度 図書館の事業計画について 資料2
- ②第2期恵庭市読書活動推進計画について 資料3
- ③図書館本館改修基本構想（案）について 資料4

読書活動推進方針

「恵庭市人とまちを育む読書条例」及び「第2期恵庭市読書活動推進計画」に基づき、全市的に読書活動を推進します。

市立図書館については、指定管理事業者による各種図書館サービスの充実を図るとともに、市民との協働による恵庭まちじゅう図書館、図書館まつり、図書館開館 24 時など、事業の充実に努めます。

また、ICT を活用したサービスの推進により読書環境の更なる充実に努めます。

学校での読書活動については、学校司書を引き続き配置するとともに、学校図書館の蔵書の整備充実、児童生徒の読書習慣の形成、家読の定着及び調べる力の育成を推進します。



●恵庭市読書活動推進計画の推進

- ・計画に基づく各種事業及び施策の推進

●生涯各期に応じた読書の推進と環境づくり

- ・ブックスタート・ブックスタートプラス事業の充実
- ・読み聞かせ活動の推進
- ・幼稚園・保育園等での読書活動の推進
- ・学校図書館環境の整備
- ・司書教諭及び学校司書の研修の充実
- ・朝読、家読の推進
- ・小中学生調べる学習コンクールの開催
- ・高校ブックライン事業の推進
- ・高齢者や障がいのある方へのサービス

●市民との協働による読書活動の推進

- ・子ども読書の日記念事業の実施
- ・各種読書活動団体等の育成支援
- ・恵庭まちじゅう図書館事業の推進
- ・市民による読書活動の推進
- ・人とまちを育む読書推進月間事業の開催

●図書館サービスの充実と適切な環境の整備

- 各種講演会
- 上映会
- 郷土資料のデジタル化推進
- ブックステーションの充実
- カードレスIC化事業による図書館恵庭分館の一部無人開館
- 電子図書館

【事業計画】

領域：読書推進

事業名	期日	対象	趣旨	R6年度 評価事業
図書館事業（資料収集・提供）				
1.資料の収集	通年	市民	多様化する市民の資料要求に迅速、的確に対応できるよう新刊図書、雑誌、視聴覚資料、パンフレット、郷土資料、行政資料等を収集保存。	
(1)図書の収集				
(2)雑誌の収集				
(3)視聴覚資料の収集				
(4)その他の資料の収集				
2.資料の提供	通年	市民	市民の様々なニーズに応えるため、所蔵する資料に加えて、道内外の図書館から資料を借受ける相互貸借サービスを活用し、資料の提供を行う。また、インターネット予約サービスの充実を図る。	
(1)図書、雑誌の貸出				
(2)予約・リクエストの受付				
(3)レファレンスサービス				
(4)資料検索及び資料案内				
3.情報提供サービスの推進	通年	市民	インターネットや各種データベースの活用促進を図るほか、利用者の嗜好に応じた新着図書情報や過去の貸出記録が管理できる機能の提供など、多様なニーズに対応した情報提供に努める。	
(1)インターネット及び各種データベースの利活用				
(2)新着図書情報データ配信サービスの実施				
(3)読書履歴管理機能の活用				
4.電子図書館	通年	市民	インターネットを通じて本(電子書籍)の閲覧・貸出が可能な電子図書館サービスの充実を図る。	
5.団体貸出	通年	市内団体等	学童クラブ・学校・団体などへの図書団体貸出を推進。	
6.図書宅配サービス	通年	市民	市民を対象に本の宅配サービスを実施。	
7.ブックステーション	通年	市民	黄金ブックステーション及びかしわのもりブックステーションの運営。	
図書館事業（児童サービス）				
1.おはなし広場	毎週2～3回	乳幼児～ 小学校低学年	絵本の読み聞かせを通して子どもの豊かな心や想像力を育成するため、読み聞かせ団体等の協力により実施。また、学校の休業期間に合わせてスペシャルおはなし会も実施。	
(1)本館				
(2)恵庭分館				
(3)島松分館	毎月2回			
2.BALLOONおはなし会	毎月1回	幼児～児童	洋書絵本を原語で読み聞かせる。	
3.家読の普及活動	随時	児童生徒及び保護者	家読への理解を深める各種取組を実施。	
4.子ども読書の日記念事業	4月中旬～5月中旬	幼児～小中学生	4月23日の「子ども読書の日」を記念して読書推進のための各種事業を開催、併せて小中学校での取組を啓発する。	
5.ハロウィン仮装おはなし広場&ぬいぐるみおとまり会	年1回	幼児～児童	ハロウィンの仮装を行いながらおはなし会を開催。また、子どもたちの大切にしているぬいぐるみを預かり、図書館内の活動を創作・記録するおとまり会を合わせて開催。	
6.工作ワークショップ	年1回	児童	講師を迎え、様々な工作体験ができる講習会を開催。	
7.ニコニコさつえい会	年1回	乳幼児	絵本の読み聞かせ後に、絵本の場面を小さなお子さんが物語の主人公になって再現するイベントを開催。	
図書館事業（文化集会事業）				
1.作家講演会	未定	市民	作家を招いて作品についてのエピソードを語ってもらうことで本の魅力を広げる講演会を開催。	
2.上映会の開催	毎週水・土曜	市民	子どもから大人まで映像文化を学び親しむ機会とする。	
3.図書館活用講座	年1回	市民	図書館の活用方法を紹介し、図書館をより身近に感じてもらうための講座を開催。	
4.大人のための朗読会	年1回	市民	大人を対象に物語の世界に浸って本を楽しむ朗読会を開催。	

事業名	期日	対象	趣旨	R6年度 評価事業
図書館事業（障がい者等サービス）				
1.障がい者サービス	通年	視覚障がい者	障がい福祉及び広報担当部署と連携し、朗読及び点訳赤十字奉仕団の協力を得て、録音・点訳された資料やサビ工図書館を活用した資料の郵送貸出を実施。また、朗読赤十字奉仕団の協力により視覚障がい者への対面朗読を月2回実施。	
(1) 図書の点訳・音訳				
(2) 郵送貸出				
(3) 対面朗読サービス				
(4) サビ工図書館				
図書館広報事業				
1.図書館活動のPR	月1回	市民	図書館の行催事や新着図書のお知らせ等、図書館活動のPR紙の発行。 図書館の行催事のお知らせ、図書館活動を掲載。 図書館の各種利用状況をまとめた年報を作成。	
(1) 図書館だより				
(2) ホームページ・Facebook				
(3) 図書館要覧の作成	随時更新			
(3) 図書館要覧の作成	年1回			
図書館事業（学校へのサービス）				
1.小中学校への支援	随時	小中学校等	総合学習の受入、施設利用及び調べ学習サポート等、児童生徒の受入れを積極的に努める。また、読み物（文学系）を中心にした団体貸出についても継続し支援する。 学校図書館と市立図書館蔵書のオンライン検索及び配本システムの活用促進を図り、読書支援と学習支援に努める。	
(1) 総合学習の受入				
(2) 職業体験の受入				
(3) 団体貸出				
(4) 学校図書館配本システム				
2.高校ブックライン事業	随時	恵庭北高校 恵庭南高校 生徒及び教員	小中学校で身に付けた読書習慣を高校においてより確かなものにし、読書力を高め、主体的な読書活動を推進する。	
協働連携事業				
1.全市的読み聞かせ活動の推進	通年	市民	家庭や市内各所での読み聞かせ普及のため、読み聞かせ活動を担う個人や団体等の支援に努め、ボランティアの育成を図るとともに、活動の場の開発及び提供を推進する。また、各幼稚園等に図書を配置し、読み聞かせ活動の推進を図る。	
(1) 各種団体の育成支援				
(2) 読み聞かせ講習会等実施				
(3) 幼稚園や保育園での読書活動推進	随時			
2.恵庭まちじゅう図書館事業の推進	通年	全市	市内の店舗等に置かれた本を通して地域の交流づくりに活用する。	
3.ブックスタート事業				
(1) ブックスタート	毎月1回	9～10ヵ月児 及び保護者	乳児期から絵本の読み聞かせを定着させ、親子のコミュニケーションを創出することを目的に実施。	
(2) ブックスタートプラス		1歳6ヵ月児 及び保護者	ブックスタートで絵本と出会った親子へ、更なる家庭読書の浸透と継続を目的に実施。	
4.図書館開館24時	年1回	市民	深夜まで図書館を延長開館し、勤務等の理由により来館困難な市民に対する図書館サービスの提供の機会とする。	○
5.図書館まつり	10月	市民	幼児期からの各世代を対象に多彩なプログラムを展開する。	
6.本のリサイクル市	年2回	市民	図書館ボランティア「黄色いエプロンの会」主催により、市民から提供を受けた本のリサイクル市を開催。併せて図書館の除籍資料の無償提供を行う。	
7.図書館に住んでみるツアー	年1回	市民	図書館や本に親しむことを目的に、市民との協働により図書館での宿泊体験を実施。	
8.司書の派遣	年3～5回	乳幼児とその親	ファミリーサポートや子育て支援センター及び関係機関の要請に応じて司書等を派遣し、図書館や読み聞かせ等に関する理解を深めてもらうとともに、読書活動の普及・啓発を行う。	
学校図書館事業				
1.学校図書館活動の推進	通年	小中学校	朝読書や読み聞かせ、家読等により読書習慣の形成を図り、学校における読書活動を推進する。また、図書の整備充実を図るとともに、配本システムを活用した全市的図書資料の共有化を推進し、司書教諭と学校司書の連携、学校図書館活動の理解を深めるため合同研修等を実施する。更に、「小中学生調べる学習コンクール」を開催し、図書館を利用した調べ学習の推進を図る。また、学校間のネットワーク化と学校図書館活動の充実・支援を図る。物語や科学を楽しむための本を各小中学校に定期的巡回展示と貸出を行う。	○ 朝読・家読
(1) 学校における読書活動				
(2) 図書の共有化推進				
(3) 司書教諭・学校司書の研修会開催				
(4) 朝読・家読の推進				
(5) 調べる学習コンクール開催				
(6) 学校図書館活動推進協議会				
(7) 物語定期使				



第 2 期 恵庭市読書活動推進計画

令和 6 年度～令和 1 5 年度



恵庭市教育委員会

目次

第1章 計画策定にあたって	
1	計画策定の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2	計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3	計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第2章 読書活動の現状と課題	
1	読書活動を取巻く状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2	第1期推進計画（平成26～令和5年度の進捗状況）・・・・ 3
3	アンケート及び市民懇談会結果・・・・・・・・・・・・ 5
4	現状のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5	課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
第3章 基本的な考え方について	
1	基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
2	基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
3	施策体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
第4章 具体的方策	
基本方針1 生涯各期に応じた読書活動の推進と環境づくり	
1	読書習慣の芽生え（乳幼児）・・・・・・・・・・・・ 17
2	読書習慣・調べる力の習得（小中学生）・・・・・・・・ 18
3	主体的な読書活動の啓発（高校・大学世代）・・・・ 20
4	多様な読書活動の実践（成人以降）・・・・・・・・ 20
基本方針2 市民との協働による読書活動の推進	
1	読書活動に関する情報の提供・・・・・・・・・・・・ 22
2	読書活動の普及・啓発・・・・・・・・・・・・ 22
3	関係機関・団体との連携・・・・・・・・・・・・ 23
基本方針3 図書館サービスの充実と適切な環境の整備	
1	全域利用サービスの推進・・・・・・・・・・・・ 24
2	市民の学びを支える図書館づくり・・・・・・・・・・・・ 25
3	将来にわたって持続可能な図書館運営・・・・・・・・ 26
第5章 計画の推進・進行管理	
1	計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
2	計画の進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
資料編	
	用語解説（文中にアスタリスク（*）のある語句）・・・・ 29
	恵庭市人とまちを育む読書条例全文・・・・・・・・・・・・ 33

第 1 章 計画策定にあたって

1 計画策定の必要性

恵庭市は、子どもから大人までの生涯各期において「いつでも・どこでも・だれでも」が等しく読書活動に親しむことができるよう、読書の環境づくりに力を注ぎ、市民とともに地域ぐるみで読書のまちづくりを進めてきました。

こうした読書環境や人とのつながりを次の世代に確実に引き継いでいくことを重要視し、これからの読書活動の道標（みちしるべ）となる「恵庭市人とまちを育む読書条例*」を制定し、2013（平成 25）年 4 月 1 日に施行しました。

本条例第 8 条第 1 項において「市は、読書活動の推進に関する基本的で総合的な推進計画を策定し、効果的に実施するため、市民、家庭、地域及び学校と連携を図り、一体となって読書活動の推進に努め」ることとしています。

2 計画の位置付け

この計画は、次のような性格を有するものです。

- (1) 「恵庭市人とまちを育む読書条例」の目的及び基本理念を踏まえ、第 8 条第 1 項に基づく市民の読書活動の推進に関する基本的で総合的な計画です。
- (2) 「子どもの読書活動の推進に関する法律*」（2001（平成 13）年施行）の第 9 条第 2 項に基づく「市町村子ども読書活動推進計画」です。
- (3) 「第 5 期恵庭市総合計画」（2016（平成 28）年策定）に位置づけられた主要施策として、恵庭市の関連する諸計画との整合性を図りながら推進する計画です。
- (4) 「恵庭市立図書館サービス計画*」（2004（平成 16）年策定）と「恵庭市子ども読書プラン*」（2005（平成 17）年策定）を統合した計画であり、全市民を対象に読書活動の推進を図るものです。

3 計画期間

この計画の期間は、令和 6 年度から令和 15 年度までの 10 年間とします。

ただし、社会情勢の変化や計画の進捗状況に対応するため、本計画の中間時期を目処に見直しを行います。

第2章 読書活動の現状と課題

1 読書活動を取巻く状況

(1) 国の取組みと動向

2001（平成13）年公布の「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、基本理念として、全ての子どもがあらゆる機会・場所で自主的に読書活動ができるようにするための環境整備を推進することが謳われました。この法律により、推進の方向性を示すために2002（平成14）年に「子どもの読書活動の推進に関する基本計画」が策定されました。この計画は概ね5年毎に見直され、2023（令和5）年策定の「第五次 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では「不読率の低減」「多様な子どもたちの読書機会の確保」「デジタル社会に対応した読書環境の整備」「子どもの視点に立った読書活動の推進」が基本的方針として挙げられています。

学校図書館については、2014（平成26）年公布の「学校図書館法の一部を改正する法律」により、学校図書館の職務に従事する職員（学校司書*）を置くよう努めることとされました。

また、2019（令和元）年には、書籍を視覚で認識することが困難な方の読書環境の整備を推進する「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が公布されています。

(2) 道の取組みと動向

国の取り組みを受けて2003（平成15）年に「北海道子どもの読書活動推進計画」を策定し、家庭・地域・学校等の連携を進め、積極的に読書環境の整備を行うことが謳われました。この計画は概ね5年毎に見直され、2023（令和5）年策定の「北海道子どもの読書活動推進計画〈第五次計画〉」では「社会全体での子どもの読書活動の推進」「子どもの学びを支える読書環境の整備」が基本目標として挙げられています。

(3) 恵庭市の状況

2014（平成26）年、「恵庭市読書活動推進計画」を策定し、「本と出会い 人と出会いつながりひろがる 読書のまち 恵庭市」を基本理念に、推進の基本方針を示しました。本計画は、計画期間の中間期である2019（令和元）年に社会情勢の変化等に対応するための見直しを行い、後期計画として策定を行っています。

2016（平成28）年、恵庭北高校に「高校ブックライン」が開設され、市立図書館の図書を学校図書館で受け取ることができるようになりました。このサービスは、翌年には恵庭南高校にも開設されています。同じ年には、生涯学習施設「かしのもり」に市内2ヶ所目となるブックステーションが開設されました。

2017（平成29）年、市立図書館全館に指定管理者制度が導入され、民間活力を図書館運営に活かしていくこととなりました。

2018（平成30）年、恵庭分館が「緑と語らいの広場（えにあす）」内に移転開館しました。

2021（令和3）年、恵庭分館でICチップを利用したセルフ貸出と、手のひら認証によるカードレス貸出の運用が始まりました。

2022（令和4）年、恵庭分館で職員不在の時間もセルフ端末により貸出を可能とした「無人開館」を開始しました（09:00～09:30、17:00～19:00）。同年、恵庭分館に予約図書貸出ロッカーを設置し、施設の開館時間であればカウンターを通さずに予約図書の受け取りが可能となりました。また、同年は市立図書館開館30周年にあたり、各種記念事業を行ったところです。

2023（令和5）年、恵庭分館の無人開館時間を22:00まで延長し、施設の閉館時間と同様にしました。

2 第1期推進計画（平成26～令和5年度）の進捗状況

(1) 事業の実施状況

全39事業が実施済

(2) 目標指標の達成率

進捗率（実績値／目標値）に対する達成度を次の表のとおり4段階で評価

進捗率	100%以上	90%～100%	80%～90%	80%未満
評価	計画どおり	概ね計画どおり	やや遅れ	遅れ

事業	指標名	指標の概要	基準年度の状況①	目標年度の状況②	進捗状況③	目標に対する現在の進捗率③／②	進捗率の評価	
			平成24年度	令和5年度	令和4年度			
1 から 15	市立図書館における乳幼児対象事業の取組み状況	ボランティア等と連携して、市立図書館を会場に実施する乳幼児が参加できる読み聞かせ会や人形劇などの件数（件）	152件	200件	187件	93.5%	概ね計画どおり	
	学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館図書標準*の平均達成率	小学校	107.30%	100%	104.20%	104.2%	計画どおり
			中学校	93.20%	100%	107.50%	107.5%	計画どおり
	読書が好きな児童（小学生）・生徒（中学生）の割合	全国学力・学習状況調査*において、「読書は好きですか」の設問に対して、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答する小中学校児童生徒の割合	児童	79.00%	85%	76.6%	90.1%	概ね計画どおり
生徒			79.40%	85%	74.8%	88.0%	やや遅れ	
	高校生期から青年期における読書の状況	市立図書館の年齢別貸出冊数における16歳から22歳までの貸出冊数	18,267冊	24,000冊	7,464冊	31.1%	遅れ	
16 から 24	読書に関する活動団体数	市や学校と連携して、読み聞かせ、読書会、本のリサイクル及びその他読書に関する活動を行う団体数	39団体	50団体	32団体	64.0%	遅れ	
25 から 39	雑誌タイトル数	市立図書館における受入雑誌のタイトル数	178タイトル	220タイトル	181タイトル	82.3%	やや遅れ	
	一人当たりの蔵書冊数	市立図書館における市民一人当たりの蔵書冊数	4.07冊	4.5冊	3.83冊	85.1%	やや遅れ	
	一人当たりの貸出冊数	市立図書館における市民一人当たりの貸出冊数	9.11冊	12冊	7.57冊	63.1%	遅れ	
	図書館利用に対する満足度	図書館利用者アンケート調査*において、「図書館の利用について満足していますか」の設問に対して、「満足」または「やや満足」と回答する利用者の割合	71%	80%	93.6%	117.0%	計画どおり	
	インターネット利用サービス登録者数	市立図書館におけるインターネット環境を活用したサービスの登録者数	1,670人	5,000人	4,774人	95.5%	概ね計画どおり	

(3) 分析

事業	指標名	分析	次期計画での 取り扱い
1 から 15	市立図書館における 乳幼児対象事業の取組み状況	乳幼児対象事業による効果で 順調に増加している	継続
	学校図書館図書標準の 達成状況	全ての小学校で学校図書館図書 標準の数値を達成している	継続
		全ての中学校で学校図書館図書 標準の数値を達成している	継続
	読書が好きな児童（小学生） ・生徒（中学生）の割合	当初より数値を落としているが 全道的な傾向である	要対策
		当初より数値を落としているが 全道的な傾向である	要対策
	高校生期から青年期における 読書の状況	極端な減少率であり、 コロナ禍の影響を差し引いても かなり深刻な状況に陥っている	重要課題
16 から 24	読書に関する活動団体数	コロナ禍の影響もあり 新規団体が生まれにくい。 数に囚われない指標が必要か	指標見直し
25 から 39	雑誌タイトル数	電子媒体によるサービスへの 移行期を迎えており、 算定基準の見直しが必要	指標見直し
	一人当りの蔵書冊数	人口増と恵庭分館移転による 書架減が未達成要因。 数値に電子媒体を含めていない	指標見直し
	一人当りの貸出冊数	コロナ禍による休館等で 貸出数が激減した影響が 回復していない	要対策
	図書館利用に対する満足度	目標を大きく上回る高い満足度 となっている	継続
	インターネット利用サービス 登録者数	ネット予約等の利便性の良さが 浸透し順調に増加している	継続

3 アンケート及び市民懇談会結果

(1) 図書館利用者アンケート

※図書館指定管理者により実施

実施期間：令和4年12月10日～18日

①本館

回答者：70代以上44% 60代22% 40代16% 50代15% 回答数286

居住：市内94%

利用頻度：月1～2回49% 週1～2回38%

距離：10分以内52% 30分以内46%

滞在時間：30分～1時間48% 30分未満40%

来館目的：貸出90% 読書20% 調べ物9%

満足度：満足72% やや満足22%

満足なサービス：祝日開館75% ホームページからの蔵書検索57% 本のリサイクル53%

希望：本・雑誌の充実52% 無回答20% セルフ貸出機の設置15% 特になし10%

分析：

- ・図書館をよく利用する60代以上が回答者の中心。
- ・来館目的は9割の回答者が貸出。滞在を避ける傾向も見える。
- ・祝日開館の満足度が突出して高く、要望の高さがうかがえる。
- ・セルフ貸出機設置要望の増加は、恵庭分館に導入済のうえ、近年の非接触が求められる傾向によるものと考えられる。
- ・自由意見に自習席の充実や飲食施設の要望があり、施設の改善が望まれている。

②恵庭分館

回答者：70代以上 30% 50代 24% 40代 19% 60代 15% 回答数 72

居住：市内 93%

利用頻度：週 1～2回 46% 月 1～2回 33%

距離：10分以内 51% 30分以内 46%

滞在時間：30分未満 58% 30分～1時間 40%

来館目的：貸出 81% 読書 21% 予約図書貸出ロッカー 13%

満足度：満足 58% やや満足 36%

認知度：ホームページでの蔵書検索 50% ホームページでの予約・貸出延長 49%

希望：本・雑誌の充実 67% 読書環境 21% 開館時間拡大 11% 特になし 11%

分析：

- ・週 1～2回の利用が最も多く、本館よりも利用頻度が高い利用者が多い。
- ・ホームページでの検索・予約を行い、予約図書貸出ロッカーにて図書を受け取る恵庭分館独自のスタイルが定着している。一方で、ロッカーを知らなかった人も 4 割弱いる。
- ・ロッカーの館外設置（24 時間利用・駅への設置）を希望する声もある。
- ・無人開館の認知度が高い。4 割強がすでに利用しており、サービスの浸透がうかがえる。
- ・希望として開館時間の拡大が挙げられているが、令和 5 年より変更済（9:00～22:00）。
- ・司書のおすすめコーナー等、アットホームな雰囲気を求める声もある。

③島松分館

回答者：70代以上 28% 30代・40代・60代各 16% 回答数 50

居住：市内 94%

利用頻度：月 1～2回 44% 週 1～2回 40%

距離：10分以内 64% 30分以内 36%

滞在時間：30分未満 74% 30分～1時間 22%

来館目的：貸出 82% 子どもの付き添い 12% 読書 10%

満足度：満足 70% やや満足 16%

認知度：おはなしひろば 42% フリーWi-Fi 38% 9時30分開館 36%

希望：本・雑誌の充実 64% 特になし 22% 読書環境 14%

分析：

- ・子どもの付き添いが来館目的の上位であることが特徴的。おはなしひろばの認知度が高いことも含め、親子での利用ニーズが他館より高いことがうかがえる。

(2) Webアンケート ※北海道文教大学学生へのアンケート（回答数3）の結果を含む。

実施期間：令和5年5月10日～23日 ※文教大：令和5年6月19日～30日

回答者：50代30% 30代26% 40代25% 回答数264

居住：市内90%

読書頻度：年に数回33% 月に数回26% 週に数回23%

本の入手：書店で買う79% 図書館で借りる37% インターネットで紙の本を買う31%

館の利用：あり52%（137人） 恵庭市以外8%（22人） なし40%（105人）

来館目的：貸出85% 読書39% 家族の付き添い32% ※137人のうち

未利用者：開館時間に行けない33%、学校・勤務先から遠い24% ※127人のうち

望むもの：蔵書の増加48% 電子図書館24% 新聞・雑誌の増加23%

設備環境：静かな環境63% 個人ブース35% 飲食可能34%

その他：駐車場が狭い 不登校の子ども居場所を ロッカーの増設 乳幼児スペースの改善
島松分館にセルフ貸出機設置 図書館は不要 ブックスタートは不要 交流の場としての活用

分析：

- ・施設については、アプローチの難（距離・駐車場・開館時間）、蔵書に直接関連しない要望（自習・飲食・集団利用）が多い中、予約図書受取ロッカーへの満足感・期待感が目立つ。
- ・機能・事業については、年齢層別・趣味別のイベントに加え、交流が生まれる場として期待が大きい。現状で不満なしの意見も多い。
- ・資料については、近々の人気作よりも、時代にこだわらない良書への要望が多い。読書時間の縮小等により、貸出期間などについて余裕を持たせた規則も求められている。
- ・貸出への潜在的な需要の高さが感じられる。何らかの形で図書館へと導くことさえできれば、利用の増加は十分期待できる。
- ・貸出や調べもの等とは異なる面で、図書館が求められてきている。対応として、館内の読書環境・設備の整備、及び来館者への情報発信や実施行事の多岐・多彩化等が考えられる。
- ・開館時間や図書館までの距離が利用を妨げる理由となっているが、分館やブックステーションの周知が不足していることも考えられる。併せて、利用者の時間的・距離的ハンディキャップに束縛されない電子図書館の推進は解決策のひとつである。
- ・図書館資料充実への期待は依然として高いが、電子図書館・Webでの情報提供・年齢毎の読書支援にも少なくない需要が見て取れる。資料の充実と並行して資料・情報発信のICT化が求められており、併せてターゲットを明確にした事業の実施により市民への強いアピールが可能と考えられる。
- ・静かな読書環境と個人ブース・飲食可能スペースへの期待が大きく、どのような形で実現するかが課題となる。

(3) 小学生へのアンケート

実施期間：令和5年6月19日～30日

調査対象：恵庭市立若草小学校児童 回答数 126

読書頻度：毎日42% 週1回以上37% 月1回以上10%

本の入手：図書館で借りる75% 書店で買う50%

館の利用：あり54%（68人） なし46%（58人）

来館目的：貸出82% 読書62% イベント28% ※68人のうち

未利用者：学校図書館で十分40% 場所がわからない34% ※58人のうち

望むもの：小学生向けコーナー54% 蔵書の増加52% 電子図書館33%

望む設備：静かな環境70% 賑やかにできる48% 飲食可能38% セルフ貸出33%

その他：たくさん本があり楽しい 色々な本を増やしてほしい もっと本を借りたい
静かで利用しやすい たくさん借りられる

分 析：

- ・読書頻度は大変高い（毎日&週1回以上=79%）
 - ・本の入手方法は回答者の75%が図書館で借りることを選択。
 - ・およそ半数が市立図書館を利用しておらず、その4割が学校図書館で満足しており、3割強が図書館の場所を知らない。
 - ・館内での読書を来館目的とする回答者が6割に上る。
 - ・小学生向けの本があるコーナーを望む回答者が5割を超え、蔵書増加よりも高い数値。
 - ・静かな環境を望む回答者が7割となり、賑やかにしたい者（約5割）を上回った。
- 小学生向けの配慮がされた館内で、静かに読書を楽しみたい層の存在が見て取れる。

(4) 中学生へのアンケート

実施期間：令和5年6月19日～30日

調査対象：恵庭市立恵庭中学校生徒 回答数 16

読書頻度：毎日37% 週数回44% 月数回6%

本の入手：書店で買う81% 図書館で借りる75%

館の利用：あり56%（9人） 恵庭市以外6%（1人） なし38%（6人）

来館目的：貸出80% 気分転換60% 読書30% ※10人のうち

未利用者：貸出等面倒43% 遠い・学校図書館で十分・自分で買う 各29% ※7人のうち

望むもの：蔵書の増加63% 映画上映会38% 調べものの相談25%

望む設備：賑やかにできる50% 静かな環境・飲食可能 各38% 一人で勉強31%

分 析：

- ・標本数は少ないものの、読書頻度は大変高い（毎日&週数回=81%）
 - ・読みたい本は回答者の約8割が書店で買い、僅差だが図書館利用を上回る。
 - ・およそ4割が市立図書館を利用しておらず、その半数が貸出等を面倒と感じている。
 - ・気分転換を来館目的とする回答者が4割弱おり、読書目的を上回る。
 - ・蔵書の増加を望む回答者が6割を超える。映画上映会も4割が希望。
 - ・賑やかにしたい回答者が5割となり、静かな環境を望む者（4割弱）を上回った。
- 図書の貸出に加え、気分転換等を目的として立ち寄れることに魅力を感じている。

(5) 高校生へのアンケート

実施期間：令和5年6月19日～30日

調査対象：北海道立恵庭北高等学校生徒 回答 72

読書頻度：毎日 8% 週数回 36% 月数回 17%

本の入手：書店で買う 86% 図書館で借りる 22%

館の利用：あり 32% (23人) 恵庭市以外 17% (12人) なし 51% (37人)

来館目的：貸出 51% 図書館の本を使わない自習 43% 気分転換 26% ※23人のうち

未利用者：遠い 47% 自分で買う 43% 読書・調べ物に図書館不要 37% ※49人のうち

望むもの：蔵書の増加 53% 映画上映会 26% 雑誌等の増加 17%

望む設備：自習ブース 57% 静かな環境 54% 飲食可能 46% 賑やかにできる 42%

分 析：

- ・読書頻度は低年代より急激に落ちる（毎日&週数回=44%）
 - ・読みたい本は回答者の約9割弱が書店で買い、図書館利用は僅かに約2割。
 - ・およそ7割が恵庭市立図書館を利用しておらず、その5割弱が遠いと感じている。
 - ・貸出を来館目的とする回答者は5割強。約4割が資料持ち込みによる自習。
 - ・蔵書の増加を望む回答者が5割を超える。映画上映会も3割弱が希望。
 - ・自習ブースを望む回答者が6割弱となり、静かな環境を望む者（5割強）を僅かに上回る。
- 読書よりも自習等に需要がある。図書館までの距離を利用の障害と考えている。

(6) 市民懇談会結果

実施日時：①令和5年6月8日@えにあす 6名参加

②令和5年6月9日@本館 12名参加

③令和5年6月13日@島松分館 4名参加

意 見：

- ・推進計画の達成状況が芳しくなく、分析が必要。
- ・16～22歳の読書離れが特に深刻。
- ・高校生・大学生に図書館事業への参加を促してはどうか（読み聞かせ・選書・レイアウト・POP作成・イベント等）。
- ・普段来ない人が行ってみたくなる図書館を作ることが重要（音楽会、Wi-fiの利用促進、テラスの活用、漫画の導入等）。
- ・図書館だから味わえる空間がある。読書以外の目的で利用することも重要。
- ・図書館内に様々なスペース（個人・大勢・会話・飲食等）があるとよい。
- ・コロナ禍によって需要が見えたこともある（電子図書、予約貸出ロッカー、無人貸出）。
- ・子どもが安心して集うことのできる場所となってほしい。
- ・イベントや学校司書の配置等、実施している事業のPRが不足している。
- ・「読書のまち」が当たり前すぎて、市民にその意識が薄れてきている。しっかり継承してほしい。
- ・恵庭市では幼少期から読書習慣の土壌がある。焦らなくても必ず戻ってくる。
- ・読書形態の変化のみで「図書館不要」を論じるのはいかがか。レファレンスやコミュニティの場としての役割がある。

- ・ 恵庭市が「読書のまち」であることの根幹として、今一度、読書条例の目的（第1条）「読書活動を通じて」「人と地域のつながりを深める」ことを推し進めるべき。そのためには、図書館による読書を通じたつながりを創出する仕掛けが必要。

分 析：

- ・ 中学生～大学生年代の利用の落ち込みについて、積極的な対策が必要。
- ・ 図書館ならではの空間を活かしつつ、読書から離れた利用方法の提案を行ってはどうか。
- ・ アフターコロナを見据えたサービスに一定のニーズがあり、継続を。
- ・ 今一度実施事業のPR方法を見直し、「読書のまち」のアピール強化を。
- ・ 読書を通じ人と地域のつながりを創出するため、様々な仕掛けを。

4 現状のまとめ

令和2年初頭に発生した新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、外出や人と会うことを控える傾向が数年に渡り継続したことは、現在に至るまで図書館利用や読書活動に大きな影響を及ぼしています。

こうした中、国は「不読率の低減」「デジタル社会に対応した読書環境の整備」などに、また北海道は「社会全体での子どもの読書活動の推進」「子どもの学びを支える読書活動の整備」に重点的に取り組むこととなっています。

恵庭市においては、祝日開館、ブックステーション、セルフ貸出機、予約図書貸出ロッカー、小中学校での朝読書、学校司書の配置等が市民生活に溶け込み、好評を得ています。

一方で、市立図書館の貸出減少、読書が好きな小中学生の減少、高校・大学世代の図書館離れが懸念事項となっており、館内の読書・学習・飲食環境等の改善、事業周知の徹底、電子図書館の充実、読書を通じたコミュニケーション機会の提供などが市民より求められています。

5 課題

図書館に求められる役割が時代とともに変遷していることも鑑みながら、国や地方行政の取組み、現推進計画の進捗状況及び市民意見の分析結果等を踏まえ、新しい図書館像の具現化を推進するための課題を以下のとおり整理します。

- ① 恵庭市は乳幼児対象のブックスタート事業や小中学校世代での朝読書など、幼少期からの読書習慣の土壌がある。高校・大学世代からは図書館での自習利用やイベント参加への期待があるため、まずは貸出利用の有無にこだわらず、図書館に来てもらうことが必要である。
- ② 事業・サービスの満足度は認知度と比例する傾向にあり、事業等の周知について方法等を検討する必要がある。
- ③ ボランティア団体は社会全体での子ども読書活動の推進には欠かすことができない存在であり、活発な活動を行っていくための環境整備が必要となる。
- ④ 恵庭分館に導入した図書館利用が容易となる取組み（セルフ貸出機・予約図書貸出ロッカー・無人開館・開館時間延長等）が好評を得たことから、入館者や貸出冊数の増加を促すため実施館・規模の拡大を行うことが必要である。
- ⑤ 図書館資料として紙媒体だけではなく電子図書の充実も求められていることから、バランスを考慮しながら全体的な図書館利用の増加に繋げ、デジタル社会に対応した読書環境の整備を進めることが必要である。
- ⑥ 「静かな読書環境」「賑やかにしてよい場所」「個人ブース」「飲食可能スペース」等、図書館に求められている設備の実現を見据えた的確な施設改修が必要である。
- ⑦ コミュニケーションの場や機会が求められていることから、人と本、人と人を繋いでいく図書館をつくりあげていくことが必要である。

第3章 基本的な考え方について

1 基本理念

「 本と出会い 人と出会い つながりひろがる 読書のまち 恵庭市 」

すべての市民が、生涯にわたり、いつでもどこでも心豊かに読書活動を行うことができるよう、市民、家庭、地域、学校及び市が一体となって環境づくりに努め、人とまちを育む読書活動を推進します。

読書は、言葉や知識を学び、感性を磨き、創造力やコミュニケーション力を養い、生きる力を育みます。読書を楽しみながら、自らを高め、より豊かな人生を送るとともに、読書の大切さを次の世代に伝えます。

地域ぐるみで取り組む様々なかたちでの読書活動を通じて、人と人とのコミュニケーションを深め、世代を超えたコミュニティづくりやまちづくりを目指すことを基本理念とし、その実現に向けて次の3つの基本方針により取り組みます。

2 基本方針

基本方針 1 生涯各期に応じた読書活動の推進と環境づくり

人の成長、発達段階に応じて、本との出会いの場の提供、読書に親しむ機会の拡充など、それぞれの年齢期に対応した読書活動の推進を図ります。

すべての市民がいつでも、どこでも、自主的な読書や学習が行えるように、読書環境や学習環境の充実を目指すとともに、本と子どもと大人がつながる取組みを進めます。

基本方針 2 市民との協働による読書活動の推進

本市の読書活動には多くの市民がボランティアとして参加し、市民と市が一体となった活動によって大きな成果を上げています。市民との協働や読書活動への参加を一層促進するため、読書活動への理解を深める情報提供や啓発事業を展開します。また、市民、家庭、地域、学校及び市においてそれぞれが実践者として読書活動を推進し、相互の情報を共有しながら緊密な連携を図ります。

基本方針 3 図書館サービスの充実と適切な環境の整備

図書館は、市民を読書に導くための様々なサービスを実施する場を創出するため、また、多様化・高度化する市民ニーズや情報化社会の急速な進展への対応を図るため、誰もが来館・利用・交流しやすい施設の整備を推進するとともに、施設の効果的・効率的な運営を目指します。

基本方針1

生涯各期に応じた読書活動の推進と環境づくり

基本方針2

市民との協働による読書活動の推進

基本方針3

図書館サービスの充実と適切な環境の整備

読書習慣の芽生え
乳幼児

1 赤ちゃんからはじまる本との出会い

2 乳幼児にやさしい図書館づくりと利用の促進

3 読み聞かせ機会の拡充と支援

4 保育園・幼稚園等における本に親しむ環境づくり

読書習慣・調べる力の習得
小中学生

5 学校図書館図書の実用と活用による読書活動の推進

6 本に親しみやすい学校図書館の環境整備

7 司書教諭*及び学校司書の継続配置とスキルアップ機会の拡充

8 朝読・家読*の推進

9 家庭・地域との連携による読書活動推進

10 学校と市立図書館との連携の強化

主体的な読書活動の啓発
高校・大学世代

11 高校・大学世代に対する読書活動の推進

12 高校・大学等における図書館との連携推進

多様な読書活動の実践
成人以降

13 図書館の利用に障がいのある方へのサービスの推進

14 公共施設等の図書整備の推進

15 ボランティアの育成支援の推進

16 外国人に向けたサービスの推進

読書活動に関する情報の提供

17 読書に関する記念日の周知と広報

18 読書に関する情報の発信

読書活動の普及・啓発

19 恵庭まちじゅう図書館事業の推進

20 図書館まつりの開催

21 本のリサイクル活動の推進

22 読書活動を啓発する事業の推進

23 「人とまちを育む読書推進月間*」事業の開催

関係機関・団体との連携

24 関係機関やボランティア団体との連携拡大

25 ボランティアとの協働の場の拡大

全域利用サービスの推進

26 ブックステーション*の利用促進

27 配本システムの推進

市民の学びを支える図書館づくり

28 図書館資料*の収集と提供

29 レファレンスサービス*の充実と利用の促進

30 多様な利用方法の推進

31 I C T*を活用したサービスの推進

32 情報提供サービスの推進

33 司書派遣サービスの推進

34 講演会・映画会・展示などの充実

35 テーマ別図書展示の充実

将来にわたって持続可能な図書館運営

36 読書のまちにふさわしい図書館づくり

37 図書館情報システムの更新

38 効果的・効率的な管理運営

39 計画的な施設・設備の改修

対象別読書活動の取組み

区分	事業 (☆は重点事業、数字は計画上の事業番号)				市民	家庭	地域	学 校				市
	保育園・幼稚園	小・中学校	高校	大学・専門学校								
生涯各期に応じた読書活動の推進と環境づくり	読書習慣の芽生え	☆ 1 赤ちゃんからはじまる本との出会い	○	○							○	
		2 乳幼児にやさしい図書館づくりと利用の促進		○							○	
		3 読み聞かせ機会の拡充と支援	○	○	○	○					○	
		4 幼稚園等における本に親しむ環境づくり		○		○					○	
	読書習慣・調べる力の習得	5 学校図書館図書の実と活用による読書活動の推進							○			○
		6 本に親しみやすい学校図書館の環境整備							○			○
		7 司書教諭等及び学校司書の継続配置とスキルアップ機会の拡充							○			○
		☆ 8 朝読・家読(うちどく)の推進				○			○			○
		9 家庭・地域との連携による読書活動推進	○	○	○				○			○
		10 学校と市立図書館との連携の強化							○			○
	発書主体的な読書活動の啓読	☆ 11 高校・大学世代における読書活動の推進								○	○	○
		12 高校・大学等における図書館との連携推進								○	○	○
	多様な読書活動の実践	13 図書館の利用に障がいのある方へのサービスの推進	○			○						○
		14 公共施設等の図書整備の推進				○						○
		15 ボランティアの育成支援の推進	○									○
		16 外国人に向けたサービスの推進	○			○						○

区分	事業 (☆は重点事業、数字は計画上の事業番号)	市民	家庭	地域	学 校				市
					保育園・幼稚園	小・中学校	高校	大学・専門学校	
図書館サービスの充実と 適切な環境の整備	☆ 36 読書のまちにふさわしい図書館づくり	○							○
	37 図書館情報システムの更新					○			○
	38 効果的・効率的な管理運営								○
	☆ 39 計画的な施設・設備の改修								○

第4章 具体的方策

本計画で掲げた3つの基本方針に沿って、それぞれの重点事業や数値目標を設定し、事業の推進を図ります。

(凡例～表中の記号)

◎：新規 ○：拡充 ・：継続

基本方針1

生涯各期に応じた読書活動の推進と環境づくり

1. 読書習慣の芽生え(乳幼児)

事業 番号	事業	
	事業概要	
1	赤ちゃんからはじまる本との出会い【重点事業】	
	<p>《視点》</p> <p>赤ちゃんからはじまる本との出会いを大切にし、絵本を通じた家庭での温かい時間により、乳幼児の健やかな心を育みます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦教室、両親教室及び育児教室等における読み聞かせの推進 ・ ブックスタート*事業 ・ ブックスタートプラス事業 ・ ブックスタート事業の追跡調査と事業効果の検証
2	乳幼児にやさしい図書館づくりと利用の促進	
	<p>《視点》</p> <p>親子で本に親しみ、人とのコミュニケーションを深める場として市立図書館が利用できるよう活動内容を工夫するとともに、乳幼児と保護者が快適に過ごせる環境整備の充実に努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児と保護者に配慮した施設環境整備の見直し ・ 乳幼児向け図書館資料冊数の充実 ・ 乳幼児を対象にした読み聞かせ会等の行事の開催 ・ 乳幼児の読書活動への理解を促す啓発活動の推進
3	読み聞かせ機会の拡充と支援	
	<p>《視点》</p> <p>ボランティアや保育士・教員等による幼稚園等や子育て支援施設等での読み聞かせを通じ、読書への興味関心を高め、就学前からの読書活動の習慣化や、世代間のつながりによるコミュニケーションの深まりを目指します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園等や子育て支援施設等における読み聞かせ会の開催 ・ 読み聞かせに関する講座等の実施 ・ 読み聞かせボランティアの育成支援と活動場所の提供

幼稚園等における本に親しむ環境づくり	
4	<p>《視点》</p> <p>幼稚園等は、子どもが多く時間を過ごす場所であり、心身の成長に深い関わりを持っていることから、子どもたちの身近に本があり、安心して本に親しめる環境づくりに努めます。</p>
	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立図書館との連携による団体貸出や集団利用の活用促進 ・ 児童施設図書購入事業*の推進 ・ 園内図書コーナーの整備促進 ・ 「子どもの読書活動を支える寄附制度*」の活用

2. 読書習慣・調べる力の習得(小中学生)

事業番号	事業概要
5	<p>学校図書館図書の充実と活用による読書活動の推進</p> <p>《視点》</p> <p>本に親しむ心豊かな児童生徒を育成するため、校長のリーダーシップのもと、学校図書館の運営を学校全体で組織的・計画的に行い、活動の充実に努めます。また、学校図書館の活用により、自ら学ぶ力やコミュニケーション能力の向上を目指します。</p> <p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館図書標準率に基づく計画的な図書整備の推進 ・ 読書・学習・情報センターとしての機能の充実 ・ 学校図書館利用促進の広報活動 ・ 「子どもの読書活動を支える寄附制度」など寄附活用による資料の整備 ・ 障がいのある児童生徒の状況に応じた資料*の整備や新聞・雑誌などの様々な資料の整備
6	<p>本に親しみやすい学校図書館の環境整備</p> <p>《視点》</p> <p>子どもの発達段階を踏まえて、児童生徒が本に出会い、読書を楽しみ、本に親しめるよう、学校図書館の環境整備に努めます。</p> <p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の本との出会いを支援する図書展示やパネル展示の充実 ・ 児童生徒が本に親しめる空間づくりや掲示、装飾等の工夫 ・ 学校図書館施設及び書架や椅子等設備の維持管理

	司書教諭等及び学校司書の継続配置とスキルアップ機会の拡充	
7	<p>《視点》</p> <p>学校の教育活動を通じて、学校図書館を計画的・継続的に利用できる環境を整備し、その機能を積極的に活用します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 司書教諭等及び学校司書の配置 ・ 司書教諭等及び学校司書のスキルアップを図る研修会の実施 ・ 司書教諭等及び学校司書との連携による学校図書館活動の推進
	朝読・家読(うちどく)の推進【重点事業】	
8	<p>《視点》</p> <p>小中学校での「朝読」の推進とともに、家族で同じ本を読んで語り合う「家読」を推進することにより、読書習慣の形成と読書を通じた家族のコミュニケーションの促進を目指します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全小中学校での通年朝読の推進 ・ 「家読」事業の推進 ・ 読書習慣の形成による学校や家庭での生活リズムの形成
	家庭・地域との連携による読書活動推進	
9	<p>《視点》</p> <p>学校図書館内の装飾や図書の修理、読み聞かせなどの活動における支援・協力体制づくりを推進し、家庭・地域と一体となって児童生徒の読書活動を支援します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭・地域の協力による読み聞かせの推進 ・ 家庭・地域との連携による学校図書館環境整備の推進
	学校と市立図書館との連携の強化	
10	<p>《視点》</p> <p>児童生徒の読書活動、学習活動及び教職員の教育活動を支援するため、市立図書館と学校との連携を強化し、子どもたちの自ら学ぶ力の育成と読書意欲の向上を図ります。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な学習の時間やキャリア教育*における図書館の活用 ・ 小中学生調べる学習コンクール*への参加促進 ・ うちどくノート及び推薦図書のリストの利活用 ・ 読書活動の推進を目的とした講演会、研修会等への参加 ・ 恵庭市学校図書館活動推進協議会の活用

3. 主体的な読書活動の啓発（高校・大学世代）

事業 番号	事業	
	事業概要	
11	高校・大学世代における読書活動の推進【重点事業】	
	<p>《視点》</p> <p>小中学校で身に付けた読書習慣を、高校・大学世代においてより確かなものにし、読書力を高めるとともに主体的な読書活動を推進します。</p>	<p>《取組》</p> <p>◎高校・大学世代の集客を意識したイベント実施やコーナーの設置及び周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読など校内読書活動の推進 ・図書委員会活動との連携推進
12	高校・大学等における図書館との連携推進	
	<p>《視点》</p> <p>高校や大学等における市立図書館への認知度を高めるとともに、同世代の読書活動を効果的に進め、一人ひとりが主体的に読書活動に取り組めるよう努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内高校図書配本システム「高校ブックライン」の実施 ○団体貸出やキャリア教育における市立図書館の活用 ○市立図書館事業への参加を通じた地域との交流の促進

4. 多様な読書活動の実践（成人以降）

事業 番号	事業	
	事業概要	
13	図書館の利用に障がいのある方へのサービスの推進	
	<p>《視点》</p> <p>図書館の利用に障がいのある方が、本に親しみ、快適に図書館が利用できるよう、読書環境の整備とサービスの充実に努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵送貸出*サービスの推進 ・図書宅配サービス*の推進 ・対面朗読*サービスの推進 ・大活字本*や録音図書*、点字図書の充実 ・関係団体及び機関との連携の強化 ・高齢者や障がいのある方に配慮した利用環境の整備 ・サピエ図書館*の活用
14	公共施設等の図書整備の推進	
	<p>《視点》</p> <p>町内会（自治会）文庫の設置等により地域内の読書活動を推進し、身近に本がある環境づくりに努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会等文庫の設置の推進 ・公共施設における図書コーナーの設置の推進 ・公共施設、町内会等文庫における市立図書館除籍資料やリサイクル本の活用

15	ボランティアの育成支援の推進	
	《視点》 市民と市が一体になって読書による人づくり、まちづくりを推進するため、ボランティアの育成及び活動の支援を行います。	《取組》 ・市民対象のボランティアの養成講座等の開催 ・ボランティアの育成と資質向上の支援 ・市内ボランティア団体への情報提供やスキルアップ研修の支援
16	外国人に向けたサービスの推進	
	《視点》 市内在住の外国籍の方が気軽に図書館が利用できるよう、サービスの充実に努めます。	◎サービス内容の検討・推進



指標名	指標の概要		基準年度の状況 (令和4年度)	目標年度の状況 (令和15年度)
市立図書館における乳幼児対象事業の取組み状況	市立図書館がボランティア等と連携して実施する乳幼児向けの読み聞かせ会や人形劇などの件数		187件	200件
学校図書館図書標準の達成状況	学校図書館図書標準の平均達成率	小学校	104.2%	100%以上
		中学校	107.5%	100%以上
読書が好きな児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査において、「読書は好きですか」の設問に対して、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答する小中学校児童生徒の割合	小学校児童	76.6%	85%
		中学校生徒	74.8%	85%
高校生期から青年期における読書の状況	市立図書館の年齢別貸出冊数における16歳から22歳までの貸出冊数		7,464冊	10,000冊

1. 読書活動に関する情報の提供

事業 番号	事業	
	事業概要	
17	読書に関する記念日の周知と広報	
	<p>《視点》</p> <p>広報誌や市ホームページ、チラシ、電子媒体等を活用して、「読書に関する記念日」の意義や情報の周知を行います。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書の日*（4月23日）、こどもの読書週間*（4月23日～5月12日）の周知 ・読書週間（10月27日～11月9日）の周知 ○関連事業の積極的な情報の発信
18	読書活動に関する情報の提供発信 【重点事業】	
	<p>《視点》</p> <p>市内外に本市の読書活動情報の取組みを周知するとともに、広報誌、ポスター及びチラシによる読書活動に関する事業等の発信を行います。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電子媒体等を活用した本市読書活動情報の積極的な発信 ・ブックトーク*、アニメーション*、ビブリオバトル*、素読*等の読書の楽しさに気付かせる手法の周知

2. 読書活動の普及・啓発

事業 番号	事業	
	事業概要	
19	恵庭まちじゅう図書館事業の推進	
	<p>《視点》</p> <p>本を通じて互いに交流を深め、本を地域の絆づくりに活用する恵庭まちじゅう図書館事業を推進します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規参加事業者の募集 ・広報誌、市ホームページ及びマップ等を活用した情報の発信 ・参加事業者主催イベントの周知
20	図書館まつりの開催	
	<p>《視点》</p> <p>市民の読書活動のきっかけづくりとして、関係団体等と連携しながら図書館施設を有効活用した「図書館まつり」を開催し、読書活動推進の一助とします。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生から大学生等による幅広い年代の参加 ・読書活動を通じた異世代交流の促進

	本のリサイクル活動の推進	
21	《視点》 本のリサイクル活動への市民理解を促し、図書や雑誌の有効活用を図ります。	《取組》 ・本のリサイクル市の実施 ・市立図書館除籍資料の有効活用
	読書活動を啓発する事業の推進	
22	《視点》 読書活動の啓発を図るため、学校や図書館、地域で行われる関連事業について、市民への情報発信を行います。	《取組》 ・学校、市立図書館における「子ども読書の日」記念事業の実施 ・町内会等における読書活動に関する取組みの推進 ・各年代に向けた読書活動を啓発する資料の作成
	「人とまちを育む読書推進月間」事業の開催	
23	《視点》 「人とまちを育む読書推進月間」の周知と啓発を行い、読書活動を通じて世代を超えたコミュニティづくりやまちづくりにつながる事業を行います。	《取組》 ・広報誌、市ホームページ、チラシ及びその他電子媒体を活用した情報提供 ・各世代、団体等に向けた啓発資料の作成 ・「人とまちを育む読書推進月間」事業の開催

3. 関係機関・団体との連携

事業番号	事業	
	事業概要	
	関係機関やボランティア団体との連携拡大	
24	《視点》 読書活動を充実させていく上で、より大きな成果が得られるよう読書活動関係機関及びボランティア団体との連携を拡大します。	《取組》 ・読書活動に関する北海道及び他自治体との情報の共有促進 ・恵庭市学校図書館活動推進協議会の活用（再掲） ・読書活動関係機関及びボランティア団体等との連携の強化
	ボランティアとの協働の場の拡大【重点事業】	
25	《視点》 読書活動への市民参加の意欲を高めるとともに、これまで行ってきたボランティアとの連携と協働の場の拡大を図り、活発な活動を促します。	《取組》 ○ボランティアの活動場所や機会の提供 ・個人及び団体等に対する優れた取組みへの表彰

【目標指標】

事業番号 17～25

指標名	指標の概要	基準年度の状況 (令和4年度)	目標年度の状況 (令和5年度)
読書に関する団体の活動回数	市や図書館と連携して、読み聞かせ、読書会、本のリサイクル及びその他読書に関する活動を行う団体の活動回数	327回	400回

基本方針 3

図書館サービスの充実と適切な環境の整備

1. 全域利用サービスの推進

事業 番号	事業 事業概要	
	26	<p>ブックステーションの利用推進</p> <p>《視点》 市民が、いつでも、どこでも、だれもが等しく本に親しめる環境を整備するため、現在の1本館、2分館を維持しつつ、図書貸出機能を中心としたブックステーションの利用推進を進め、市内全域を包括する利用サービスネットワークの維持管理を行います。</p>
27	<p>配本システムの推進</p> <p>《視点》 図書館が有している配本システムを活用し、市民の読書環境の充実に努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高校図書配本システム「高校ブックライン」の実施(再掲) ・図書配本システムの推進

2. 市民の学びを支える図書館づくり

事業 番号	事業	
	事業概要	
28	図書館資料の収集と提供	
	<p>《視点》</p> <p>図書館は、あらゆる世代の読書活動や学習活動を支援するため、幅広い分野の資料の収集及び提供を図ります。また、多様化・高度化する市民要求に応えるため、適切な資料費の確保に努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各世代に応じた図書館資料の収集と提供 ・ふるさとの魅力を知り理解を深める郷土資料及び行政資料の積極的な収集と提供 ・計画的な蔵書構成の構築
29	レファレンスサービスの充実と利用の促進	
	<p>《視点》</p> <p>市民が求めている情報や相談に迅速かつ的確に対応できるよう、レファレンスサービスの向上と利用促進に努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス資料の充実 ・レファレンスサービスの向上と周知 ・電子媒体を活用した非来館型レファレンスサービスの構築
30	多様な利用方法の推進【重点事業】	
	<p>《視点》</p> <p>図書館をより利用しやすくするため、利用者の様々な志向に応じた仕組みを導入します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎予約図書受取ロッカーの設置拡大 ◎セルフ貸出機の設置拡大 ◎図書の除菌を行う機器等の設置
31	ICTを活用したサービスの推進	
	<p>《視点》</p> <p>市民がより手軽に情報を入手するために、図書館内におけるインターネット利用等の ICT 環境の充実に努めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆無線 LAN*環境の推進 ・インターネット閲覧サービスの推進 ・カードレス貸出システムの導入拡大*
32	情報提供サービスの推進【重点事業】	
	<p>《視点》</p> <p>情報化社会の急速な進展に伴い、インターネットを利用した情報収集の定着とともに、電子書籍の普及も今後予想されることから、紙媒体や電子媒体による複合的な情報提供と、その利用環境の整備の一層の推進に努めます。また、市民自らが効果的・効率的に読書活動が行えるよう、インターネット環境を活用したサービスを展開します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新着図書情報配信サービス*(SDI サービス)の実施 ・書評・レイティングサービス*の実施 ・外部データベースの利用促進 ・My 本棚(読書履歴管理機能)サービス*の実施 ◎電子図書館サービスの推進 ・郷土資料の電子書籍化の推進

司書派遣サービスの推進	
33	<p>《視点》</p> <p>市民等からの要請に応じて司書を派遣し、図書館の活動に関する理解を深めてもらうとともに、読書活動の普及・啓発を行います。</p>
	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座*への対応 ・ 関係機関及び団体への対応 ・ 幼稚園等、小中学校、子育て支援施設等への対応
講演会・映画会・展示などの充実	
34	<p>《視点》</p> <p>市民の読書に対する関心や学習意欲を高め、新たな活動に取り組むきっかけづくりとして、映画上映、講演、展示等の事業の充実に努めます。</p>
	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館所蔵資料を活用した映画上映会の実施 ・ 文学者や絵本作家等による講演会の開催 ・ 子どもの発達段階に応じた行事の開催 ・ 市民活動発表の場としての展示スペースの活用
テーマ別図書展示の充実	
35	<p>《視点》</p> <p>社会の動きを考慮した幅広い分野のテーマ設定による図書展示やリストの配布により、市民と本との出会いの場を提供します。</p>
	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節や時事のテーマを踏まえた図書展示の充実 ・ 図書展示に対応したリストの作成と配布

3. 将来にわたって持続可能な図書館運営

事業 番号	事業	
	事業概要	
	読書のまちにふさわしい図書館づくり【重点事業】	
36	<p>《視点》</p> <p>本と人を結ぶ場として、また市民交流の場として機能する図書館を目指し、読書のまちにふさわしい図書館づくりを進めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館利用者アンケート調査の継続と結果の公表 ○ サードプレイス*の創出 ・ 市民の生涯学習や地域コミュニティ活動の援助
	図書館情報システムの更新	
37	<p>《視点》</p> <p>充実した図書館サービスの提供を図るため、次期図書館情報システムの構築を検討します。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館及び学校図書館情報システムの更新

38	効果的・効率的な管理運営	
	<p>《視点》</p> <p>効果的・効率的な運営方法や体制について、民間活力導入の拡大を視野に入れ、その効果と課題に十分配慮しながら検討していきます。また、経費節減を常に行うとともに、市民からの寄付を活用するなど、将来にわたって持続可能な図書館運営に取り組めます。</p>	<p>《取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間活力導入の拡大検討 ・ 業務の効率化の推進
39	計画的な施設・設備の改修【重点事業】	
	<p>《視点》</p> <p>図書館本館について、老朽化した施設・設備の維持管理はもとより、利便性及び機能の向上やサービス拡充を見据え、施設及び設備の改修を計画的に進めていきます。</p> <p>また、島松分館については、複合施設への移転やICTを活用した設備の導入を検討します。</p>	<p>《取組》</p> <p>○恵庭市立図書館本館及び島松分館の施設・設備改修計画の作成</p>

【目標指標】

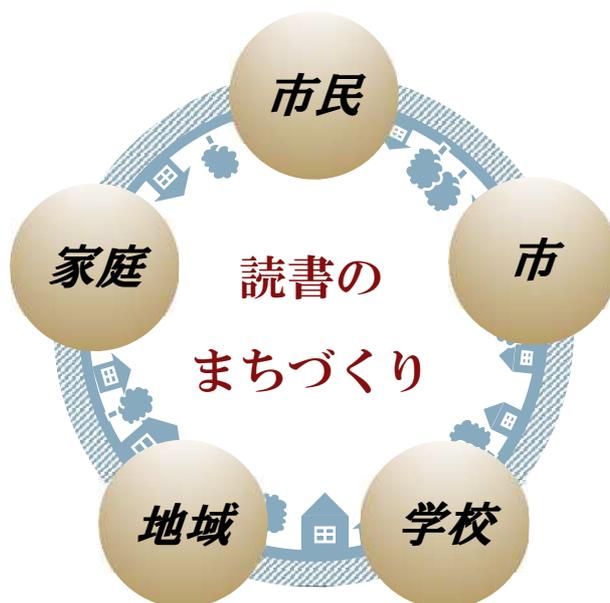
事業番号 26～39

指標名	指標の概要	基準年度の状況 (令和4年度)	目標年度の状況 (令和15年度)
雑誌タイトル数	市立図書館における受入雑誌のタイトル数（電子媒体を含む）	479 タイトル	600 タイトル
一人当りの蔵書冊数	市立図書館における市民一人当りの蔵書冊数（電子媒体を含む）	3.84 冊	4.0 冊
一人当りの貸出冊数	市立図書館における市民一人当りの貸出冊数（電子媒体を含む）	7.57 冊	10 冊
図書館利用に対する満足度	図書館利用者アンケート調査において、「図書館の利用について満足していますか」の設問に対して、「満足」または「やや満足」と回答する利用者の割合	93.6%	95%
インターネット利用サービス登録者数	市立図書館におけるインターネット環境を活用したサービスの登録者数	4,774 人	6,000 人

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民、家庭、地域、学校及び市が一体となった取組みを積極的に実践し、より一層の読書振興を図ることが重要です。

市では、市民のニーズや読書活動振興施策の展開状況を把握しながら計画を推進するとともに、本市の総合計画や他の関連する計画との整合性を図りながら、読書活動推進計画に掲げた基本方針の具体的な事業施策を推進していきます。



2 計画の進行管理

本計画の円滑な実施と目標値達成のため、図書館協議会*・社会教育委員の会議・恵庭市生涯学習協議会等において学識経験者や社会教育関係者の意見をいただき、本計画の施策や事業評価を単年度ごとに行い、評価結果をすることで、適切な進行管理を実施します。

また、社会情勢や読書活動を取巻く環境の変化に対応するため、市民ニーズや計画の進捗状況等の実態の把握に努め、計画期間の中間に見直しを行います。

用語解説

本文に出てくる言葉のうち、難解なものには、初出時にアスタリスク(*)を付けて解説しました。用語は、五十音順に並べています。

●ア行

	用 語	解 説
ア	ICT	Information and Communication Technology (情報通信技術)の略語。
	朝読	「朝の読書」の略語。毎日、学校の授業が始まる前の10分程度を利用して、全員がそれぞれに好きな本を読む取り組み。
	アニメーション	スペインのモンセラット・サルトル氏が開発した、子どもの読む力を引き出す手法。間違い探しや物語を構成順に並べる等、「作戦」と呼ばれる75のゲームがある。
ウ	家読(うちどく)	読書を通して、家族とのコミュニケーションを図ろうという取り組み。
エ	恵庭市子ども読書プラン	読書を通して学校や地域社会で子どもたちの想像力や表現力、人とのコミュニケーション力を育成するため、「市町村子ども読書活動推進計画」として、平成17年に策定。
	恵庭市人とまちを育む読書条例	平成25年4月1日に読書環境や人とのつながりを次世代に引継ぎ、これからの読書活動の道しるべとして制定された条例。
	恵庭市立図書館サービス計画	恵庭市の図書館サービスの指針となる計画。平成16年策定。

●カ行

	用 語	解 説
カ	学校司書	小学校、中学校及び高等学校に設置される学校図書館において、司書の資格を有し業務に従事する者。
	学校図書館図書標準	公立の義務教育諸学校において、学校図書館の整備を図る際の目標として学級数に応じて設定した蔵書の標準冊数のことであり、平成5年3月に文部省(当時)が定めたもの。
	カードレス貸出システム	生体認証等を利用し、カードレスで自動貸出等を行うシステム
キ	キャリア教育	望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育。

	用語	解説
コ	子ども読書の日	4月23日。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を高めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」によって定められた日。
	子どもの読書活動の推進に関する法律	すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、環境整備の推進を求めた法律。平成13年12月に施行。
	こどもの読書週間	子どもへの読書普及を目的に社団法人読書推進運動協議会によって定められた週間(4月23日～5月12日)
	子どもの読書活動を支える寄附制度	保育園、小学校及び中学校の図書購入費として寄附された同額を市が補助し、寄附金の倍額を配当する恵庭市の寄附制度。

●サ行

	用語	解説
サ	サードプレイス	自宅とも職場や学校とも隔離された自分らしい時間を過ごすことができる第三の場所
	サピエ図書館	日本点字図書館の点字、音声データ等インターネット配信サービス
シ	司書教諭	小学校、中学校及び高等学校において、学校教育に必要な資料を収集・整理及び保存し、これを児童生徒や教職員の利用に供するために設けられた学校図書館の専門的職務に従事する者。学校図書館法により、12学級以上の学校に置かなければならない。
	児童施設図書購入事業	私立幼稚園と認可外保育施設に対して恵庭市が行っている図書整備支援事業。各施設が希望する絵本等を購入し、各々に配置している。
	障がいのある児童生徒に応じた資料	さわる絵本、点字図書、録音図書、LLブック(やさしく読みやすい本)、DAISY(デージー。国際標準規格のデジタル録音図書)等。
	小中学生調べる学習コンクール	図書館を活用した調べ学習の推進と児童生徒の自ら学ぶ力の育成を目的としたコンクール。
	書評・レイティングサービス	公開蔵書検索システム上で、本の「評価ポイント」をつけたり、レビューを書くことができる機能。
	資料	図書館が扱う図書・雑誌・新聞・紙芝居やCD・DVDなど、情報を得るための利用に供するあらゆるものの総称。
	新着図書情報配信サービス	公開蔵書検索システム上で、関心のある「単語」をあらかじめ登録しておくことで、その条件に合った新着図書の情報を定期的にメールで配信するサービス。
セ	全国学力・学習状況調査	全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施設の成果と課題を検証し、改善を図ることを目的に実施している調査。対象は小学校6年生と中学校3年生。
ソ	素読(そどく)	内容の理解は二の次にして、文字を声に出して読むこと。

●タ行

	用語	解説
タ	大活字本	視力の弱い方向けに、活字を大きくし行間などを考慮して作成された図書。
	対面朗読	目の不自由な方向けに、朗読者が1対1で本等を読むサービス。
テ	出前講座	市民への情報提供と対話の一環として、市職員が市民の要望に応じて地域に出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明を行うサービス。
	電子書籍	パソコンや携帯端末等で見ることができる書籍や出版物。
ト	図書館協議会	図書館法及び恵庭市図書館条例に基づき設置され、図書館の運営・サービス等について意見を述べる役割を担う機関。
	図書宅配サービス	図書館への来館が困難な方の自宅に図書等を届ける恵庭市のサービス。
	図書館利用者アンケート	図書館利用者の現状及び図書館サービスに対する考え方やニーズを把握するとともに、窓口業務委託評価の参考資料とすることを目的に実施するアンケート調査。

●ハ行

	用語	解説
ヒ	人とまちを育む読書推進月間	「恵庭市人とまちを育む読書条例」で定められた読書活動を推進する月間。(10月)読書活動を通じて人と人とのつながりや世代を超えたコミュニティづくりにつながる事業を行う。
	ビブリオバトル	お気に入りの本を持ち寄って、その面白さについて5分程度でプレゼンテーションを行い、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で決定するイベント。
フ	ブックスタート事業	保健センター等で行われる乳幼児健診の機会に、赤ちゃん絵本を開くことの大切さや楽しさを保護者に伝えながら、絵本を手渡す事業。恵庭市では、9～10か月児健診と1歳6か月児健診の会場で実施。
	ブックステーション	図書館以外の公共施設等に、図書館の蔵書検索や予約ができるパソコンを設置し、予約本の受取や返却等を可能にした場所。
	ブックトーク	あるテーマにそって選んだ複数の本を紹介する活動。参加者に本への読書意欲を起こさせることが目的。

●マ行

	用語	解説
マ	My 本棚サービス	公開蔵書検索システム上で、「読みたい本」や「読み終わった本」を登録し、自分の読書記録を残すことのできるサービス。

●ヤ行

	用語	解説
ユ	郵送貸出サービス	目の不自由な方の自宅に、録音図書や点字本等を無料で届けるサービス。

●ラ行

	用語	解説
レ	レファレンスサービス	学習・調査・研究を目的とする利用者に求める資料や情報を検索し、提供すること。
ロ	録音図書	本を音訳して CD やカセットテープ等に録音したもの。



はなほんマーク

平成 25 年 4 月 1 日に施行された「恵庭市人とまちを育む読書条例」の制定を記念して作られたシンボルマーク。

恵庭の「恵」の字がモチーフで、上は大きく開いた本の形で「読書のまち」をアピール、下は大人（雫）が子どもたち（花）に読み聞かせをしている様子を表しています。

恵庭市人とまちを育む読書条例 全文

私たちのまちは、子どもから大人まで、だれもが等しく読書活動に親しむことができるよう、読書の環境づくりに力を注ぎ、市民とともに地域ぐるみで読書のまちづくりを推進してきました。

読書活動には、多くのボランティアが参加し、市民と市が一体となった活動によって、豊かな読書環境や人と地域のつながりが生まれてきています。

私たちは、多くの先人の努力により、このような環境が築かれてきたことに深く感謝し、これまで積み重ねてきた活動を、次の世代に引き継いでいくことが大切と考えました。

ここに、私たちは「読書のまち」を宣言し、これからの読書活動の道しるべとなるこの条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、読書活動を通じてふるさとを愛する人を育てるとともに、人と地域のつながりを深め、心豊かで思いやりにあふれ、活力あるまちづくりを目指し、市民、家庭、地域、学校及び市が進めていく取組みを明らかにすることを目的とします。

(定義)

第2条 この条例で使う言葉の意味は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に居住する人及び勤務又は通学する人
- (2) 学校 市内の保育園、幼稚園、認可外保育施設、認定子ども園、小学校、中学校、高等学校、大学及び専門学校
- (3) 読書活動 読書、読み聞かせ、一斉読書、調べ学習、読書会、本のリサイクル及びその他の読書に関する活動

(基本理念)

第3条 読書活動は、言葉や知識を学び、感性を磨き、創造力を豊かにし、生きる力を育てることから、いつでもどこでもだれでもが読書活動を行うことができるよう、市民、家庭、地域、学校及び市が一体となって環境づくりに努め、人とまちを育む読書活動を推進するものとします。

(市民の取組み)

第4条 市民は、日常の生活の中で読書に親しみ、読書活動への参加や協力を通じて、互いに交流を図ります。

(家庭の取組み)

第5条 家庭では、本との出会いを大切にし、読書を通じたコミュニケーションの深まりを目指し、年齢に応じた読書活動に取り組みます。

(地域の取組み)

第6条 地域では、ボランティア活動などを通じて読書への認識を深めるとともに、市民、家庭、学校及び市と連携協力し、読書活動の推進に取り組みます。

(学校の取組み)

第7条 学校は、日常の読書活動を通じて子どもたちに読書の楽しさを伝え、一人ひとりの望ましい読書習慣の形成を図ります。

- 2 学校は、様々な読書活動を通じて、ふるさとを誇りに思う心の育成に取り組みます。

(市の取組み)

第8条 市は、読書活動の推進に関する基本的で総合的な推進計画を策定し、効果的に実施するため、市民、家庭、地域及び学校と連携を図り、一体となって読書活動の推進に努めます。

- 2 市は、すべての市民が日常の生活の中で等しく読書に親しみ、読書活動や交流ができるよう、環境づくりに努めます。
- 3 市は、読書活動に関わるボランティアの育成や支援に努めます。
- 4 市は、読書活動の推進にあたり、広く市民の意見を取り入れるとともに、必要な情報の収集及び積極的な発信に努めます。

(読書推進月間)

第9条 市は、10月を「人とまちを育む読書推進月間」と定め、読書活動を通じて人と人とのつながりを深め、世代を超えたコミュニティづくりやまちづくりにつながる事業を行います。

(委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、別に定めます。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行します。



第2期恵庭市読書活動推進計画

[編集・発行]

恵庭市教育委員会教育部読書推進課

〒061-1373

恵庭市恵み野西5丁目10-2

恵庭市立図書館内

☎0123-36-1545

[URL]

<https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/>

恵庭市立図書館改修基本構想(案) 概要

1 基本構想策定の趣旨

- ・恵庭市立図書館は、施設、設備の老朽化が進み、ユニバーサルデザインへの対応が充分ではない。
- ・ライフスタイル等の社会動向の変化を背景に、市民が図書館に求めるニーズも多様化・複雑化しつつある。



恵庭市立図書館改修基本構想は、施設や設備の老朽化が進む現図書館に求める役割、機能、運営内容等の具体的な姿を示すものであり、恵庭市立図書館基本計画に反映させるための基礎資料として位置付ける。

2 図書館を取り巻く環境の変化

●人口構成の変化

少子化・高齢化が進展しており、これまで働いていた人たちが退職するなどして、地域で過ごす人が増加しており彼らの居場所、子どもの居場所づくりと子育て支援の整備は解決すべき課題となっている。

●コロナ禍による生活スタイルの変化

オンラインエンターテインメントやソーシャルメディアなど、デジタルメディアへの依存が一層高まり人々の関心や時間が他の娯楽源に向かい読書の機会が減少したという側面がある。

●外国人や外国語資料の収集などの国際化機能

ここ数年、外国人口労働者や留学生が増加している。日本語以外の言語で書かれた書籍や絵本の必要性が高まっている。

●居場所としての機能

インターネットが普及し、どこにいても書籍や情報のデータベースとつながる環境が整備されてきたと同時に、図書館の空間の貴重性や重要性が再認識されてきている。

●市民の交流・連携

読書や学習などの知的活動を通じた住民交流の場、コミュニティ活動の場としての役割も重要である。

3 市民ニーズ

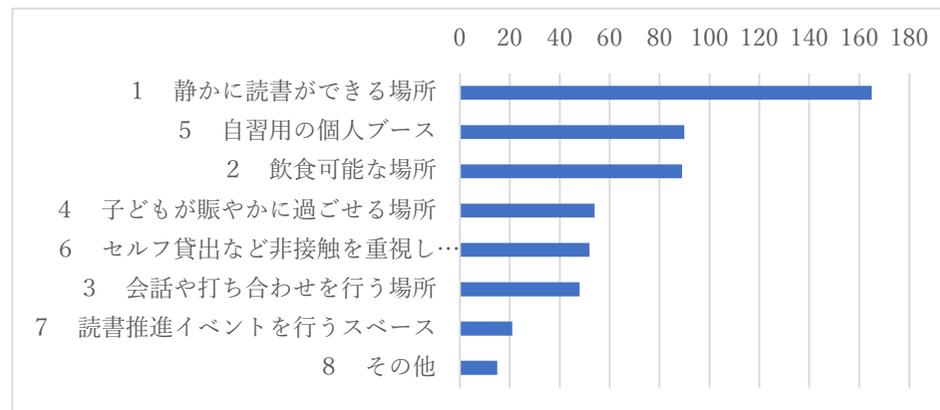
市民アンケート調査・市民懇談会実施

調査項目	実施内容	回答数
図書館利用者アンケート	図書館(品管・分館)来館者	408件
市民Webアンケート	北海道電子申請サービス(HARP)使用	261件
小学生アンケート	総合学習時(4年生)アンケート用紙配布	126件
中学生アンケート	学校図書館にアンケート用紙配布・回収箱設置	16件
高校生・大学生アンケート	北海道電子申請サービス(HARP)使用	75件
ボランティア交流会	図書館・学校図書館ボランティア相互交流会	20名
市民懇談会(3回開催)	緑と語らいの広場、図書館本館、図書館島松分館	22名

市民アンケート等調査結果(抜粋)

- ・アンケートや市民懇談会などで、回答や自由意見を伺い、市民の多様な意向を把握することができた。
- ・児童生徒においては「静かに読書」「賑やかにできる場所」「自習用の個人ブース」「飲食スペースの充実」望まれており、イベントのPR不足が課題となった。
- ・市民Webアンケートでは「静かに読書できる場所」「自習用の個人ブース」「飲食可能な場所」「子どもが賑やかに過ごせる場所」の回答が多く、自由意見では、駐車場の狭い、貸出ロッカーの設置、読書だけではなく交流の場としての活用などのご意見をいただいた。
- ・市民懇談会では「つながりの場」「コミュニティの場」としての役割が重要であるという意見をいただいた。

図書館にどのような設備・環境を期待しますか。(市民Webアンケートより)



4 基本理念(めざす姿)

『つながる図書館』

市民ニーズが抱える課題が多様化・複雑化している今、図書館は「つながる」という機能を大切にしたいと考えます。
知や情報、本と人がつながる。人と人、地域や組織がつながる。つながることで新しい可能性をひらき、くらしをより豊かにします。
恵庭市立図書館は誰もが、自分なりに使い、楽しみ、本と人、人と人が「つながる図書館」であることを目指します。

5 導入機能

●読書啓発及び生涯学習

市民が「いつでも、どこでも、誰でも」求める図書等を利用できる環境の整備。
多文化共生社会において、市内に在住している外国人のための外国語図書の充実。
図書館を読書だけの場所として捉えるのではなく、多世代が学ぶ場として捉え、生涯に亘って学び、創造し、充実した人生を送れるよう、有機的な学びの空間。

●子どもの健全育成

子どもと保護者がともに読書に親しめることを基本とし、成長や発達段階に応じた読書環境の整備。

●青年期の読書活動

15~25歳の青年期は、社会人となって様々な問題に対し、人生を生き抜くために必要な教養を育む時期であり、読書が一番必要な年代であるため、高校・大学等世代に提供する図書を収集すると共に学習・交流スペース等の空間の提供。

●ICT化対応

インターネット、Wi-Fi、セルフ貸出機、予約図書受取ロッカー、電子図書館などといったICT化を進めながら市民が使いやすい図書館を目指す。

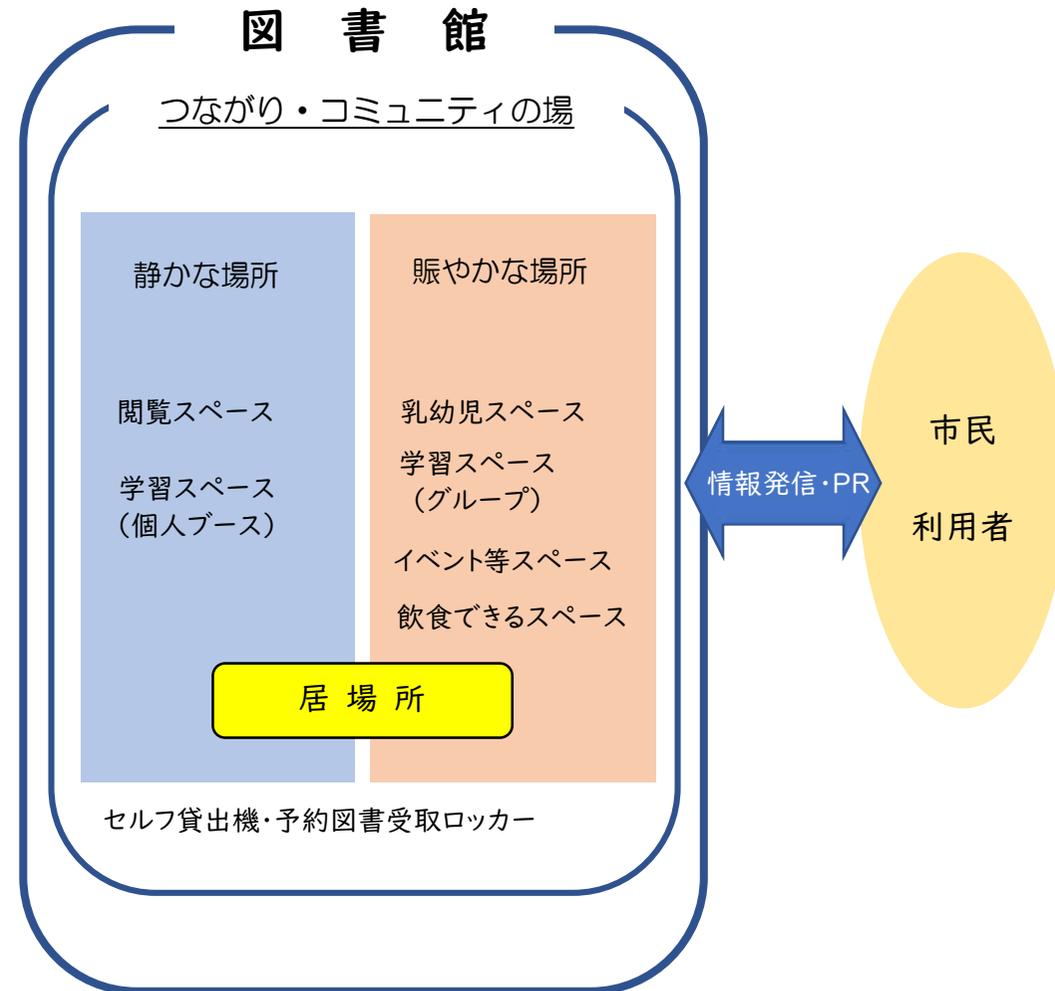
●空間の設計

図書館は「静かにしてなければならない場所」という印象が強い。結果として、子育て世代が図書館利用を敬遠したり、イベントの制約を課している可能性がある。

一方で「静かに読書を楽しみたい」という声もあり、多様なニーズに対応するためには適切な音のゾーニングが重要となっている。

●施設整備の必要性

図書館は、子どもから高齢者まで幅広い年代が利用する施設であり、また、車いすやベビーカーなど誰もが利用しやすい「ユニバーサルデザイン」の考え方や施設整備が重要となっている。また、施設の有効的な利用方法の検討が必要である。



恵庭市立図書館改修基本構想（案）



令和 6 年（2024 年）3 月

恵 庭 市 教 育 委 員 会

目 次

第1章 基本構想策定の趣旨	1
1 構想策定の趣旨	1
2 基本構想の位置付け	1
第2章 恵庭市のすがた	2
1 人口	2
2 地勢・交通	5
3 産業人口割合	7
4 産業構造	7
第3章 恵庭市立図書館の現状	8
1 恵庭市立図書館の現状	8
2 恵庭市の読書に対する取り組み	10
第4章 図書館を取り巻く環境の変化	13
1 人口構成の変化	13
2 コロナ禍による生活スタイルの変化	13
3 外国人や外国語資料の収集などの国際化機能	13
4 居場所としての機能	13
5 市民の交流・連携	13
第5章 図書館改修の概要	14
1 主な改修等の履歴	14
2 施設の老朽化の現状と課題	14
第6章 図書館のあり方についての市民ニーズ	19
1 意向調査の実施概要	19
2 アンケート結果の概要	20
第7章 恵庭市立図書館改修の基本方針	25
1 恵庭市立図書館のめざす姿	25
2 導入機能	25
3 整備手法	26
第8章 これまでの経緯と今後のスケジュール（予定）	28
1 恵庭市図書館協議会	28
2 今後のスケジュール（予定）	28
第9章 参考資料	29

第 1 章 基本構想策定の趣旨

1 構想策定の趣旨

恵庭市立図書館は、建設から 31 年を経過しており、老朽化が一定程度進んでいる状況にありますが、目標耐用年数の 60 年まで 29 年を有している状況にあります。

このような状況から、財政負担の軽減や施設の効率的・効果的な運用を考えた場合、現施設の構造体の改修を含めた長寿命化改修を行い、施設の長期間に亘り使用することが望ましいと考えられます。

近年、少子高齢化・高度情報化・国際化が急速に進み、それに伴うライフスタイル等の社会動向の変化を背景に、市民が図書館に求めるニーズも多様化・複雑化しつつあることから、老朽化による施設改修にあわせた新たな図書館機能の拡充を目的に図書館改修基本構想を策定します。

2 基本構想の位置付け

恵庭市立図書館改修基本構想は、「恵庭市公共施設等総合管理計画・個別計画」及び「恵庭市読書活動推進計画」に基づき、施設や設備の老朽化が進む現図書館に求められる役割、機能、運営内容等の具体的な姿を示すものであり、恵庭市立図書館改修基本計画に反映させるための基礎資料として位置付けます。

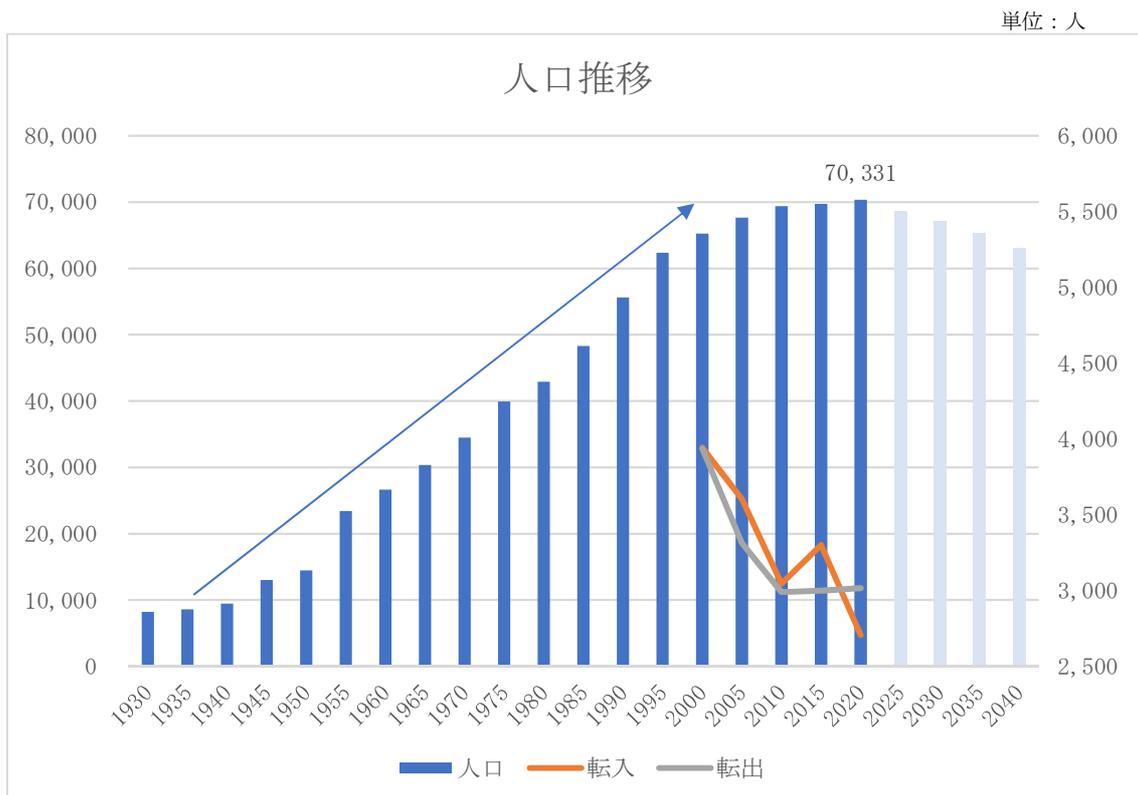
第2章 恵庭市のすがた

1 人口

(1) 人口の推移

恵庭市は1970（昭和45）年に市制施行され、当時の人口は約34,500人でした。1979（昭和54）年にはニュータウン恵み野の大規模な宅地開発が進み、1987（昭和62）年には5万人を突破し、10年ごとに1万人のペースで人口は増加していました。1993（平成5）年には、わずか6年で6万人を超え札幌市などのベッドタウンとして人口は急激に増加しました。2019（令和元）年9月末現在で人口7万人を達成しました。

しかし、国立社会保障・人口問題研究所によると2025（令和7）年以降は減少に転じる見込みとなっています。



（資料）生活環境部市民課 住民基本台帳

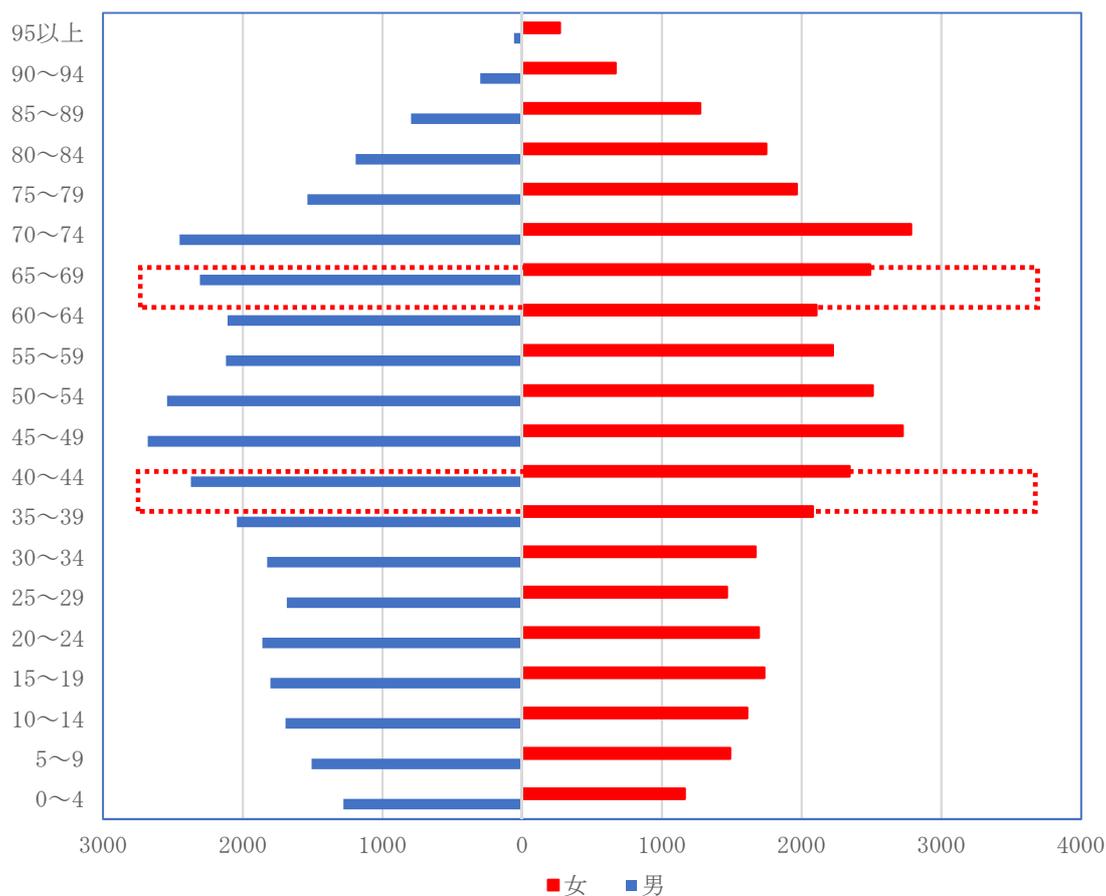
(2) 人口ピラミッド

本市の人口ピラミッドは我が国の人口ピラミッドと類似しており、「団塊の世代」と言われる70歳～74歳及びその子どもたちである「団塊ジュニア」と言われる45歳～49歳が多くなっています。

また、25歳～29歳がやや少なくなっておりますが、これは、地方都市の特徴であり、進学・就業に伴い、札幌市や東京圏等への転出超過が起こっていることが要因と考えられます。ただし、減少割合はわずかであり、本市が札幌市の近郊都市として、通勤・通学圏内と捉えられている優位性が要因として考えられます。

人口ピラミッド（令和3年）

単位：人



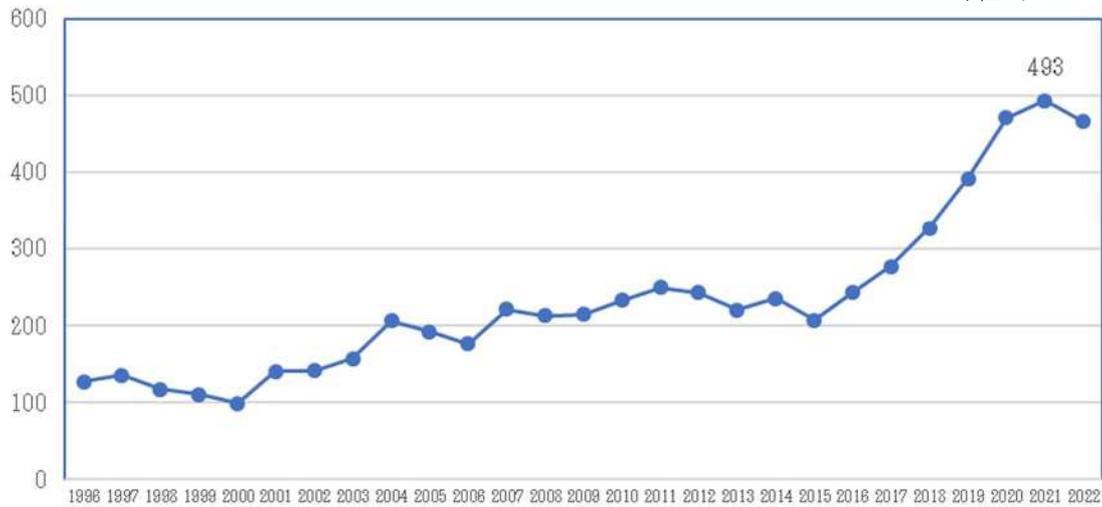
(資料) 生活環境部市民課 住民基本台帳

(3) 外国籍市民

市内に在住する外国籍市民の状況をみると、ここ5年ほどで大幅に増加しています。技能実習生などの転入による影響が大きいと考えられ、多国籍化が進んでいることが確認できます。

外国籍市民の人口

単位：人



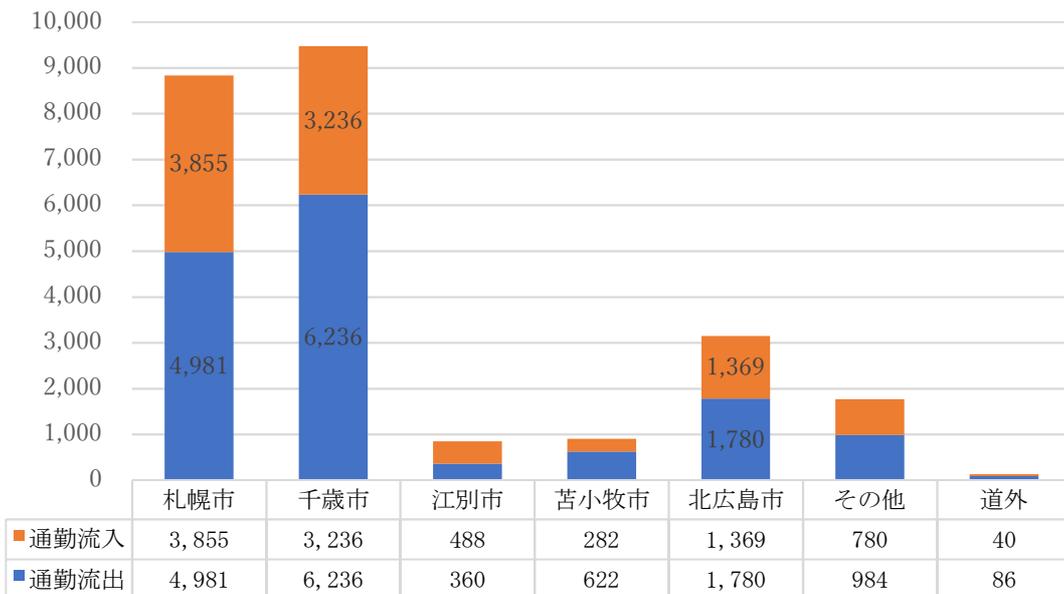
(資料) 生活環境部市民課

(4) 就業・通学流入流出地域の状況 (令和2年)

就業・通学における1日の流出・流入状況をみると、千歳市に約6,300人、次いで札幌市に約5,000人が流出しています。流入については、札幌、千歳から合わせて約7,000人が流入しています。

就業・通学 流入・流出地域の状況

単位：人



(資料) 総務省 国勢調査

2 地勢・交通

(1) 地勢

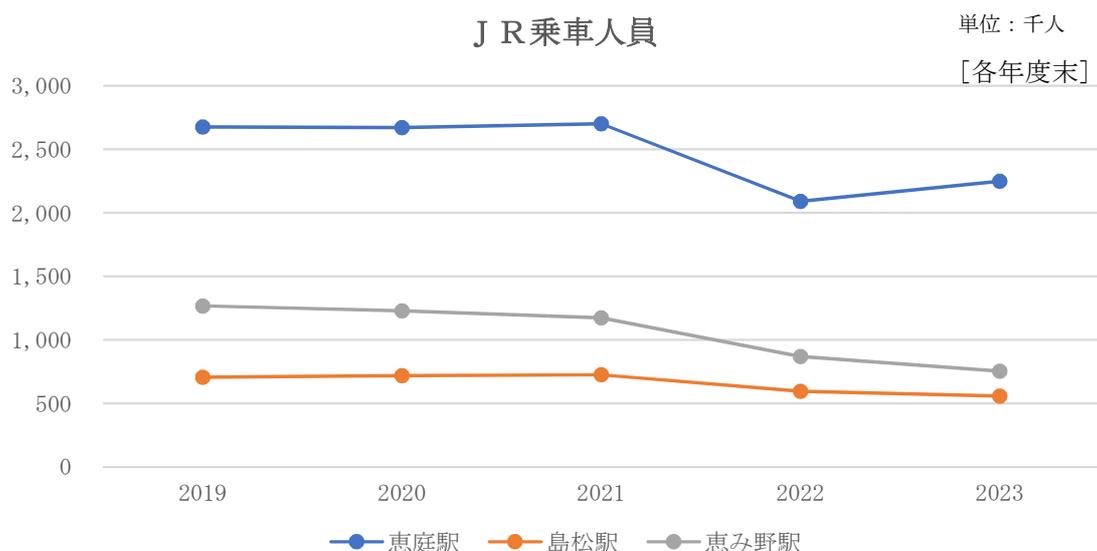
本市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、恵まれた交通アクセスと穏やかな気候風土を持つまちで、早くから住宅地整備が行われると共に、公共上下水道や大学・専門学校、工業団地などの都市基盤の整備が進められ、着実に人口が増えてきています。

また、支笏洞爺国立公園に隣接して、「白扇の滝」や「ラルマナイの滝」などが点在しており、市民主導による「ガーデニングのまち」は、全国的に有名となっております。



(2) 交通（鉄道）

市内には恵庭駅、島松駅、恵み野駅、サッポロビール庭園駅の4駅があります。コロナの影響もあり2022（令和4）年以降、乗車人員は減少していますが、近隣市に大規模半導体工場が建設中であることや野球場が完成したこともあり、利用増が期待されます。



(資料) 北海道旅客鉄道株

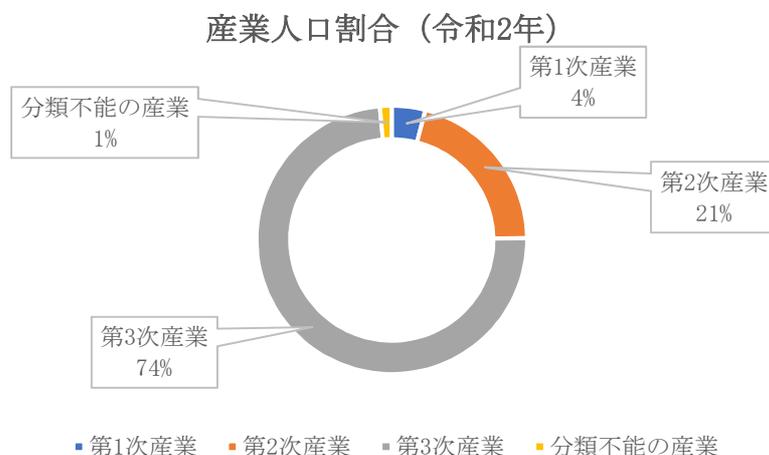
(3) 交通（バス）

市内には道南バス、中央バス、えにわコミュニティバスが走っており、自動車による交通利便性も高い地域となっています。えにわコミュニティバスは、JR 3 駅（恵庭・恵み野・島松）を起点として、2 コースをそれぞれ6 台のバスで循環しています。



3 産業人口割合

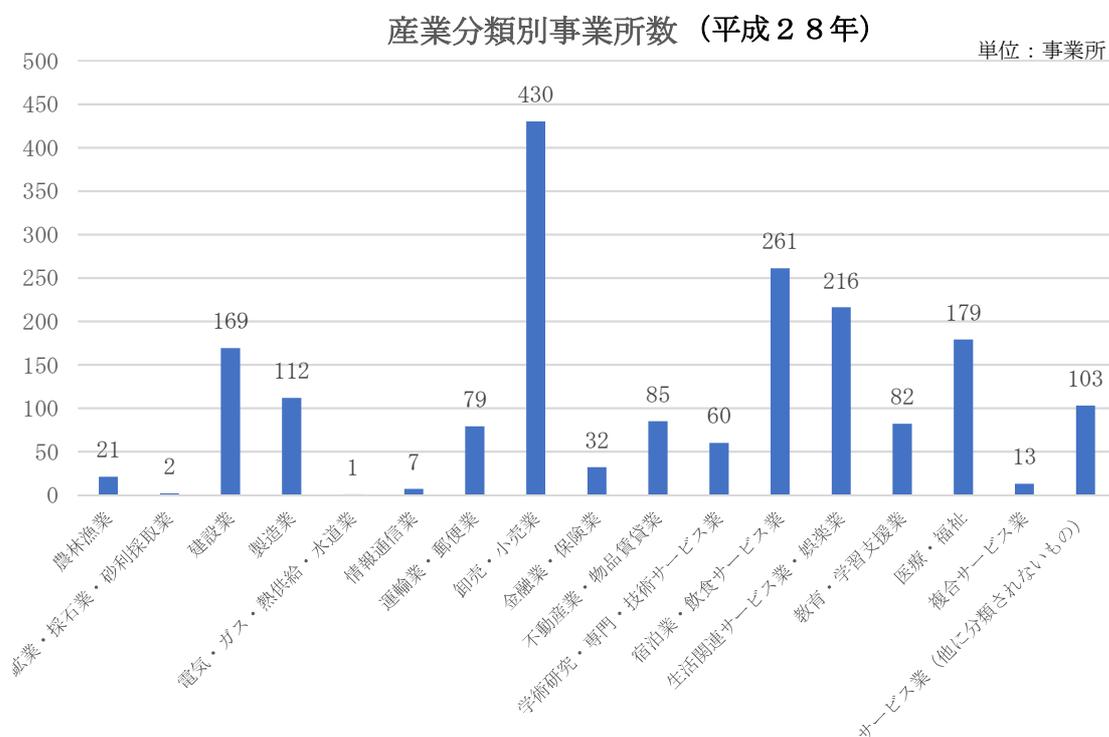
産業分類別でみると、事業所・従業員数ともに第3次産業が多くを占めています。



(資料) 総務省 国勢調査

4 産業構造

市内の事業所数は1,852社、従業員数は22,023人となっています。産業分類別の構成でみると事業所数では卸売業・小売業が430事業所、従業員数では製造業が4,651人で最も多くなっており、2020年の製造出荷額は約1,600億円となっています。



(資料) 総務省 平成28年経済センサス-活動調査

第3章 恵庭市立図書館の現状

1 恵庭市立図書館の現状

(1) 施設の概要

現図書館の施設や諸室の概要と面積は以下のとおりです。

図表3-1 施設の概要

所在地	恵庭市恵み野西5丁目10番2	
敷地面積	9,520㎡	
構造	鉄筋コンクリート造一部2階建	
建築面積	1階	2,323㎡
	2階	478㎡
	計	2,801㎡
起工	平成2年11月24日	
竣工	平成4年3月25日	
開館日	平成4年7月30日	
総工費	13億8千万円	
	17億2千4百万円（総事業費）	
開館時間	火～日曜日 9:30～19:00	
休館日	①月曜日（月曜日が休日の場合除く） ②年末年始（12月29日～1月3日） ③特別図書整理期間（6月1～30日までの間で、連続する7日間） ④図書整理日（毎月末の金曜日）	

図表3-2 諸室の概要

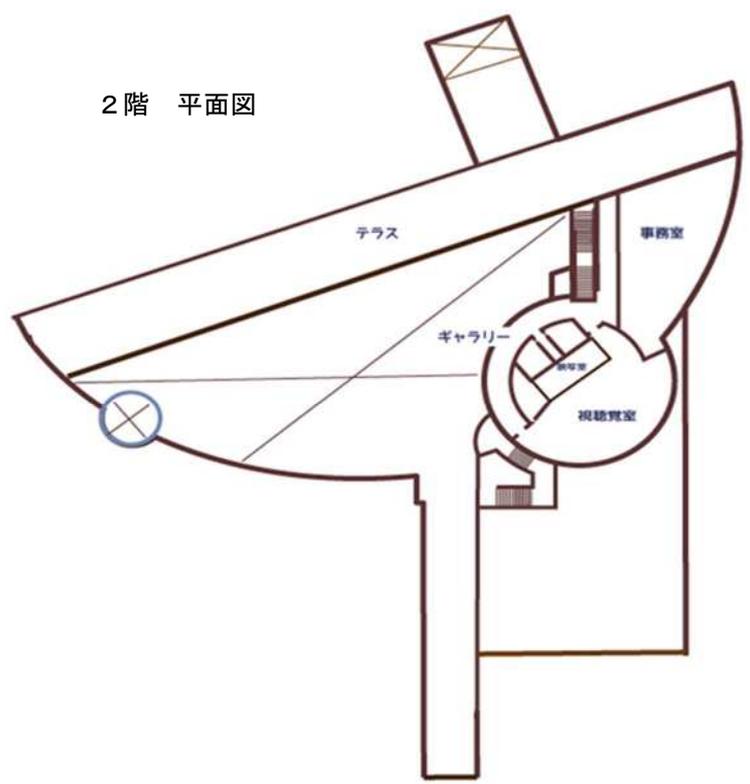
閲覧室（6万冊収納・122席）	992㎡	会議室（22席）	89㎡
図書整理作業室	80㎡	対面朗読室（2室）	14㎡
研究資料室（1万冊収納・21席）	96㎡	休憩コーナー （小上がり10畳・24席）	120㎡
書庫（集密書架7万冊）	104㎡		
おはなしのへや	26㎡	録音室	14㎡
集会室（45席）	68㎡	視聴覚（100席）	110㎡
あそびのへや	23㎡	ボランティア活動室	58㎡



1階 平面図



2階 平面図



(2) 利用状況

図表 3-3 利用状況 (本館)

(単位：冊・人)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
蔵書冊数	219,639	209,687	209,616	206,117	200,596
貸出冊数	468,582	401,076	351,188	355,885	349,543
利用者数	122,556	109,518	93,918	95,625	102,816
入館者数	189,139	176,458	117,083	125,320	152,735

2 恵庭市の読書に対する取り組み

基本理念「本と出会い 人と出会い つながりひろがる 読書のまち 恵庭市」

すべての市民が、生涯にわたり、いつでもどこでも心豊かに読書活動を行うことができるように、市民、家庭、地域、学校及び市が一体となって環境づくりに努め、人とまちを育む読書活動を推進しています。

地域ぐるみで取り組む読書活動を通じて、人と人とのつながりを深め、世代を超えたコミュニティづくりやまちづくりを目指すことを基本理念としています。

(1) 生涯各期に応じた読書活動の推進と環境づくり

①ブックスタート・ブックスタートプラス事業

ブックスタート事業は、保健センターで行われる 9・10 ヶ月検診時に赤ちゃんに絵本を 2 冊、ブックスタートプラス事業は、1 歳 6 ヶ月検診時に絵本を 1 冊プレゼントし、その際、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行っています。

②学校図書館の充実と活用による読書活動の推進

市内小中学校に専任の学校司書を配置し、「読書・学習・情報センター」としての機能の充実、また、学校図書館活動の充実を図り、児童生徒の読書意欲を高める図書展示やパネル展示、本に親しめる空間づくりや掲示、装飾などの工夫を行っています。

③朝読・家読の推進

全小中学校で「朝読」を実施すると共に、家庭で好きな本を読み、語り合う「家読(うちどく)」を推進することにより、読書習慣の形成と読書を通じた家庭でのコミュニケーションの促進を行っています。

④学校と図書館との連携

児童生徒の読書活動、学習活動及び教職員の教育活動を支援するため、総合的な学習の時間やキャリア教育における図書の活用、小中学生調べる学習コンクールへの参加促進などを行っています。

⑤高校における読書活動の推進

小中学校で身に着けた読書習慣を、高校においてもより確かなものするため、「高校 BOOKLINE」事業を行い、市立図書館より生徒が予約した本を配本サービスを活用し市内高校へ配本を行っています。

⑥高齢者や障がいのある方へのサービス推進

郵送貸出や高齢者等図書宅配サービス、対面朗読の実施、大活字本や録音図書、点字図書の充実、サピエ図書館の活用等、高齢者や障がいのある方に配慮した利用環境の整備に取り組んでいます。

(2) 市民との協働による読書活動の推進

①ボランティアとの協働の場の拡大

読み聞かせ等や図書館まつり、本のリサイクル活動など読書活動への市民参加の意欲を高めるとともに、これまで行ってきたボランティアとの連携と協働の場の拡大に取り組んでいます。

(3) 図書館サービスの充実と適切な環境の整備

①ブックステーションの整備

現在の図書館本館及び2分館を維持しつつ、図書貸出機能を中心としたブックステーションを2カ所設置し、市内全域を包括する利用サービスネットワークの構築を行っています。

②配本システムの推進

図書館本館、分館、市内小中学校・高校、ブックステーションに配本するシステムを活用し、市民の読書活動の充実に取り組んでいます。

③ICTを活用したサービスの提供

図書館恵庭分館では、所蔵の図書にICチップを貼付しており、図書管理の効率化や貸出のセルフ化を行っています。

また、事前に登録を行えば、利用者カードを持参しなくても、手のひらをかざすだけで図書の貸出ができる手のひら認証や職員の対応がなくても利用者の都合の

よいときに図書が受け取れる、予約図書受取ロッカーの設置を行っています。

第4章 図書館を取り巻く環境の変化

1 人口構成の変化

我が国では、2011（平成23）年に総人口が減少に転じ、以降減少が続いています。また、人口構成も少子化、高齢化が進展しており、これまで働いていた人たちが退職するなどして、地域で過ごす人が増加しており、彼らの居場所が必要となっています。

また、社会情勢の変化により少子化を加速させていると考えられており、子どもの居場所づくりと子育て支援の整備は喫緊に解決すべき課題となっています。

2 コロナ禍による生活スタイルの変化

2020（令和2）年より新型コロナウイルス感染症が急激に広がり、感染拡大防止のため外出や社会活動が制限され、図書館の一時閉館や利用制限が行われたことにより、本の入手や閲覧の機会が制約されたこと、また、オンラインエンターテインメントやソーシャルメディアなど、デジタルメディアへの依存が一層高まり、人々の関心や時間が他の娯楽源に向かい読書の機会が減少したという側面があります。

3 外国人や外国語資料の収集などの国際化機能

ここ数年、外国人労働者や留学生が増加している。加えて国内に住む人たちも海外への関心が高まる中で、日本語以外の言語で書かれた書籍や絵本の必要性が高まっています。外国語で書かれた書籍、児童書、蔵書が期待されます。

4 居場所としての機能

インターネットが普及し、どこにいても書籍や情報のデータベースとつながる環境が整備されてきましたが、同時に図書館の空間の貴重性や重要性が再認識されています。特に公共図書館は、入館料が無料であること、知る自由を保障する機関であること、市民の読書・学ぶ権利が保障されていることが基盤にあり、加えて、書籍や雑誌のある空間では、探求心や好奇心が刺激され、思いがけない発見の機会を提供すると言われていきます。

また、高齢者が増加している現状で、地域で過ごす市民の居場所としての機能を持たせた図書館もあります。

5 市民の交流・連携

図書館では、読書や学習などの知的活動を通じた住民の交流の場、コミュニティ活動の場としての役割も重要であり、利用者同士の交流やグループで利用できる空間を積極的に提供していくことが不可欠となっています。

第5章 図書館改修の概要

1 主な改修等の履歴

■ 平成20・21年度	吸収式冷温水機改修工事	6,100千円
■ 平成21年度	屋上防水改修工事	34,000千円
■ 平成22年度	省エネ改修工事（太陽光発電）	22,600千円
■ 平成23年度	冷却塔更新事業	6,500千円
■ 平成28年度	パッケージエアコン更新（視聴覚室）	5,000千円
■ 令和元年度	機械室内冷暖房空調器更新	122,400千円

2 施設の老朽化の現状と課題

これまで、比較的大掛かりな改修として、平成21年度に屋上防水の改修を実施しているほか、機械室内の冷暖房空調機器の更新を令和元年度に行っています。

また、平成22年度には、太陽光発電システムを導入した省エネ改修工事を実施しています。

課題としては、構造体の改修をはじめ、建設してから一度も手を加えていない内外装の改修や電気設備・給排水衛生施設の改修、書架及び椅子・テーブル等の家具の改修など、さらには、最新のバリアフリー、ユニバーサルデザインに基づく改修を行う必要があります。

（1）各部位の老朽化の現状と課題

各部位別の老朽化の現状と課題は、平成30年度「恵庭市立図書館本館改修基本計画作成委託業務」における調査結果に基づく計画概要書を参考としています。

①外壁・屋上防水

外壁は建設後、一度も手を加えていないため、タイル、塗装面の劣化、ひび割れが発生しており、改修が必要となっております。また、屋上防水は平成21年に改修を行っていますが、最近になって漏水が発生しており、大規模改修に合わせて改修することが望ましいと考えます。



外壁タイルひび割れ



外壁タイルひび割れ



2階 屋上テラス



屋上防水状況

②内 装

床・壁・天井の仕上げ材は、経年による汚れ、変色、損耗などが発生しており、改修が必要となっています。また、閲覧室の天井は、高さ 6.0m、面積が 200 m²を超え、特定天井に該当するため、天井落下防止対策を施す必要があります。

③家 具（書架、椅子テーブル等）

建設後、一度も手を加えていないため、改修又は更新を検討する必要があります。

④建 具

外部建具及び内部建具は、経年劣化に伴う建具金物等の更新と建付調整を行う必要があります。また、外部窓サッシの内側に結露防止及び熱損失防止並びに省エネルギーへの対応として、樹脂サッシの設置を検討します。



窓サッシの内側結露

⑤空気調和設備

建設後 31 年を経過しており、経年劣化により冷温水管、ファンコイルユニット、パネルヒーターの能力低下がみられるため、床・壁・天井の仕上げ材の張替

に合わせ、更新する必要があります。

⑥給排水衛生設備

トイレは、給排水管・衛生器具など全面的な改修が必要です。

また、多目的トイレは、オストメイトの設置等の最新のバリアフリー及びユニバーサルデザインに対応した改修が必要です。

その他の給排水管についても更新を検討します。



各便所

⑦給湯設備

局所的な電気温水器による給湯が行われていますが、電気温水器の耐用年数が超過しており、更新が必要です。

⑧電灯コンセント設備

一部の照明器具はLED照明への更新を行っていますが、大半の照明器具は建設当時の蛍光灯・水銀灯を使用しており、LED照明への更新が必要です。

また、床・壁・天井の仕上げ材の張替に合わせ、配線や配線機器の更新を検討する必要があります。



電気照明器具

⑨受変電設備

建設後 31 年を経過しており、受変電設備の機器等の経年劣化が進んでいるため、更新する必要があります。

⑩幹線設備

各階電灯分電盤や幹線配線の更新を検討します。

⑪外灯設備

建設後 31 年を経過しており、経年劣化がみられるため、LED器具への更新する必要があります。

⑫消防設備及び防火設備

自動火災警報設備、屋内消火栓設備等の消防設備や防火戸等の防火設備の更新・改修を検討する必要があります。

⑬エレベーター設備

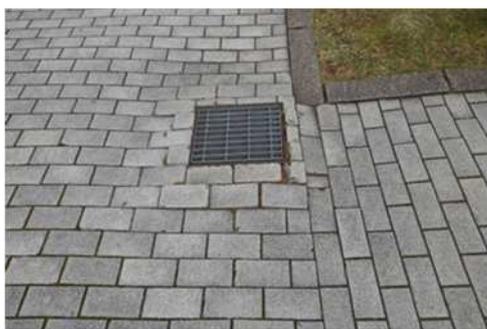
建設後 31 年を経過し、老朽化が進んでいることや最新の安全基準を満たしていないことから、利用者への安全確保を図るため、全面的な更新を行う必要があります。

⑭外 構

建物周辺のインターロッキングの起伏が激しいため、路盤からの改修が必要です。

また、南側の中庭テラス平板の破損や不陸等があり、全面的な張替が必要です。

玄関までのカバードウォークの床タイルのひび割れが発生しており、張替の検討が必要です。



建物周辺インターロッキング



建物周辺平面ブロック



カバードウォーク

⑮時代のニーズを反映した柔軟性ある施設設備

図書館ニーズ等の変化・発展にも的確に対応できるようにするため、機能・スペースの拡張性や融通性等を考慮した施設整備を検討する必要があります。

第6章 図書館のあり方についての市民ニーズ

1 意向調査の実施概要

恵庭市立図書館のあり方について、多様な市民の意向を把握するため、以下に示す各調査を実施しました。

※各調査については、第2期恵庭市読書活動推進計画が策定中であったため、推進計画との合同調査となっています。

図表5-1 各種意向調査の実施概要

図書館利用者アンケート	<p>対 象 : 恵庭市立図書館（本館・分館）来館者</p> <p>調査方法 : 来館者に直接アンケート用紙を配布</p> <p>調査時期 : 令和4年12月10日(土)～18日(日)</p> <p>回収状況 : 408件（回収率90.6%）</p>
市民Webアンケート	<p>調査方法 : 北海道電子申請サービス(HARP)を使用</p> <p>調査時期 : 令和5年5月10日(水)～23日(火)</p> <p>回 答 数 : 261件</p>
小学生アンケート	<p>対 象 : 恵庭市立若草小学校児童</p> <p>調査方法 : 総合学習時(4学年)にアンケート用紙配布、 学校図書館にアンケート用紙・回収箱設置</p> <p>調査時期 : 令和5年6月19日(月)～30日(金)</p> <p>回 答 数 : 126件</p>
中学生アンケート	<p>対 象 : 恵庭市立恵庭中学校生徒</p> <p>調査方法 : 学校図書館にアンケート用紙・回収箱設置</p> <p>調査時期 : 令和5年6月19日(月)～30日(金)</p> <p>回 答 数 : 16件</p>
高校生アンケート	<p>対 象 : 北海道立恵庭北高等学校生徒</p> <p>調査方法 : 北海道電子申請サービス(HARP)を使用</p> <p>調査時期 : 令和5年6月19日(月)～30日(金)</p> <p>回 答 数 : 72件</p>
大学生アンケート	<p>対 象 : 北海道文教大学学生</p> <p>調査方法 : 北海道電子申請サービス(HARP)を使用</p> <p>調査時期 : 令和5年6月19日(月)～30日(金)</p> <p>回 答 数 : 3件</p>
図書館ボランティア・学校図書館ボランティア交流会	<p>開催方法 : 図書館・学校図書館ボランティア相互交流・ 情報交換</p> <p>開催時期 : 令和5年3月17日(金)</p> <p>参加団体 : 図書館ボランティア7団体 学校図書館ボランティア3団体 計20名</p>

市民懇談会	会 場 :	緑と語らいの広場「えにあす」
	開催日時 :	令和5年6月8日(木)
	参加数 :	6名
	会 場 :	恵庭市立図書館
	開催日時 :	令和5年6月9日(金)
	参加数 :	12名
	会 場 :	恵庭市立図書館島松分館
	開催日時 :	令和5年6月13日(火)
	参加数 :	4名

2 アンケート結果の概要

(1) 利用者アンケート *図書館本館アンケート 300枚配布 286枚回収(95.3%)

- ・アンケート回答は、70歳代以上の利用者が多く、次いで60歳代、40歳代、50歳代の回答となった。
- ・利用頻度は「月1~2回の利用」の方が多く、次いで「週1~2回」、「週3回以上」と回答となり、来館回数については、昨年とほとんど変わらない、増えた、やや増えたとの回答が多く、昨年と変わらず利用されている方、新型コロナウイルス感染症拡大防止により行動を自粛された方が図書館に再度通い始めた方も多くいることが伺える。
- ・来館の目的の約9割は、「本や雑誌の借受・返却のため」であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、滞在を控えている傾向にある。
- ・図書館の満足度は9割以上が「満足」「やや満足」となっている。
- ・充実を希望する図書館サービスは、「本や雑誌・新聞の充実」が5割を超え、次いで「セルフ貸出機の設置」が多くあった、図書館恵庭分館のICT化により、本館においても簡易に借りられることや人との接触を避けることが求められていることが考えられる。
- ・自由意見では、インターネット、コンセント、パソコン等を使える席の拡大や、喫茶や飲食コーナーの設置の要望も多くあった。

(2) 市民Webアンケート *大学生アンケート含む

- ・アンケート回答は、50歳代が多く、次いで30歳代、40歳代の回答となった。
- ・利用頻度は「年に数回」の方が多く、次いで「月に数回」、「週に数回」と回答となった。
- ・読みたい本の入手方法については、「買う」が最も多く、次いで「図書館で借りる」、「ネットで紙の本を買う」であった。その他の方法では、中古本を買うという回答があった。
- ・この1年間に恵庭市立図書館に行ったことがあるかの質問については、5割が「あ

る」と回答し、「ない」が4割の回答であった。

・来館の目的は、「本などを借りる」、「館内での読書」の回答が多く、次いで「家族の付き添い」との回答であった。

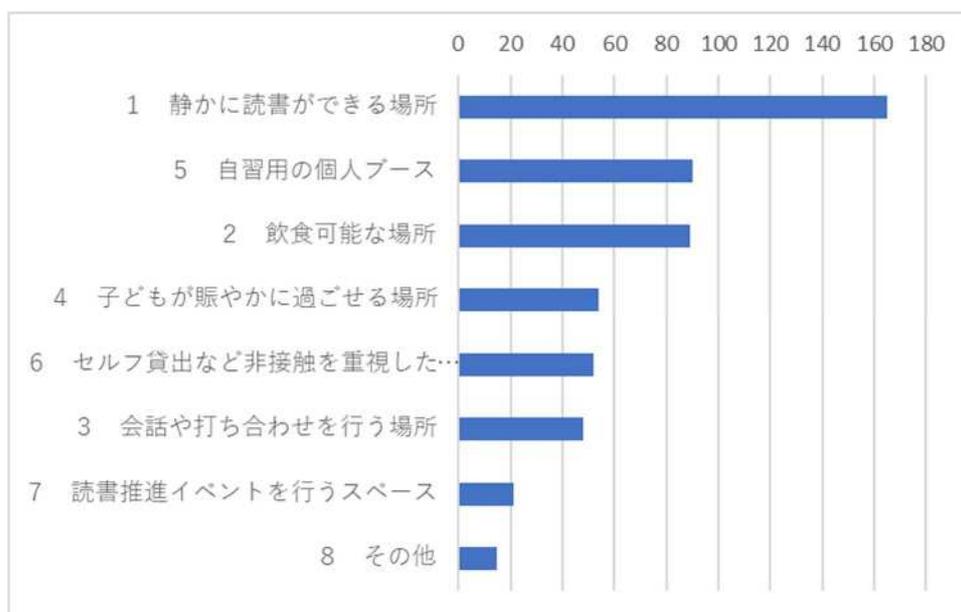
・図書館に来ない理由については、「開館している時間に行けない」、「自宅や学校、職場から遠い」との回答が多く、その他の回答では、不特定多数の人が触れた本に魅力を感じない、コロナ禍による接触機会の低減という回答があった。

・図書館に期待する機能や行事については、「図書の本蔵冊数の増加」が最も多く、次いで「雑誌・新聞の本蔵種類の増加」、「電子図書館」となった。

・図書館の設備・環境の期待については、「静かに読書できる場所」、「自習用の個人ブース」、「飲食可能な場所」、「子供が賑やかに過ごせる場所」の回答が多く、その他の回答には、グループで討議しながら学習できるスペースという回答があった。

・自由意見では、駐車場が狭い、貸出ロッカーの設置、不登校の子どもがいける居場所、乳幼児スペースの改善、読書だけではなく交流の場としての活用など多くのご意見をいただいた。

図表 6-1 あなたは図書館にどのような設備・環境を期待しますか。(市民 Web アンケートより)



(3) 小学生アンケート

・読書の頻度については、「毎日」、「週1回以上」の回答が多く読書の頻度は高い。

・恵庭市立図書館に行ったことがあるかの質問については、7割が「行った」と回答した。「行かない」の理由として、「学校図書館で本が借りられる」「どこにあるのか分からない」の回答が多かった。

- ・読みたい本の入手方法については、「図書館で借りる」の回答が5割を超え、次いで「本屋で買う」との回答であった。
- ・来館の目的は、「本などを借りる」「本を読む」が6割となった。
- ・図書館に期待する機能や行事については、「小学生向けの本があるコーナー」の回答が5割を超えた。
- ・図書館の設備・環境の期待については、「静かに本が読めるところ」の回答が7割となり、「友だちとにぎやかにできるところ」の回答を上回った。
- ・自由意見では、図書館は本がたくさんあって、静かに読めるからいいという感想や人や友だちと賑やかにできる場所が欲しいという要望があった。

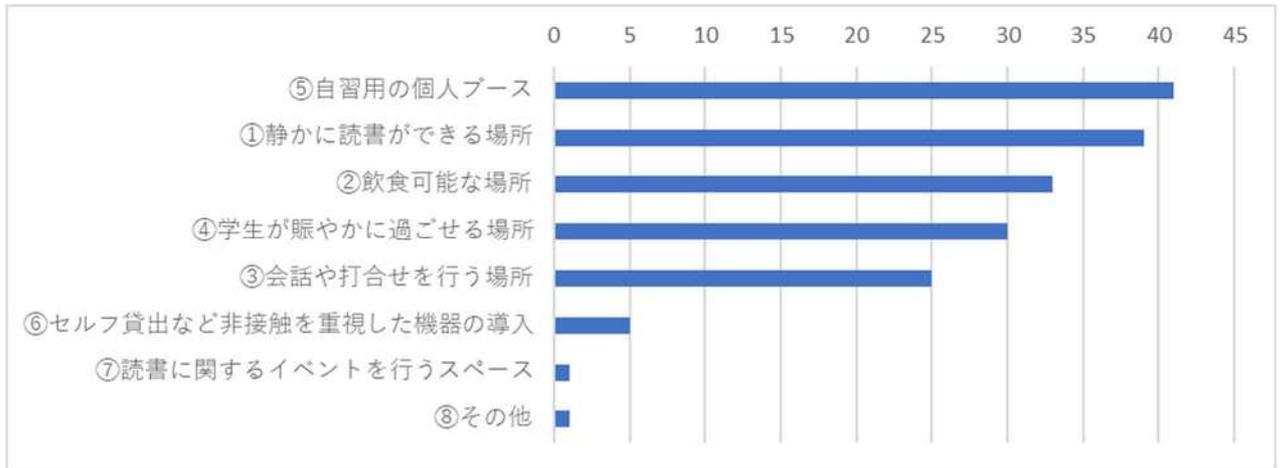
(4) 中学生アンケート

- ・読書の頻度については、「毎日」、「週1回以上」の回答を合わせて8割を占め読書の頻度は高い。
- ・恵庭市立図書館に行ったことがあるかの質問については、約6割が「行った」と回答した。「行かない」の理由として、「貸出・返却が面倒」「どこにあるのか分からない」の回答があった。
- ・読みたい本の入手方法については、「図書館で借りる」、「本屋で買う」との回答がほぼ同数であった。
- ・来館の目的は、「本などを借りる」、「本を読む」、「気分転換」の回答であった。
- ・図書館に期待する機能や行事については、蔵書の増加を望む回答が5割となり、「映画上映会も4割が希望している。
- ・図書館の設備・環境の期待については、「友だちとにぎやかにできるところ」の回答が5割となり、「静かに読書ができる場所」の回答を上回った。

(5) 高校生アンケート

- ・読書の頻度については、「週に数回」、「読まない」がほぼ同数であり、低年代より急激に落ちている。
- ・恵庭市立図書館に行ったことがあるかの質問については、7割が「行かない」と回答した。「行かない」の理由として、「自宅や学校から遠い」、「本は自分で買う」の回答が多くあった。
- ・読みたい本の入手方法については、約9割が「本屋で買う」との回答であった。
- ・来館の目的は、「本などを借りる」、「図書館の本を使わない自習」の回答であった。
- ・図書館に期待する機能や行事については、「自習用の個人ブース」、「静かに読書ができる場所」の回答が6割、また、「飲食可能な場所」、「会話や打合せを行うスペース」の回答も4割となった。

図表 6-2 あなたは図書館にどのような設備・環境を期待しますか。(恵庭北高校生アンケートより)



(6) 図書館ボランティア・学校図書館ボランティア交流会

- ・おはなし広場の参加者がゼロのことがある。開催案内をメール等で送付してはどうか。
- ・団体メンバーが減少傾向にある。

(7) 市民懇談会

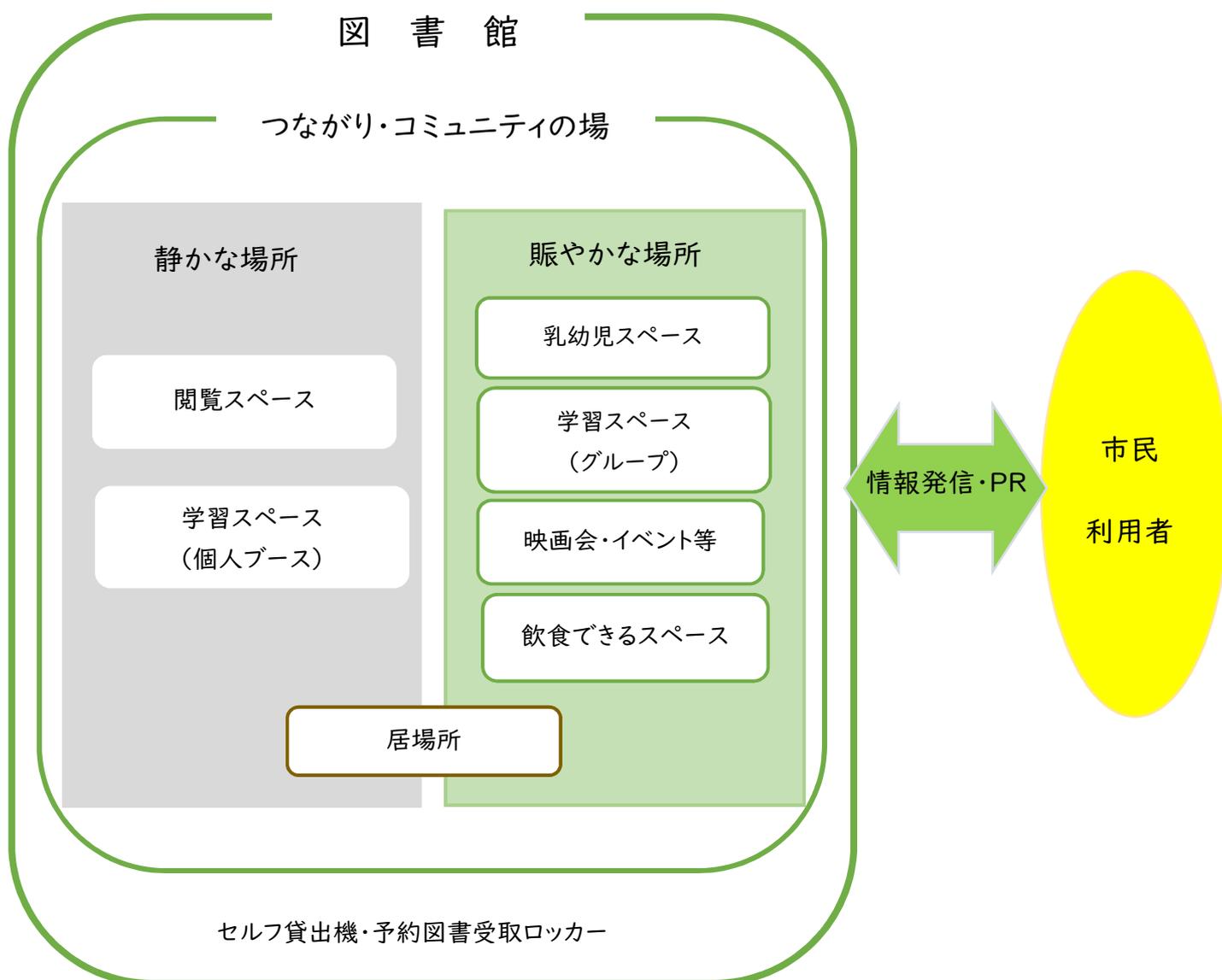
- ・司書と話したい高齢者、ボランティア活動、不登校の居場所、外国人の取り込み等、図書館は本を借りる・読む場所ではなく、本で人と地域のつながりをつくる場所ではないか。
- ・図書館に来ない人がどうすれば来てもらえるか、本を借りなくても足を運んでもらえることが重要。
- ・子どもが集える場所となればよい。
- ・不読率の高い高校生をターゲットとしてどう取り込むか、スマホを活用するなど工夫が必要。

(8) まとめ

児童生徒においては「静かに読書」「賑やかにできる場所」「個人ブース」「飲食スペースの充実」が望まれており、イベントのPR不足が課題であることが分かりました。また、図書館利用者等のアンケートでは上記以外に「無人貸出・貸出ロッカーの充実」「乳幼児スペースの改善」「駐車場の拡張」「居場所の充実」「交流の場」が求められていました。市民懇談会でも「つながりの場」、「コミュニティの場」としての役割が重要であるとの指摘がされました。

これらのことから、アンケートなどの意見を踏まえ本構想への反映を図ります。

- ① 静かな場所
- ② 個人ブースの拡張
- ③ 賑やかにできる場所
- ④ 飲食のできる場所
- ⑤ 乳幼児スペース
- ⑥ セルフ貸出機・予約図書受取ロッカー
- ⑦ 駐車場の拡大
- ⑧ つながりの場、コミュニティの場としての場所
- ⑨ イベント等の充実
- ⑩ 上記を整備し、図書館の魅力を発信



第7章 恵庭市立図書館改修の基本方針

1 恵庭市立図書館のめざす姿

恵庭市の読書活動は、「恵庭市人とまちを育む読書条例」「恵庭市読書活動推進計画」に基づき、子どもから大人まで、だれもが等しく読書活動に親しむことができるよう、読書の環境をつくり、また、地域ぐるみで取り組む読書活動を通じて、人と人とのつながりを深め、世代を超えたコミュニティづくりやまちづくりに努めてまいりました。

『つながる図書館』

市民ニーズが抱える課題が多様化・複雑化している今、図書館は「つながる」という機能を大切にしたいと考えます。

知や情報、本と人がつながる。人と人、地域や組織がつながる。つながることで新しい可能性をひらき、暮らしをより豊かにします。

恵庭市立図書館は、誰もが、自分なりに使い、楽しみ、本と人、人と人が『つながる図書館』であることを目指します。

「恵庭市人とまちを育む読書条例」に、『多くの先人たちの努力により、このような環境が築かれてきたことに深く感謝し、これまで積み重ねてきた活動を、次の世代に引き継いでいくことが大切』とあります。

今までの活動や機能を引き続き活かすとともに、未来へとつないでいきます。また、これまで図書館を利用したことの無い市民にも、魅力を感じ利用していただけるような場や機会の提供を目指していきます。

2 導入機能

(1) 読書啓発及び生涯学習

貸出、読書案内やリクエストサービスをサービスの基本とし、市民が「いつでも、どこでも、誰でも」求める図書を利用できる環境を整備し、利用者が望む図書やデータ、情報の収集に努めます。また、多文化共生社会において、市内に在住している外国人のための外国語図書の充実も図ります。

同時に市民が図書館に親しみ、利用がしやすく、長時間滞在できる空間をデザインします。

図書館を読書だけの場所として捉えるのではなく、多世代が学ぶ場として捉え、生涯に亘って学び、創造し、充実した人生を送れるよう、イベントや行事などのソフト事業の充実を図り、有機的な学びの空間を作っていきます。

(2) 子どもの健全育成

子どもと保護者がともに読書に親しめることを基本とし、成長や発達段階に応じた読書環境を整え、自由読書空間や地域の文化交流の拠点として、子どもの自主的な読書活動と保護者の子育てを支援していきます。

(3) 青年期の読書活動

15～25歳の青年期は子どもから大人への過渡期であり、社会人となって様々な問題に対し、人生を生き抜いていくための必要な教養を育む時期であり、その基礎的知力を身に着けるためにも、読書が一番必要な年代でもあります。高校・大学等世代に提供する図書を収集すると共に、学習・交流スペースなど空間を提供します。

(4) ICT化対応

インターネット、Wi-Fi、セルフ貸出、監視カメラ、防犯センサー、予約図書貸出ロッカー、電子図書館といったICT化を進めながら、市民が使いやすい図書館を目指します。

(5) 空間の設計

図書館は、「静かにしていなければならない場所」という印象も強いですが、結果として、子育て世代が図書館利用を敬遠したり、イベントの実施内容に制約を課している可能性があります。一方で、図書館で静かに読書を楽しみたいという声もあり、多様なニーズに対応するためには、「音のゾーニング」が重要です。

具体的には、館内のエリアに応じて、静寂な空間と賑やか空間を的確に区分けすることが考えられます。

(6) 施設整備の必要性

図書館は子どもから高齢者まで、幅広い年代が利用する施設であり、また、車いすやベビーカーなど誰もが利用しやすい「ユニバーサルデザイン」の考え方や施設整備が求められています。

また、図書館の集客性も考慮し市民が行ってみたい利用したいと思える、有効的な施設の利用方法やデザイン性のある施設整備が必要と考えられます。

3 整備手法

公共施設の整備手法は、公民連携手法の導入が広がっています。特に図書館は、不特定多数が訪れることや様々な機能と親和性が高いことから、様々な整備手法が選択肢として考えられます。一方で、将来的な財政見通しに目を向けると、人口減少や社会保障の増大、さらには公共施設全体の老朽化に備え、財政負担の抑制と平準化に努める必要があります。

今後、図書館劣化診断調査、耐荷重試験を行い、公民連携手法の導入も含めた検討を行っていくものとします。

第8章 これまでの経緯と今後のスケジュール（予定）

1 恵庭市図書館協議会

恵庭市立図書館の改修に関し、恵庭市図書館協議会委員より恵庭市にふさわしい図書館の在り方について、その基本理念や方向性など幅広い視点から意見を聴いた。

（1）開催概要

日 時	内 容
令和5年3月29日	図書館の改修の必要性について
令和5年6月2日	図書館本館改修基本構想について
令和5年8月24日	市民アンケート及び市民懇談会の結果について
令和5年12月8日	基本構想策定進捗状況について

2 今後のスケジュール（予定）

令和6年度 恵庭市立図書館改修基本構想策定

図書館劣化度調査

令和7年度 恵庭市立図書館改修基本計画策定

民間活力導入可能性調査

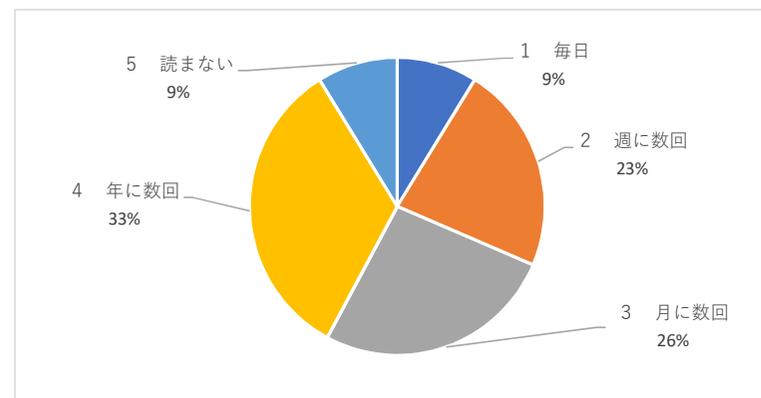
令和8・9年度 事業者公募

	R5	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		4~9	10~3	4~9	10~3	4~9	10~3	4~9	10~3
基本構想策定		→							
基本計画				→					
民間活力導入 可能性調査					→				
事業者公募						→			

第 9 章 參考資料

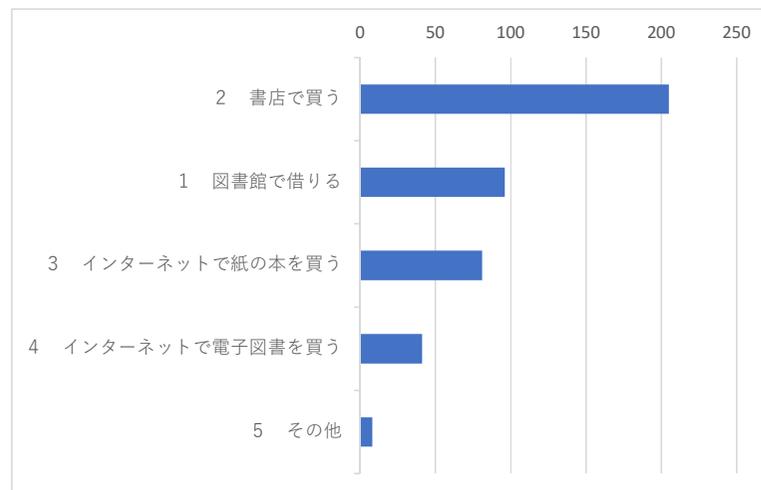
問1 あなたは今、本を読むことがどのくらいありますか。(コミックを除く)

1 毎日	23
2 週に数回	59
3 月に数回	69
4 年に数回	87
5 読まない	23



問2 あなたは読みたい本がある時、どんな方法を選びますか。(複数選択可)

2 書店で買う	205
1 図書館で借りる	96
3 インターネットで紙の本を買う	81
4 インターネットで電子図書を買う	41
5 その他	8



【その他】記入内容

古本屋で買う (3人)

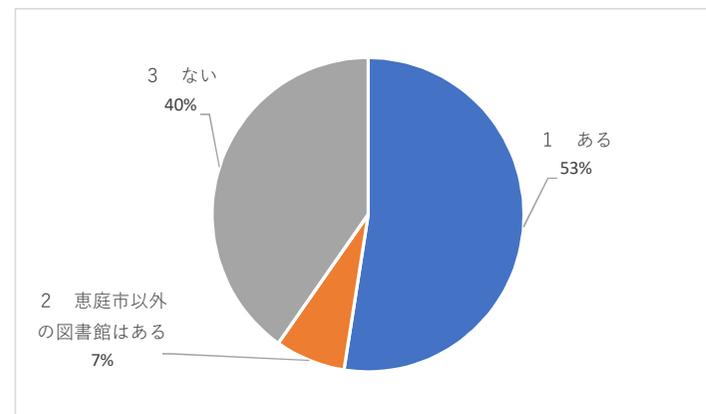
友人知人から借りる (3人)

電子書籍のサブスクリプション

無料サイトに載っている小説等を読む (小説家になろう、ピッコマを利用しています)

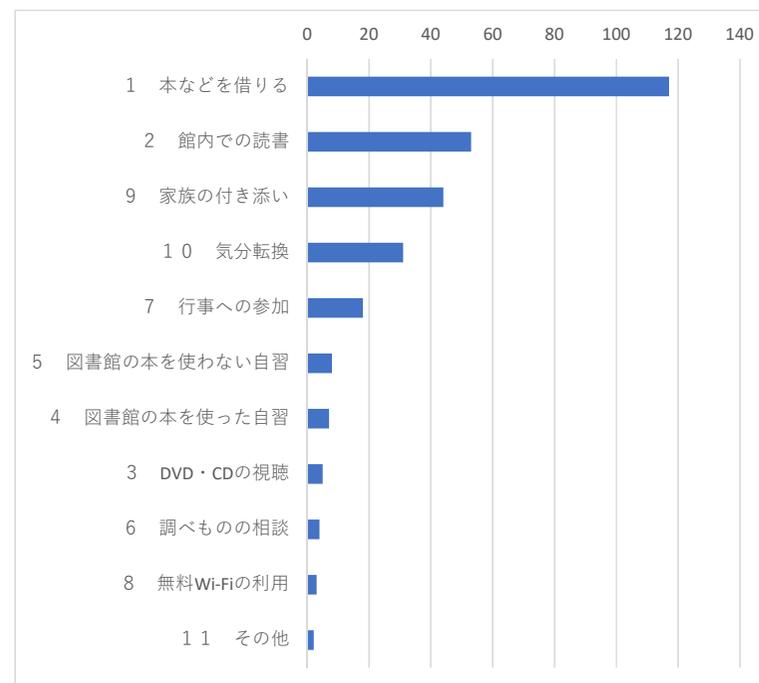
問3 あなたはこの一年間に図書館へ行ったことはありますか。

1 ある	137
2 恵庭市以外の図書館はある	19
3 ない	105



問4 問3で1または2と答えた方にお聞きします。どのような目的で図書館に行きますか。

1 本などを借りる	117
2 館内での読書	53
9 家族の付き添い	44
10 気分転換	31
7 行事への参加	18
5 図書館の本を使わない自習	8
4 図書館の本を使った自習	7
3 DVD・CDの視聴	5
6 調べものの相談	4
8 無料Wi-Fiの利用	3
11 その他	2



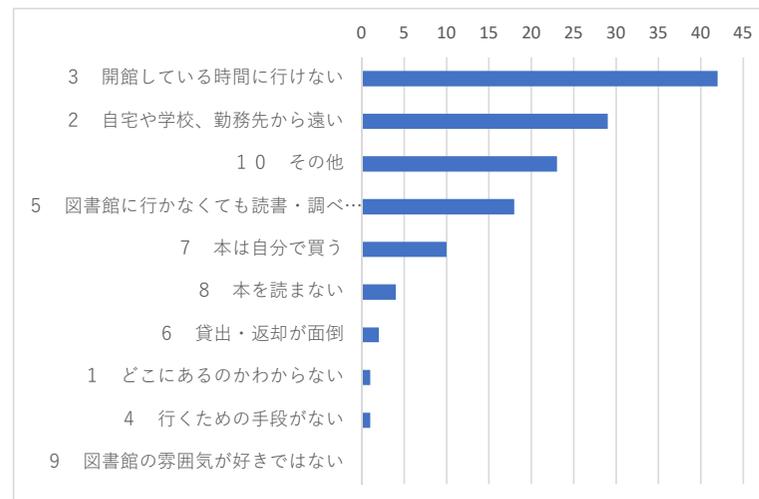
【その他】記入内容

新聞を読む

研修

問5 問3で3と答えた方にお聞きします。図書館に行かない理由があるとしたら、どのようなことですか。

3 開館している時間に行けない	42
2 自宅や学校、勤務先から遠い	29
10 その他	23
5 図書館に行かなくても読書・調べものはできる	18
7 本は自分で買う	10
8 本を読まない	4
6 貸出・返却が面倒	2
1 どこにあるのかわからない	1
4 行くための手段がない	1
9 図書館の雰囲気が好きではない	0



【その他】記入内容

行く理由がない（7人）

Wi-Fi設備の使い勝手（4人）

行事に興味がない（2人）

家庭の事情（2人）

忙しい

時間的余裕がない

本を借りる必要がない。

漫画を含み、目に負担がかかるため本を読まないから

コロナ過で共有の本を使うのは、気が引ける

不特定多数の人が触れた本に魅力を感じない

他人の触った本は、たとえ表面上消毒等しても不潔で不衛生である。

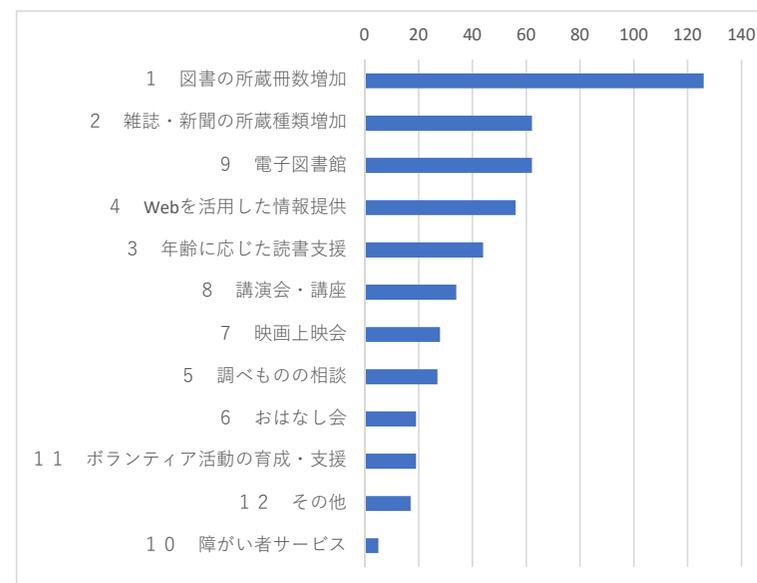
コロナ禍による接触機会低減や仕事に要する時間が多く余暇の時間が少ない

○問5の一部選択肢に不備がありました。お詫びしますとともに、以下の方法により集計結果への反映を行いましたのでお知らせします。

- ・ 選択肢「図書館の本を使わない自習」の回答数（17）を「5 図書館に行かなくても読書・調べものはできる」に含めた。
- ・ 選択肢「行事への参加」の回答数（2）を「その他 行事に興味がない」に含めた。
- ・ 選択肢「無料Wi-Fiの利用」（4）を「その他 Wi-Fi設備の使い勝手」に含めた。
- ・ 選択肢「家族の付き添い」（2）を「その他 家庭の事情」に含めた。
- ・ 選択肢「気分転換」（2）を「その他 行く理由がない」に含めた。
- ・ 選択肢「その他」にて記述のあった回答のうち、本来設定していた選択肢と内容の合致するものをまとめた。

問6 あなたは図書館にどのような機能・行事を期待しますか。(複数選択可)

1 図書の所蔵冊数増加	126
2 雑誌・新聞の所蔵種類増加	62
9 電子図書館	62
4 Webを活用した情報提供	56
3 年齢に応じた読書支援	44
8 講演会・講座	34
7 映画上映会	28
5 調べものの相談	27
6 おはなし会	19
1 1 ボランティア活動の育成・支援	19
1 2 その他	17
1 0 障がい者サービス	5



【その他】記入内容

特になし(4人)

現状で十分だと思います。

借りやすい、返ししやすい図書館(司書の資質、開館時間など)

視聴覚室の貸出

軽食喫茶の併設

夏は涼めて、冬は暖まる、居心地の良い場所

あまり売れてないけど良い本

図書館を利用する習慣がないため、答えられない

紙資源の消費や施設維持のためのエネルギーなど、無駄な消費のため電子図書館を力強く推進すべき

電子図書のオンライン貸出

図書館まつりや夜の開園など、これまでも行事は充実していると思います。

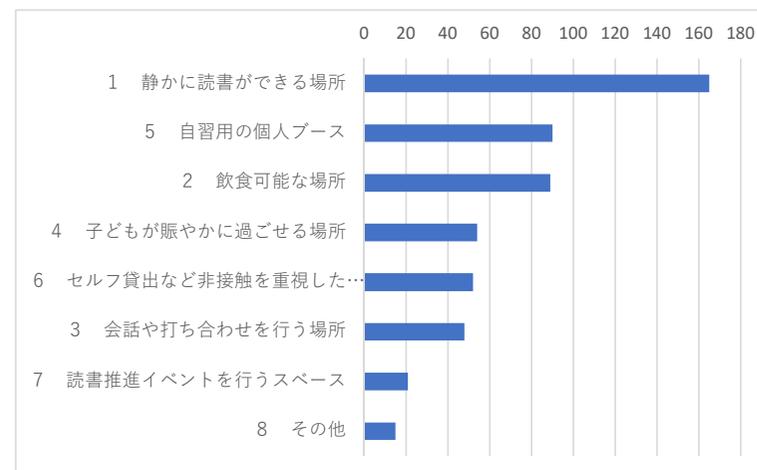
本を読む機会、きっかけの提供。本を読んだり何かをするために図書館に行く時間を作るのではなく、こんな時にこんな本の読み方もできますよみたいな読書を身近に感じられ本を側に置きたくなるような提案。

本を提供するにとどまらない、本を通じた交流の場の提供を期待します。
 (すでに図書館24時や住んでみようツアーなどを実施していただいておりますが、読書会の開催支援などを望みます。)

貸出期間を初めから1か月にすることができると助かります。仕事と家庭のことで読書時間は就寝前くらいであるため、2週間では読み切れないのですが、延長の手続きもし忘れそうになるため、図書館から遠ざかっています。

問7 あなたは図書館にどのような設備・環境を期待しますか。(複数選択可)

1 静かに読書ができる場所	165
5 自習用の個人ブース	90
2 飲食可能な場所	89
4 子どもが賑やかに過ごせる場所	54
6 セルフ貸出など非接触を重視した機器の導入	52
3 会話や打ち合わせを行う場所	48
7 読書推進イベントを行うスペース	21
8 その他	15



【その他】記入内容

特にない(3人)

PCやスマートフォン、タブレット等を充電できる席の拡充

本館以外の図書館の本を充実してほしい

視聴覚室の貸出

共用PCの新設してweb読書の拡大

図書館を利用する習慣がないため、答えられない

図書館施設は不要

グループで議論しながら学習ができるスペース。私自身が使用することは無いと思いますが、子どもたちや学生が学校図書館の他に、地域の図書館が学びの場であると良いと感じます。

カフェのようなおしゃれな空間。クラシックやピアノのBGMや鳥の声・雨の音・川の音などが少し聞こえる空間。

ボードゲームのできるスペースとイベント支援があると嬉しいです。⇒本館ではなくても、えにあすとかではできないでしょうか？

無料Wi-Fi、席の予約システム

仕事に必要な本や論文等を借りる。今もお世話になっています

24時間利用。無人でもよい。パソコンで本を検索して機械で借りられるシステムがあれば利用するかもしれない。

問8 その他、読書や図書館に関する意見がありましたらお書きください。

駐車場が狭いのもう少し広くしてほしい(2人)

不登校の子どもが、いつでも気兼ねなく利用できる環境を作って欲しい

きれいで快適な施設だと思います。ありがとうございます。

素晴らしい図書館ですね

未就学児、小学生向け、中学生向けのイベントをたくさん実施してほしい。

図書館はたまに利用しますが、特段、不満もなく快適に利用させて頂いています。

地区によっては図書館も分館も遠く利用しにくいところがあります。各学区毎に図書館の利用しやすさについて調査、検討してもらいたいです。

ロッカーを使った貸出は開館時間を気にせず使えるのもっと色々な場所に増やしてほしい

ロッカーで貸し出しできるサービスを活用しているため、ぜひ継続して欲しいです。

個人的には、岩波文庫、講談社学術文庫等の古典名作系の品ぞろえが充実していると嬉しいです。

市民から不要な本を、もっと寄贈してもらおう事。かつて、寄贈を申し出たが、置く場所がないとか、既存の本との入れ替えが大変との事で、あまり歓迎されませんでした。

定年退職を向かえたらまた図書館を訪れたいと思っています。過去に訪れた時は大変充実した設備だと感じました。今後も現状の維持を期待します。

DVDとか見る人が少ないのにブースを多くしてるのが、自習室が削減され、一杯で図書館に行く機会が少なくなったので、自習室やブースの拡大をお願いしたい

子どもの絵本を借りています。おススメ本のコーナーや対象年齢(3歳からとか5歳からなど)で分けたコーナーあるといいなと思うことがあります。

子どもと時々行きます。とてもいい環境なので、不便を感じたことはありませんが、学生の際は勉強する部屋がもっとたくさんあればいいなと当時思っていました。

以前は司書さんとのやりとりも楽しみでした。こんな本入りましたよ！とか興味関心あるものを知ってくれる司書さんがいて、本との出会い以上に司書さんとの交流も楽しみの一つでした。司書さんが退職されたりして、最近はそんな身近な司書さん、いないなあ。

視聴覚室の貸出をすればスクリーンで持ち込んだ映画やゲームを楽しめる。接続機器の更新が必要かもしれないが夏休みに小学生限定のスマブラ大会などあれば喜び子供たちがいるかも…？

趣味が同じ人が集まるワークショップ等、図書館の本を参考に知らない人でも、お互いにアドバイス等コミュニケーション（仲間）ができて楽しいし、本も借りることもできる。

1、幼児のトイレ周辺に貸出スペースをもつなり、職員を常駐させてほしい。トイレは暗く、授乳室周辺に人気がなく、知らない人がいて子供に声をかけているときなどゾットする。2、買ってほしい本をリクエストできるようにしてほしい。できるのかもしれないが、やり方がよくわからない。

司書さん達大変頑張っていると思われるので もっと待遇をよくしてあげて、もっと子供達の為に頑張ってもらってより良い学校図書館になる様に期待しています。またより多くの市民の皆さんが気軽に利用出来る様な工夫を望みます。

本館において、現状コピー等が禁止されている本を遠方から借りてもらった場合、自習室のようなところで読むことになっています。トイレに行く際など、一度外へ出なければならず、机に置いていくのはセキュリティ上好ましくありません。また、受付に渡すのも手を煩わせてしまい申し訳ない。どうかしてほしい。

本は欲しいものがあれば購入し、調べたいものはインターネットで調べるという流れが広まっており、図書館の役割は自然に終息していくと考えられる（私は既に図書館の必要性や役割を求めている）そこにかかる費用、人員と効果のバランスを考え、在り方そのものを議論する必要があると思われま

月に数回、図書館を利用しています。島松分館のスタッフさんには新刊を勧めていただいたり子どもに優しくしていただいたりとても親切に対応してもらっています。平日も土日も17時までというのが少し残念なので、島松分館にも手のひら認証の導入や開館時間の延長がされたらいいなと思います。

今時、紙資源の無駄遣いとなる図書館は不必要。施設維持や図書の購入費を、子どもや高齢者のための様々な施策の財源として活用することが必要と考えます。また、自治体単位で同じ本（雑誌含む）を購入整備する必要もない。電子での活用を推進し、読みたいときに貸出し制約のない、待たなくても読めることを最優先に進めてください。貴重な税金を、一部の図書館フリークのために使わないでください。

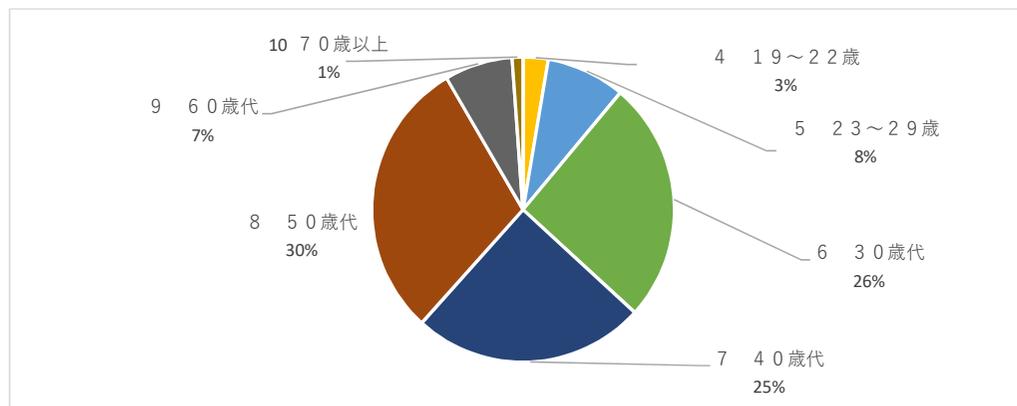
恵庭市は読書のまちとして全国的に知れ渡っております。これまでの読書によるまちづくりについては市民主導で行っていた部分があり、それは読書ボランティアさんによって支えられてきたところが大きく、直営の際には図書館司書などの方々目に見えない活躍も大きかったように思えます。引き続き指定管理者制度に移行してからも、館などのハード整備はもちろんのことその他サービスの向上を含め読書のまちの継承や市民による読書活動を中心としたまちづくりにも引き続き行っていただければよいのかなと思います。

図書館24時は家族全員好きなイベントです。これからも継続してほしい。子供への絵本プレゼントは必要ない事業だとずっと思っています。我が家にも子供がいて、いただきましたし、自分でも毎月絵本を買って与えていました。読み聞かせのイベントにも参加させていただいていましたし、自宅での読み聞かせも毎日何冊もトータル15年くらいしましたが子供は特に全員が読書が好きになったわけでもなく正直個人的には意味がなかったと思っています（我が家にも本が好きな子どももいますが）。自分のやり方が悪かったのかもしれませんが結局は本を読める環境（現在のように無人図書館や予約サービスなど）は整えていくべきと思いますが、体育館はあるけど運動しない、と同じように押し付けても全員にとっていい影響があるわけではないなら、その予算を蔵書やイベントに使っていただいたほうが役に立っているのではと感じています。

読書する場だけではなく、人的交流の生まれる場になれば良いなと思います。現在もボランティアサークルなどたくさんあるとは思いますが、後から入っては行きにくいので、新たに立ち上げる支援とか、交流のきっかけを作ってくださいとか。また、はなふるのセンターハウスにある図書などの有効利用（そちらとの本の交流とか）などがもっとあるとうれしいです。ここでの図書イベントとか。読書会（本の紹介だけでなく、本の読み合わせやABD読書会などがあると楽しそうです）やビブリオバトルなど、コロナ禍を脱出しつつあるので、できる様になってきたのではないのでしょうか。イベントについては、その都度ボランティア募集とかをして、あまり手がかからないようにされると良いかと。

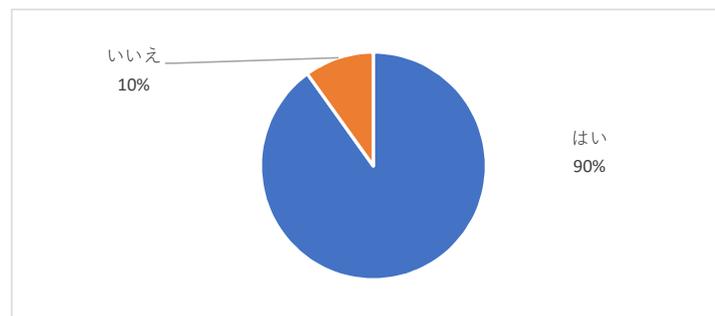
問9 あなたの年齢を教えてください。

1	12歳以下	0
2	13～15歳	0
3	16～18歳	0
4	19～22歳	7
5	23～29歳	22
6	30歳代	67
7	40歳代	65
8	50歳代	78
9	60歳代	19
10	70歳以上	3



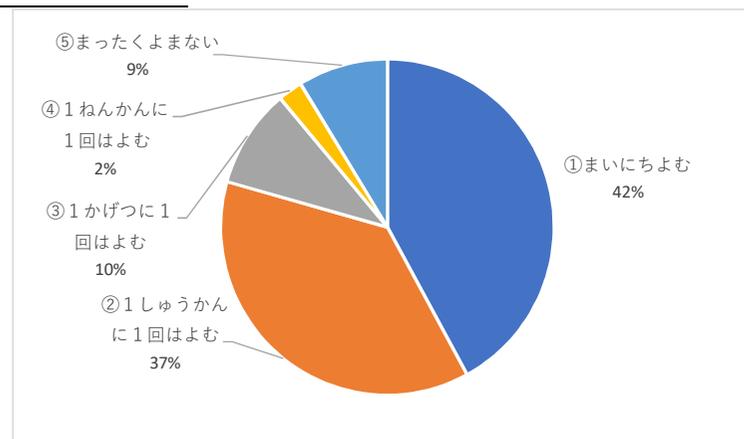
問10 あなたは恵庭市にお住まいですか。

はい	235
いいえ	26



1 あなたはどのくらい本をよみますか。(ひとつだけ。「マンガ」と「学校での朝どくしょ」は入りません)

①まいにちよむ	53
②1しゅうかんに1回はよむ	47
③1かげつに1回はよむ	12
④1ねんかんに1回はよむ	3
⑤まったくよまない	11



2 あなたはよみたい本があったらどうしますか。(いくつえらんでもよい)

①としょかんでかりる	94
②本やでかう	63
③そのた	19

【「そのた」の内容】

○書店以外で買う

メルカリでやすくてほしい本をかう。

ブックオフ

○図書館以外で借りる

友だちにかりる (3人)

○その他

いえにある本をよむ (2人)

タブレットやスマートフォンで読む。

ネットで見る。

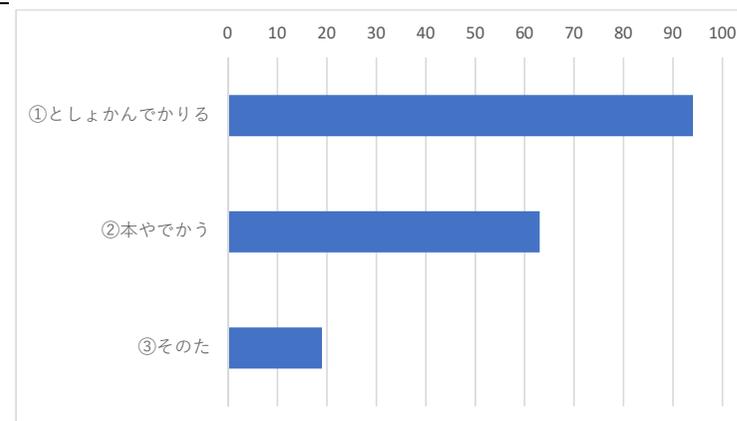
いろいろな図書館に行く

としょかんにいき会がなかったら、あきらめる。

たんじょうびにかつてもらう。

かわない。おかねがむだだから。

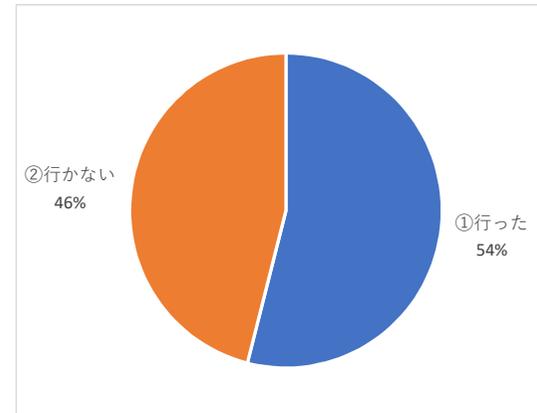
がまんする



ししょにいう。
本の買うかみがくばれるからそれで買う。
ずっと本をよみたいから。

3 あなたはこの一ねんかんにえにわ市のとしょかんへ行きましたか。(ひとつだけ)

①行った	68
②行かない	58

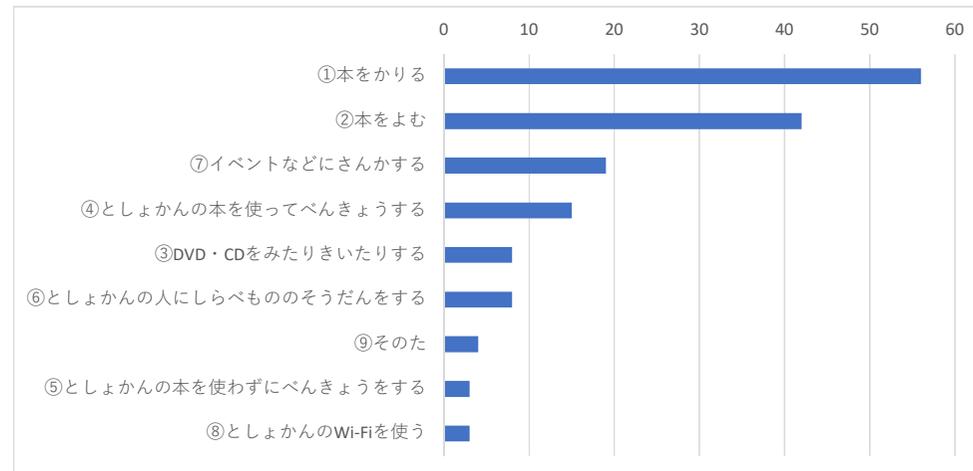


4 3で①とこたえた人にききます。としょかんではどんなことをしましたか。(いくつえらんでもよい)

①本をかりる	56
②本をよむ	42
⑦イベントなどにさんかする	19
④としょかんの本を使ってべんきょうする	15
③DVD・CDをみたりきいたりする	8
⑥としょかんの人にしらべもののそうだんをする	8
⑨そのた	4
⑤としょかんの本を使わずにべんきょうをする	3
⑧としょかんのWi-Fiを使う	3

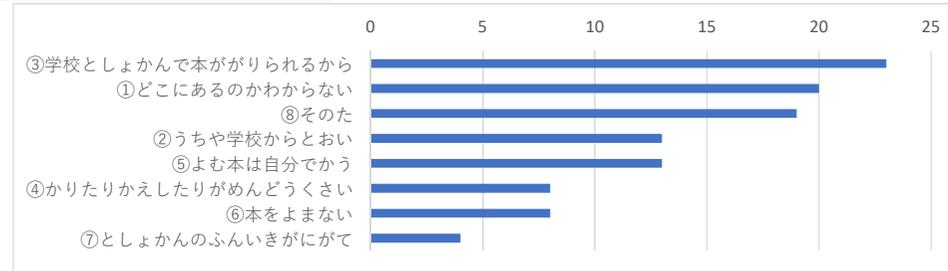
【「そのた」の内容】

かりてない
としょかんのおくにいった。(いろいろなしりょうがあるところ)
きになったから。
(記述なし1人)



5 3で②とこたえた人にききます。としょかんに行かないのはなぜですか。(いくつえらんでもよい)

③学校としょかんで本ががりられるから	23
①どこにあるのかわからない	20
⑧そのた	19
②うちや学校からとおい	13
⑤よむ本は自分でかう	13
④かりたりかえしたりがめんどうくさい	8
⑥本をよまない	8
⑦としょかんのふんいきがにがて	4



【「そのた」の内容】

○親の問題

親に言ってもいかせてくれない (3人)

親にそうだんしたら、いいよといってくれるけど、わすれるからいけない
一人で行くのがダメ。でも、親がいそがしくて行けていない。

おばあちゃんが、仕事が休みの時に行くから

○時間がない

時間がないから (2人)

ひまなことがそんなににないから。いくきもちになれないから。

図書館に行きたいがようじがあっていけない。

○家の本を読む

家にたくさんあるから。くりかえし読むから。 (2人)

ママかパパが本ならたくさんかってくれるから。

○その他

本がなくても (かりなくても) タブレットやスマートフォンがあるから。

まんがのほうがおもしろいから。

カードをなくしてしまったから

転校してきたから

図書館に行っただけで頭がいたくなる

(記述なし1人)

6 あなたはとしょかんにどんなもの・イベントがあればいいと思いますか。(いくつえらんでもよい)

- ③小学生むけの本があるコーナー 68
- ①たくさんの本 65
- ⑧でんしとしょかん (パソコンで本がよめる) 42
- ⑦本をかいた人にあえるイベント 35
- ⑥えいが会 33
- ⑤おはなし会 22
- ④しらべものそうだん 20
- ⑨そのた 17
- ②たくさんのざっし・しんぶん 12

【「そのた」の内容】

○イベント参加

こどもしよたいけんがあればいいと思った。
 じぶんたちのグループでにぎょうげきをする。
 おりがみで、工作 (ふうせんなど)

本をかけるイベント

よみきかせ

サッカーをする

○図書・書架の充実

おとな子どもが楽しめる本

小説がいっぱいあるコーナー (2人)

ボカロのしょうせつをおいてほしい

まんがをかきだししてください。

しんぶんし

○その他

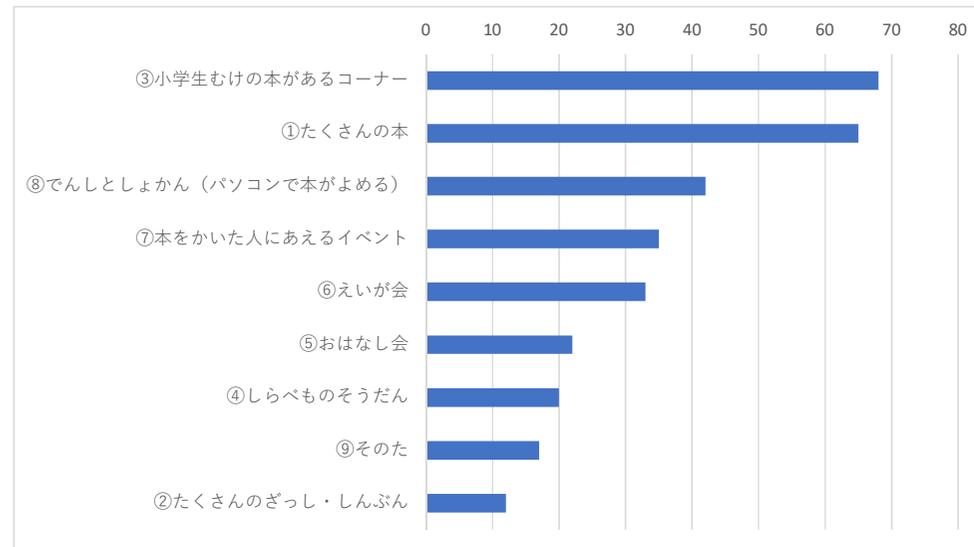
今までのでいいです。

家でもパソコンとかよんだりできたりするサービス

たのしい

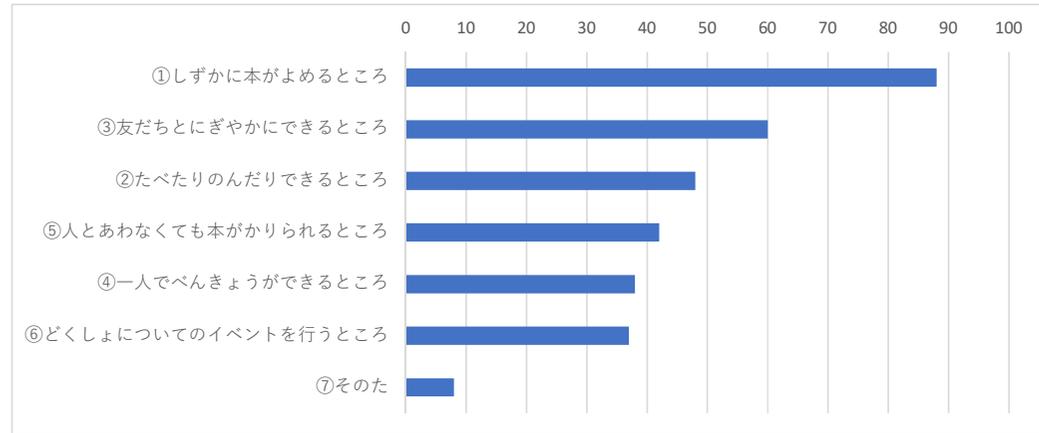
本がなぜあるのか。

じっさいにあって聞きたいから。



7 あなたは、としょかんのなかにどんなところがあればいいと思いますか。(いくつえらんでもよい)

①しずかに本がよめるところ	88
③友だちとにぎやかにできるところ	60
②たべたりのんびりできるところ	48
⑤人とあわなくても本がかりられるところ	42
④一人でべんきょうができるところ	38
⑥どくしょについてのイベントを行うところ	37
⑦そのた	8



【「そのた」の内容】

こしつで一人だけでしゅうちゅうできるところ (2人)
 まんがルーム、ゆったりと本が読める所 (2人)
 本をよんだ人と感想をいいあえる所
 しずかによみたいから。
 ハードオフ
 (記述なし1人)

8 どくしょやとしょかんについて、思ったことをなんでもかいてください。

○楽しい・好き

たくさん本があるので楽しい。(11人)
 読書は楽しい。(3人)
 読書は落ちつけるところがいい (2人)
 楽しい本をたくさんおいてくれるところ
 楽しいいっぱい本がかりれるところ
 それぞれおもしろい本があってとてもいい
 静かに楽しく本を読めてうれしい。色々な種類があっていっぱい読める。
 たくさん本があって、しずかによめていいと思いました。
 としょかんは静かだからいい。
 いつも楽しく本をよんだりできて、とてもいいばしょだと思う。
 すごく楽しくて、大好きです！気づいたら時間がすぎていることがあります。
 どくしょがだいすきです！カードを見つけたらいきたいです!!
 読書はかなりすきです。とくに小説。さし絵があるくらいで絵は少ないから、そうぞうが育まれるからです。
 どくしょが楽しく、しらべれる。

本をかりるのが楽しい

図書館は大好きです。

小説が面白い

本がよめるのがいいなと思った。

読みきかせがあって楽しかったです。

○要望

もっとどくしょやとしょかんがひろがったらいいなと思う。

人としゃべったり楽しんだりと本をよんだりしたいです。

どくしょ（本）は好きですが、イベントで友だちとにぎやかできるばしょがあったらいいと思います。

図書館は、いすはもうすこしあったほうがいいと思います。（本を読む時につかいます）

これからもずっとたくさん本があり、しずかにできるところであってほしい。

イベントをふやしてほしい。

本・イベントの他にも、色んなとり組みをやってください!!

恵庭市の図書館がふえてほしい。

いろいろな本をもっとしりたいです。

本はだれでも書けるし、としょかんは2023年の本が見たい。

かりたいと思った本がなくて、ざんねんだった。びょうの本などをおいてほしい。

にんきなほんをいっぱいいれてほしい。

おもしろいしょうせつをおいてください、もっといっぱい。

どくしょは、れんあい系が一番！だから図書室にもれんあい系がほしい。

マジックの本をもっとふやしてほしい。

まんがをかしたしてください。

日けいのざっしおいてほしい

○目標

小さいころは本を読まなかったけど、大きくなってから読むようになった。だから後の年代に伝えていきたい。

気になった本やおもしろそうな本があったら買ったりかりたりしたいなと思いました。

いっぱい本をかりて、べんきょうしたいです。本には、いっぱいのがかかれていてべんりです。ありがとうございます。

本っておもしろいなと思いました!わたしはヨシタケシンスケの本が好きで何回でもよんでもおもしろいなと思いました。これからヨシタケシンスケの本を全部よんでみたいと思いました。

たくさん本があって全部読んでみたい。

たくさんよみたいです。

もっと本をかりたい。

○場所

しずかなところだなと思った。

静かでゆっくりできる場所だと思います。

しずかでペンきょうできるから、つかいやすい。

としょかんはしずかだからしずかに本をよみやすい!!

しずかに本が読めるし、にぎやかにできるからです。

としょかんは1人になりたいときと、リラックスできる場所なので、みんなにオススメしたいです。

○貸出

なんでもかりれるから。

だれでもかりられるからいいなと思った。

まいにちたくさんかりている。

らくに本をかりかれてお金がかからなくていい。

○司書

ひろくてししょさんがやさしい。

ししょさんは、たいへんなんだなと思いました。

司しょさんとかなかたさんとかよみたい本とかきけば教えてくれるから好き。

○イベント体験

ハロウィンの時、写真たてをつくるのがとてもおもしろかったです。

たのしくてイベントなどがあるからいい所

○困難

いきたいけどいけない。

どくしょの時に本ページがわからない。

どくしょはおもしろいけれど、あまりないようがわからない。

○疑問

どんな本があるのか、あたらしい本はあるのか。と思った。

なんで本がなん万さつもあるのか。

○本の多さ

としょかんはいっぱい本がある。(6人)

○オリエンテーションの感想 ※6/23に読書推進課が4年生に実施。

お話をきいて本がすきになった。としょかんにはたくさん本があると思った。

としょかんはしずかでおもしろいことだけだと思ってたけど、くわしくしれてよかったです。

今日はどくしょやとしょかんのことをおしえてくれてありがとうございました。

本がこんなにあったって始めてしたこと。

はなしが長かったけど、できることはわかった。少しねむかった。

としょかんについて、ししょという人がいるなんてわからなかった。

えにわしに3つとしょかんがある。

これから図書館のいろんな本をかりたいとおもいました。

本には大切な事がいろいろある事に気がついた。

どくしょはとても楽しいことがわかった。

どくしょはこんなに大切なんだなと思いました。

「こういうのが図書館なのかー」て思いました。

本がいっぱいあっていいなと初めてしりました。

たくさんの本をかしてくれているし、みんなのきぼうにこたえてくれてありがとうございます。

どくしょの楽しさが思ったこと

えにわは、すごいと思った。

べんきょうでわからなかったことがわかった。

本がとても大切なことがわかった。

大人ががんばったから、どくしょがいろいろとはってんしたんだなと思いました。

話やアンケートを聞いたりしてちょっと行きたくになりました。

いってみたいになった。

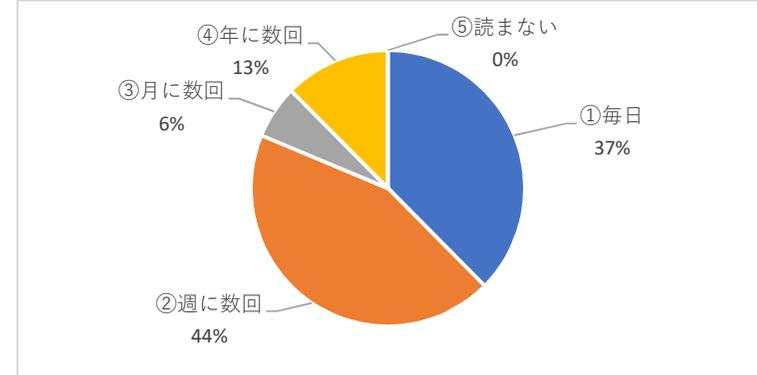
どくしょは、たくさんおもしろい本があるので、まよわなくて良い所。としょかんは、いろいろな本があってすごいと思った所。

くわしいことを言ってくれてありがとうございます。

話をきかせてくれたのでまいにちいきたくになった。

1 あなたは今、本を読むことがどのくらいありますか。ただし、マンガや朝読書を除きます。（ひとつだけ）

①毎日	6
②週に数回	7
③月に数回	1
④年に数回	2
⑤読まない	0

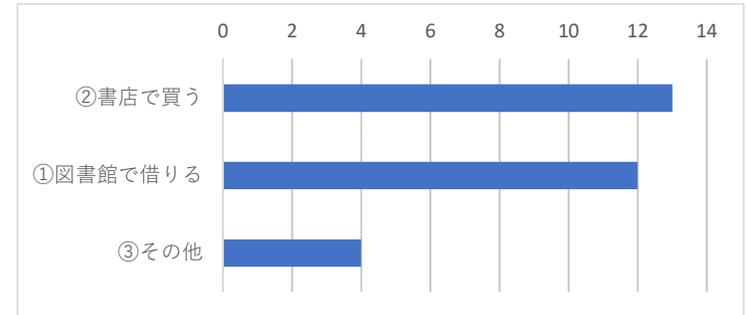


2 あなたは読みたい本がある時、どんな方法を選びますか。（いくつでも）

②書店で買う	13
①図書館で借りる	12
③その他	4

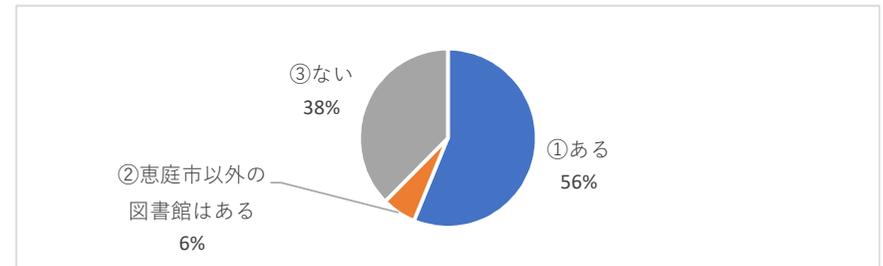
【「その他」の内容】

- 友達から借りる（2人）
- スマホ等ネットで買うor借りる
- スマホの小説アプリ



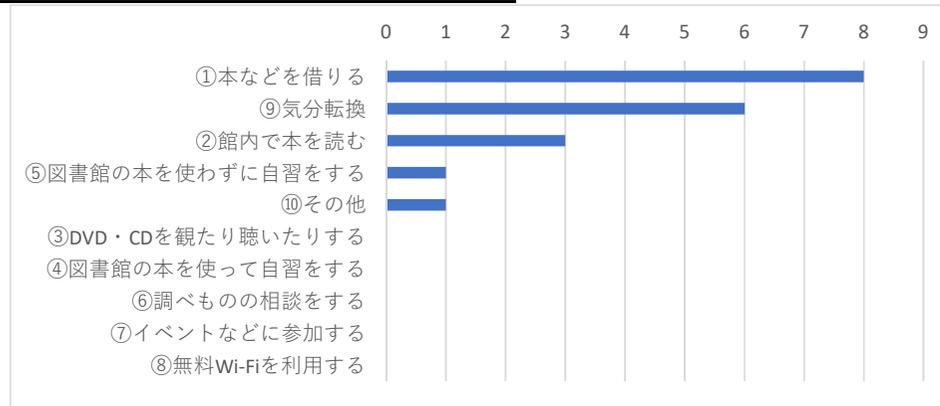
3 あなたはこの一年間に恵庭市の図書館へ行ったことはありますか。

①ある	9
②恵庭市以外の図書館はある	1
③ない	6



4 3で①または②と答えた方にお聞きします。どのような目的で図書館に行きますか。(いくつでも)

- ①本などを借りる 8
- ⑨気分転換 6
- ②館内で本を読む 3
- ⑤図書館の本を使わずに自習をする 1
- ⑩その他 1
- ③DVD・CDを観たり聴いたりする 0
- ④図書館の本を使って自習をする 0
- ⑥調べものの相談をする 0
- ⑦イベントなどに参加する 0
- ⑧無料Wi-Fiを利用する 0

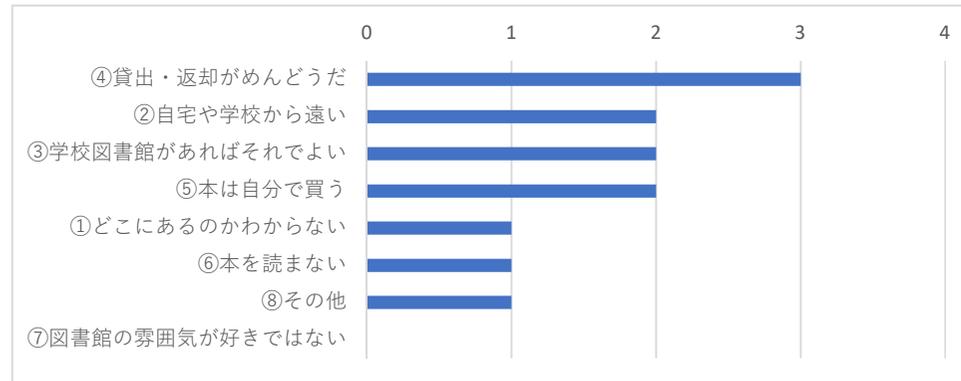


【「その他」の内容】

調べものの本を借りに行った

5 3で③と答えた方にお聞きします。図書館に行かない理由があるとしたら、どのようなことですか。(いくつでも)

- ④貸出・返却がめんどろだ 3
- ②自宅や学校から遠い 2
- ③学校図書館があればそれでよい 2
- ⑤本は自分で買う 2
- ①どこにあるのかわからない 1
- ⑥本を読まない 1
- ⑧その他 1
- ⑦図書館の雰囲気が好きではない 0

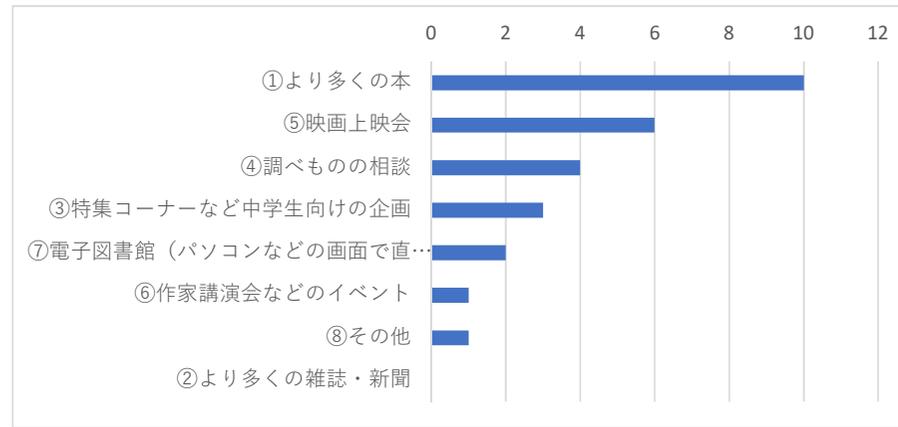


【「その他」の内容】

ゲームをやっているから

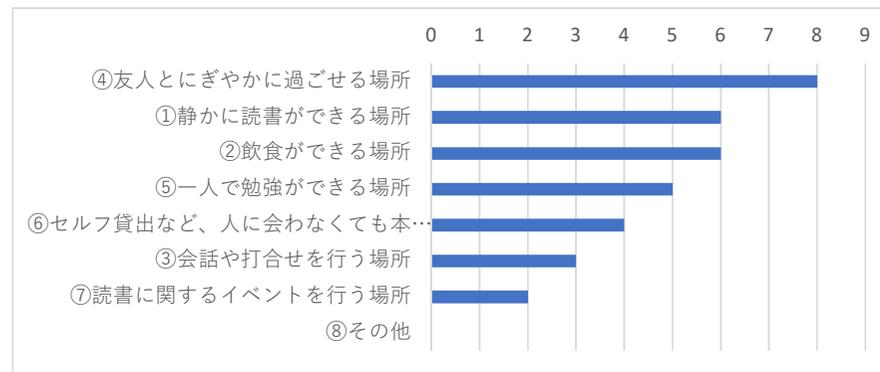
6 あなたは図書館にどのようなもの・イベントがあればよいと思いますか。(いくつでも)

①より多くの本	10
⑤映画上映会	6
④調べものの相談	4
③特集コーナーなど中学生向けの企画	3
⑦電子図書館(パソコンなどの画面で直接本が読める)	2
⑥作家講演会などのイベント	1
⑧その他	1
②より多くの雑誌・新聞	0
【「その他」の内容】	
おもしろい本発表会	



7 あなたは図書館にどんな場所や設備があればよいと思いますか。(いくつでも)

④友人とにぎやかに過ごせる場所	8
①静かに読書ができる場所	6
②飲食ができる場所	6
⑤一人で勉強ができる場所	5
⑥セルフ貸出など、人に会わなくても本が借りら	4
③会話や打合せを行う場所	3
⑦読書に関するイベントを行う場所	2
⑧その他	0

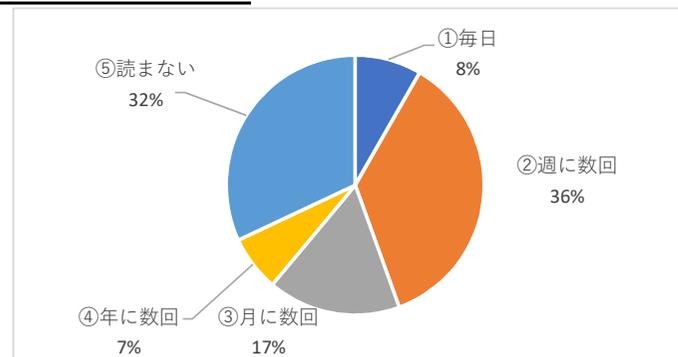


8 その他、読書や図書館についての意見がありましたらお書きください。

(回答なし)

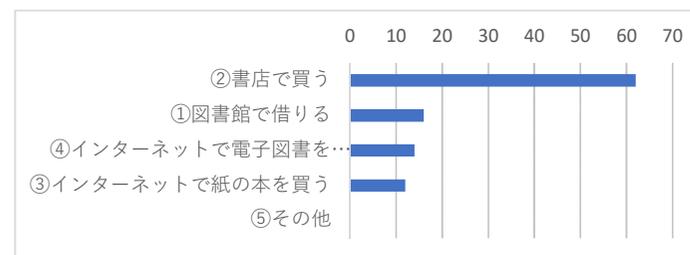
1 あなたは今、本を読むことがどのくらいありますか。ただし、コミック及び学校での朝読書は含みません。(ひとつだけ)

①毎日	6
②週に数回	26
③月に数回	12
④年に数回	5
⑤読まない	23



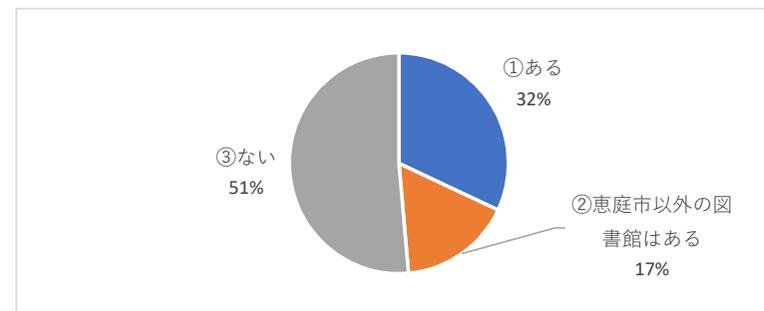
2 あなたは読みたい本がある時、どんな方法を選びますか。(いくつでも)

②書店で買う	62
①図書館で借りる	16
④インターネットで電子図書をかう	14
③インターネットで紙の本をかう	12
⑤その他	0



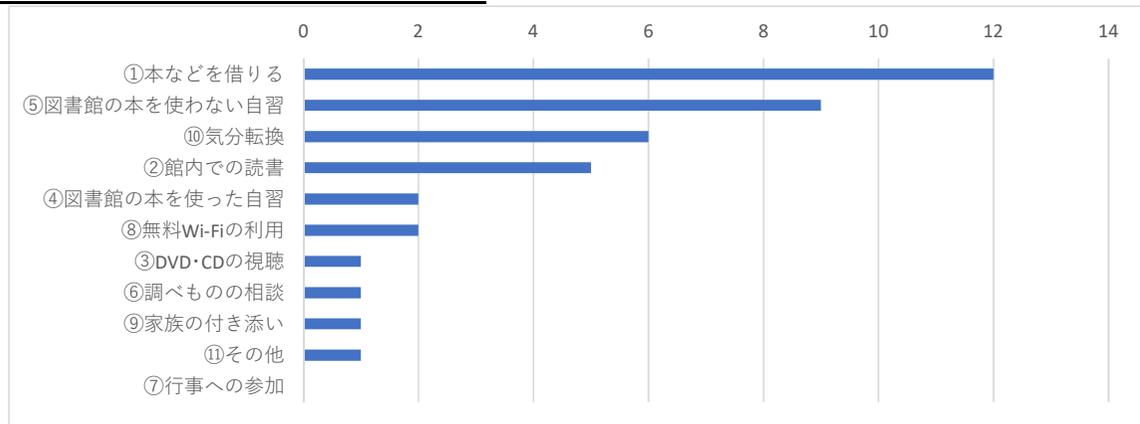
3 あなたはこの一年間に図書館へ行ったことはありますか。

①ある	23
②恵庭市以外の図書館はある	12
③ない	37



4 3で①と答えた方にお聞きします。どのような目的で恵庭市の図書館に行きますか。(いくつでも)

①本などを借りる	12
⑤図書館の本を使わない自習	9
⑩気分転換	6
②館内での読書	5
④図書館の本を使った自習	2
⑧無料Wi-Fiの利用	2
③DVD・CDの視聴	1
⑥調べものの相談	1
⑨家族の付き添い	1
⑪その他	1
⑦行事への参加	0

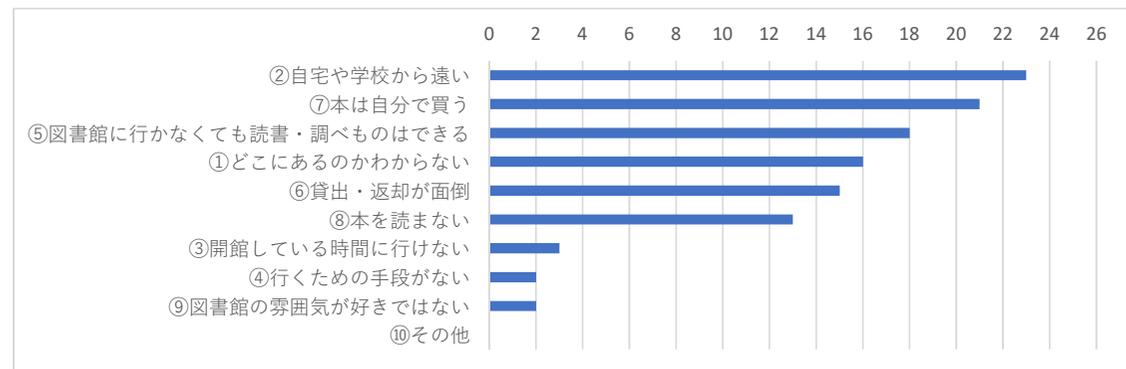


【「その他」の内容】

テスト勉強

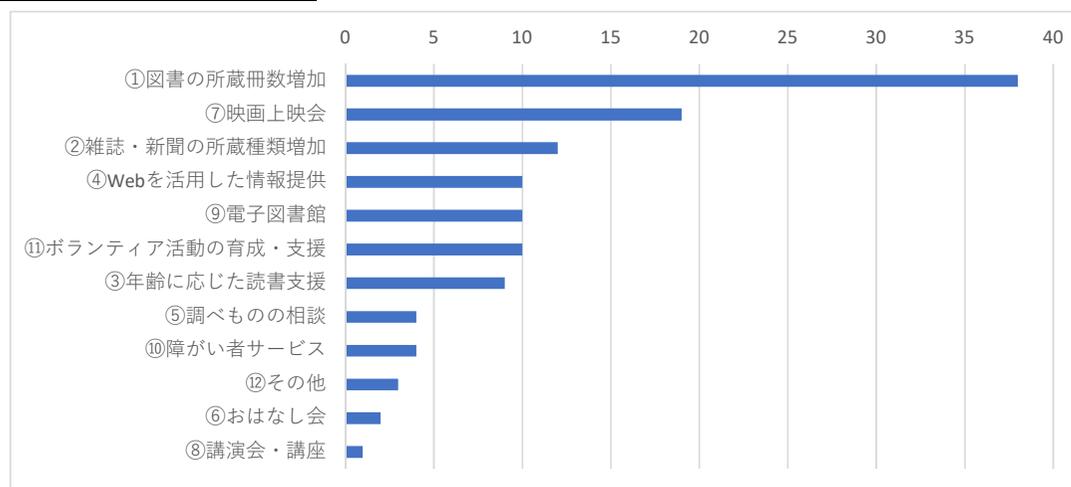
5 3で②または③と答えた方にお聞きします。恵庭市の図書館に行かない理由があるとしたら、どのようなことですか。(いくつでも)

②自宅や学校から遠い	23
⑦本は自分で買う	21
⑤図書館に行かなくても読書・調べものはできる	18
①どこにあるのかわからない	16
⑥貸出・返却が面倒	15
⑧本を読まない	13
③開館している時間に行けない	3
④行くための手段がない	2
⑨図書館の雰囲気が好きではない	2
⑩その他	0



6 あなたは図書館にどのようなもの・イベントがあればよいと思いますか。(いくつでも)

①図書の所蔵冊数増加	38
⑦映画上映会	19
②雑誌・新聞の所蔵種類増加	12
④Webを活用した情報提供	10
⑨電子図書館	10
⑪ボランティア活動の育成・支援	10
③年齢に応じた読書支援	9
⑤調べものの相談	4
⑩障がい者サービス	4
⑫その他	3
⑥おはなし会	2
⑧講演会・講座	1

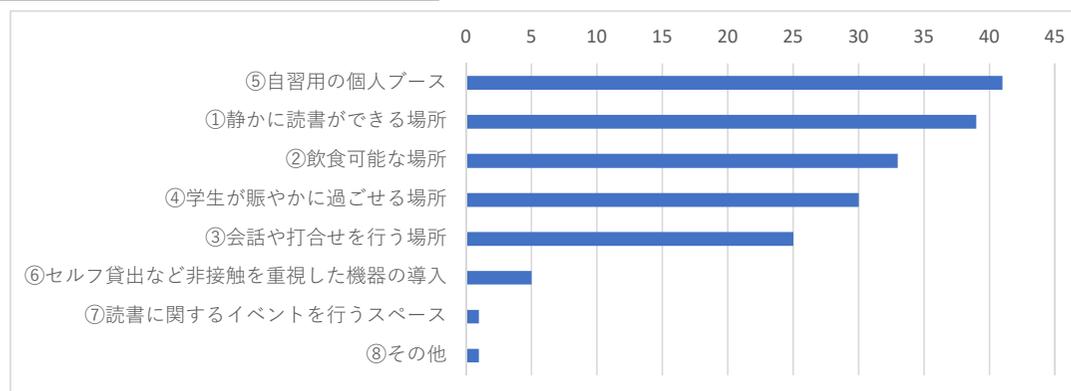


【「その他」の内容】

- 行かないからわからない
- ライトノベル等を増やして欲しい
- 季節のイベント

7 あなたは図書館にどんな場所や設備があればよいと思いますか。(いくつでも)

⑤自習用の個人ブース	41
①静かに読書ができる場所	39
②飲食可能な場所	33
④学生が賑やかに過ごせる場所	30
③会話や打合せを行う場所	25
⑥セルフ貸出など非接触を重視した機器の導入	5
⑦読書に関するイベントを行うスペース	1
⑧その他	1



【「その他」の内容】

- 寝るところ

8 その他、読書や図書館についての意見がありましたらお書きください。

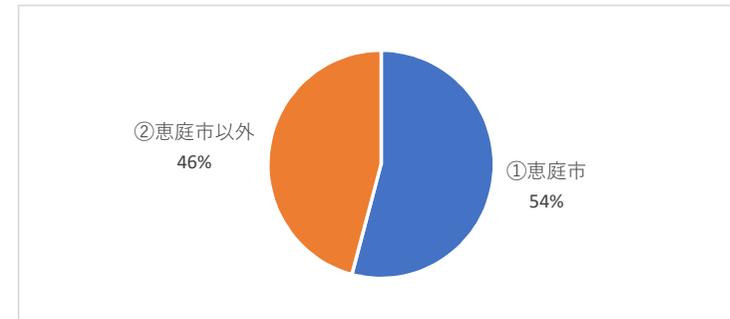
自習ができるスペースを増やしてほしいです

季節のイベント

9 最後に、あなたの住んでいるところを教えてください。

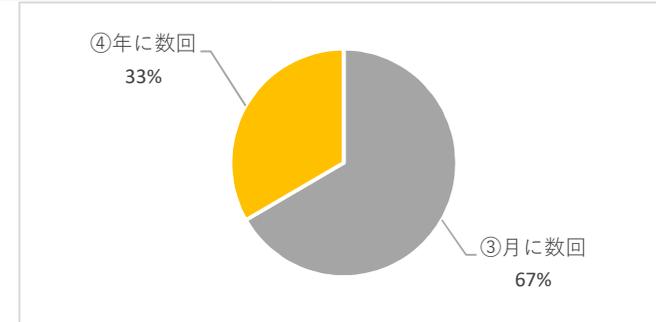
①恵庭市 39

②恵庭市以外 33



1 あなたは今、本を読むことがどのくらいありますか。ただし、コミックは含みません。(ひとつだけ)

①毎日	0
②週に数回	0
③月に数回	2
④年に数回	1
⑤読まない	0

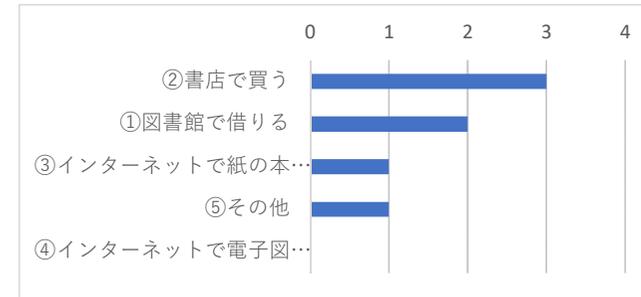


2 あなたは読みたい本がある時、どんな方法を選びますか。(いくつでも)

②書店で買う	3
①図書館で借りる	2
③インターネットで紙の本を買う	1
⑤その他	1
④インターネットで電子図書を買う	0

【「その他」の内容】

漫画アプリで試し読みをする

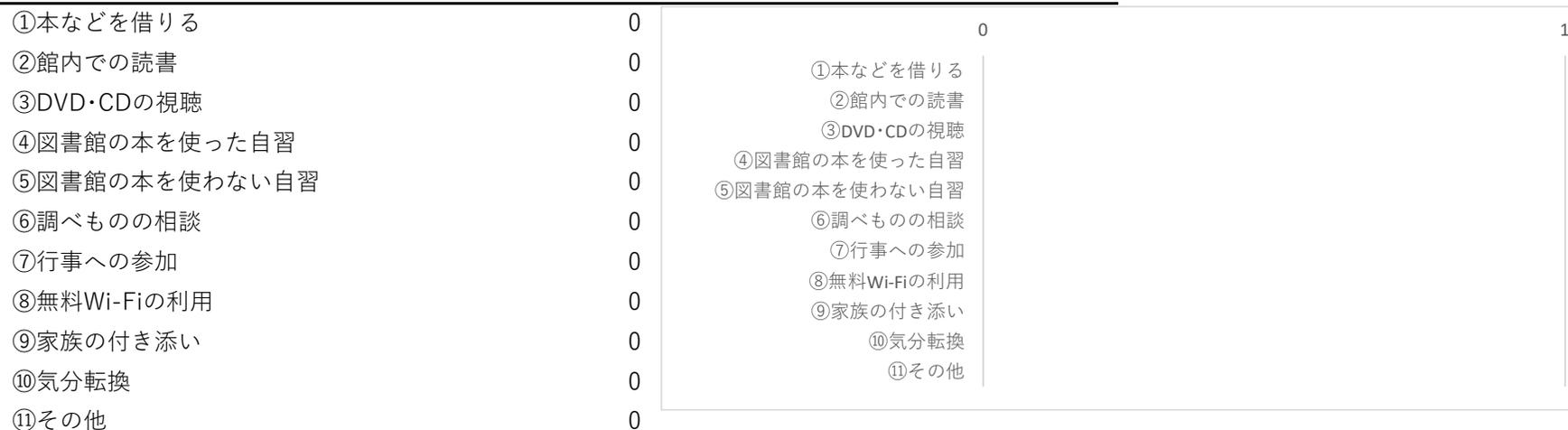


3 あなたはこの一年間に図書館へ行ったことはありますか。

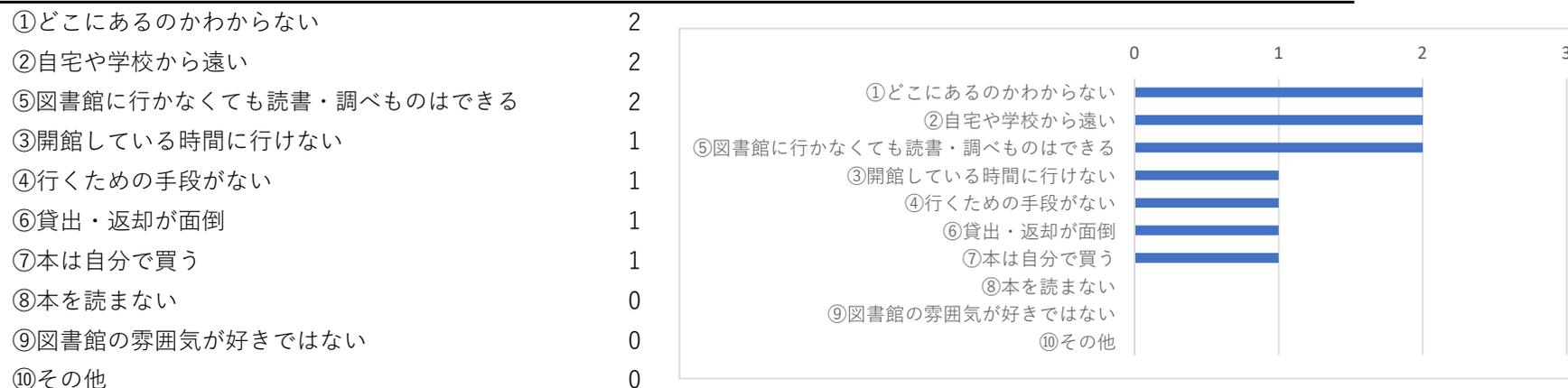
①ある	0
②恵庭市以外の図書館はある	3
③ない	0



4 3で①と答えた方にお聞きします。どのような目的で恵庭市の図書館に行きますか。(いくつでも)

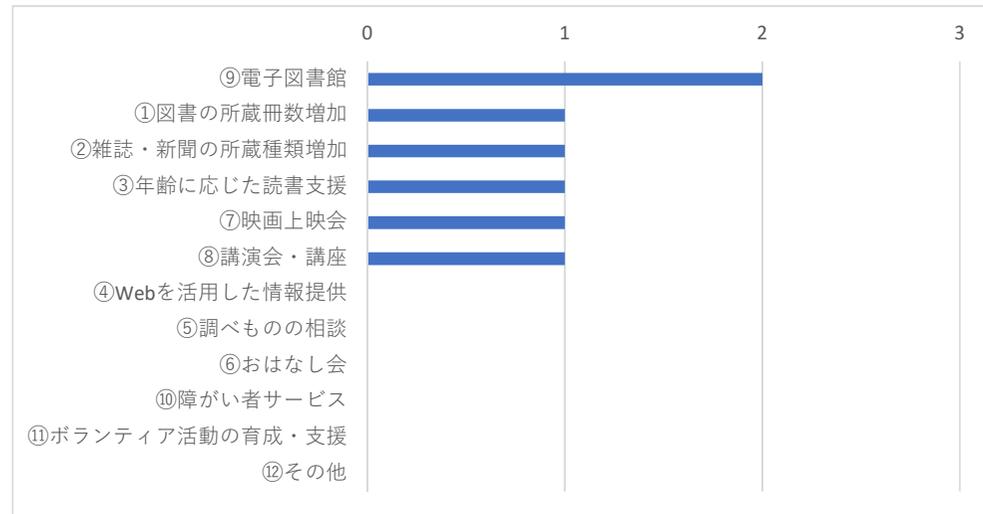


5 3で②または③と答えた方にお聞きします。恵庭市の図書館に行かない理由があるとしたら、どのようなことですか。(いくつでも)



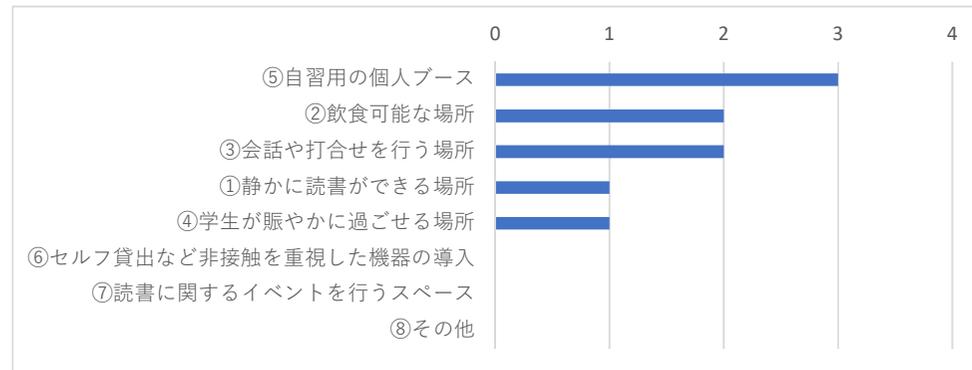
6 あなたは図書館にどのようなもの・イベントがあればよいと思いますか。(いくつでも)

⑨電子図書館	2
①図書の所蔵冊数増加	1
②雑誌・新聞の所蔵種類増加	1
③年齢に応じた読書支援	1
⑦映画上映会	1
⑧講演会・講座	1
④Webを活用した情報提供	0
⑤調べものの相談	0
⑥おはなし会	0
⑩障がい者サービス	0
⑪ボランティア活動の育成・支援	0
⑫その他	0



7 あなたは図書館にどんな場所や設備があればよいと思いますか。(いくつでも)

⑤自習用の個人ブース	3
②飲食可能な場所	2
③会話や打合せを行う場所	2
①静かに読書ができる場所	1
④学生が賑やかに過ごせる場所	1
⑥セルフ貸出など非接触を重視した機器の導入	0
⑦読書に関するイベントを行うスペース	0
⑧その他	0



8 その他、読書や図書館についての意見がありましたらお書きください。

自習ができるスペースを増やしてほしいです
季節のイベント

9 最後に、あなたの住んでいるところを教えてください。

- ① 恵庭市 3
- ② 恵庭市以外 0

